

教育研究活動の状況

(令和2年度)

奈良学園大学

1. 大学の教育研究上の目的に関すること

学部	学科	教育研究上の目的
人間教育学部	・人間教育学科	「社会の中で一人の人間」として生き抜く力となる豊かな「人間力」を基盤とする、柔軟な「教育力」と高度な「実践力」を備えた「教育者」(広く社会の教育活動にかかわる人材)の養成を目的とする。
保健医療学部	・看護学科 ・リハビリテーション学科	幅広い教養と豊かな人間性、国際性、変化に対応できる汎用的能力などをそなえ、「人」を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、倫理性、協調性などを身につけた質の高い保健医療職者の育成を目的とする。
大学院 看護学研究科	・看護学専攻	教育理念に基づき、在宅看護、育成看護、精神看護分野における専門性を深め、国内外で活躍することができる高度な看護実践者と看護の各分野における実践的教育の担い手及び研究者を育成することを目的とする。

2. 教育研究上の基本組織に関すること

令和2年5月1日現在
単位:(人)

学部・学科		専任教員数							
		学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	計
人間教育学部	人間教育学科	1	1	13	14	8	0	0	37
保健医療学部	看護学科	0	0	8	4	8	11	2	33
	リハビリテーション学科	0	0	9	2	5	6	2	24
合計		1	1	30	20	21	17	4	94

大学院		専任教員数(兼担も含む)							
		学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	計
看護学研究科	看護学専攻	0	0	10	4	3	2	0	19
合計		0	0	10	4	3	2	0	19

3. 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること ※教育研究業績書は別紙

<教員の保有学位及び業績>令和2年5月1日現在

- 人間教育学部
 - ・人間教育学科 博士8名、修士18名、学士11名
- 保健医療学部
 - ・看護学科 博士5名、修士27名、学士1名
 - ・リハビリテーション学科 博士17名、修士5名、学士2名

<教員の年齢構成>

令和2年5月1日現在

大学院の教員は学部を含む

学部		70歳以上	60歳～69歳	50歳～59歳	40歳～49歳	30歳～39歳	29歳以下	計
人間教育学部	男	2	9	5	5	3	0	24
	女	0	4	4	4	1	0	13
保健医療学部	男	1	3	5	6	8	1	24
	女	0	7	16	10	0	0	33
計 (人)		3	23	30	25	12	1	94

<教員の男女別構成>

専任教員の学部、研究科ごとの男女別の構成(うち外国人の数を含む)								
【人間教育学部】								
学部	職位	男性		女性		計		外国人 (内数)
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
人間教育学部	教授	12	80.0%	3	20.0%	15	100.0%	—
	准教授	9	64.3%	5	35.7%	14	100.0%	—
	講師	3	37.5%	5	62.5%	8	100.0%	1
	助教	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	—
	助手	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	—
人間教育学部 計		24	62.9%	13	37.1%	37	100.0%	—
【保健医療学部】								
学部	職位	男性		女性		計		外国人 (内数)
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
保健医療学部	教授	10	58.8%	7	41.2%	17	100.0%	—
	准教授	2	33.3%	4	66.7%	6	100.0%	—
	講師	5	38.5%	8	61.5%	13	100.0%	—
	助教	6	35.3%	11	64.7%	17	100.0%	—
	助手	1	25.0%	3	75.0%	4	100.0%	—
保健医療学部 計		24	42.1%	33	57.9%	57	100.0%	—

4. 入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

大学等	学部・研究科等	入学者数 (R2)	収容定員 (R2)	在学者数 (R2)	卒業者数 (R1)	進学者数 (R1)
奈良学園大学	人間教育学部	【入学に関する基本的な方針】 (1) 教職への意欲や関心があり、教育を通して社会の未来に貢献する意欲のある人 (2) 教育の専門家としての確かな力量を獲得するため、積極的に学び続ける意欲のある人 (3) 豊かな人間性や社会性、常識と教養をはじめ協調性や創造性を深める意欲がある人				
		175人	570人	574人	107人	1人
	保健医療学部	【入学に関する基本的な方針】 (1) 人と自然を愛する心を持ち、看護職に興味・関心のある人。また、確かな基礎的学力を有し、看護職者に必要な知識・技術を積極的に学び、地域社会、国際社会に貢献する意欲のある人				
		163人	480人	469人	70人	0人
	大学院看護学 研究科	【入学に関する基本的な方針】 (1) 学修目標を明確にして主体的に学ぶことができる人 (2) ヒューマンケアを提供する看護職としての資質を有している人 (3) 国際的視野に立ち、柔軟な発想と論理的思考で課題を探究する姿勢をもっている人				
		6人	16人	10人	10人	0人
【就職者数及び卒業後の進路（主な就職分野〔具体的な就職先等〕）】 就職者数： 169人 【主な就職分野】 教育、医療、サービス、製造、小売・卸売、建設、情報通信、運輸、金融・保険、公務 【主な就職先】 人間教育学部：大阪府教育委員会、大阪府教育委員会、京都府教育委員会、愛知県教育委員会、佐賀県教育委員会、高知県教育委員会、東京都教育委員会、北海道教育委員会、横浜市教育委員会、福井県教育委員会、奈良学園幼稚園、箕面自由学園幼稚園、らいこうじ学園、名張養護学園、(株)ゲオホールディングス（セカンドストリート）、(株)コスモス薬品、住友電気工業(株)、総合警備保障(株)（ALSOKグループ）、ダイケンエンジニアリ						

ング㈱、タイムズ24㈱、大和ハウス工業㈱、三井不動産リアルティ㈱、㈱阪急オアシス、エルメスジャパン㈱、奈良県警察本部、兵庫県警察本部、羽曳野市市役所、自衛隊 他

保健医療学部：奈良県立医科大学附属病院、関西医科大学附属病院、京都大学医学部附属病院、近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センター、大阪国際がんセンター、東京北医療センター、鳥取県立中央病院、兵庫県立尼崎総合医療センター、堺市立総合医療センター、りんくう総合医療センター、生駒市立病院、赤十字病院、大阪警察病院、JR 大阪鉄道病院、高槻病院、森之宮病院、済生会病院、天理よろづ相談所病院、高井病院、東住吉森本病院、京都岡本記念病院、関西電力病院、西奈良中央病院、生駒市、大和郡山市、三郷町、尼崎市、大阪医科大学附属病院、他

※編入学定員を設けていないが、若干名の受け入れを行っている

履修モデル① 小学校教諭一種免許状を取得する履修モデル

履修年次	1年次		2年次		3年次		4年次		計
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
共通教育科目	英語Ⅰ		英語Ⅱ						
	英会話Ⅰ		英会話Ⅱ						
	小計		4		0		0		0 4
	スポーツ実技Ⅰ		日本国憲法		社会学				
	健康スポーツ 理論		健康スポーツ 実技		文学				
	小計		5		4		0		0 9
共生教育科目				人権論					
小計		0		2		0		0 2	
奈良 国際科目				奈良学					
小計		0		2		0		0 2	
情報教育科目		情報機器の操作		情報と分析					
小計		2		2		0		0 4	
キャリア形成科目				キャリアデザイン		キャリアスキルアップⅠ		キャリアスキルアップⅡ	
小計		0		1		1		1 1	0 4
共通教育科目合計		11		12		2		2	0 25
専門科目	教職入門A(初等)		教育原理A(初等)		発達・教育心理学A(初等)		教育と日本の伝統文化		
	音楽の理解		数の理解		教育行政学A(初等) Ⅱ		教育社会学A(初等) Ⅱ		
	美術の理解		生活の理解						
	自然の理解		社会の理解						
	外国語の理解		言葉の理解						
	音楽実習Ⅰ(鍵盤楽器)		運動・健康の理解						
	★人間教育学								
	基礎科目合計		26		8		0		0 34
	教職実践力演習Ⅰ		教職実践力演習Ⅱ		教職実践力演習Ⅲ		教職実践力演習Ⅳ		
	人間教育実践力開発演習Ⅰ(1年)		人間教育実践力開発演習Ⅱ(2年)		人間教育実践力開発演習Ⅲ(3年)		人間教育実践力開発演習Ⅳ(4年)		
社会科指導法		生徒指導・進路指導論A(初等)		教育課程論A(初等)		特別支援A(初等)			
算数科指導法		音楽科指導法		国語科指導法		教育相談の理論と方法A(初等)			
家庭科指導法		図工科指導法		理科指導法		道徳教育の指導法A(初等)			
生活科指導法		体育科指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法A(初等)		体育方法 技術論A(初等)			
外国語科指導法		現代教育課題C(学校と安全)							
発展科目合計		3		19		22		2 46	
演習実習科目				教育実習事前・事後指導(小)		教職実践演習(動・小)			
★基礎ゼミナールⅠ(1年次)		★基礎ゼミナールⅡ(2年次)		教育実習Ⅰ(小)		教育実習Ⅱ(小)			
演習実習科目合計		2		2		4		4	
★基礎ゼミナールⅠ(1年次)		★基礎ゼミナールⅡ(2年次)		★人間教育学ゼミナールⅠ(基礎)		★人間教育学ゼミナールⅡ(応用)			
演習実習科目合計		2		2		9		6 19	
専門科目合計		31		29		31		8 99	
関連科目									
関連科目合計		0		0		0		0 0	
総計		42		41		33		8 124	

*卒業要件単位数:

共通教育科目から必修科目8単位を含む26単位以上

教育職員免許法施行規則66条の6に定める科目

*CAP制 年間履修単位の上限 45単位

専門科目(基礎科目から32単位以上、発展科目から47単位以上、演習実習科目から19単位以上)

教科及び教科の指導法に関する科目(必修)

共通教育科目と専門科目の合計124単位以上とする。

教育の基礎的理解に関する科目等(必修)

★印

本学部卒業必修科目

履修モデル① 中学校教諭一種、高等学校教諭一種免許状(国語)を取得する履修モデル

履修年次	1年次		2年次		3年次		4年次		計
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
共通教育科目	英会話Ⅰ		英会話Ⅱ						
	小計		2		0		0		0 2
	文学(国)		日本国憲法		中国語基礎Ⅰ				
	健康スポーツ 理論		健康スポーツ 実技						
	社会学		自然科学の基礎						
	小計		10		1		0		0 11
共生教育科目				人権論					
小計		2		2		0		0 2	
奈良 国際科目				奈良学					
小計		2		2		0		0 2	
情報教育科目		情報機器の操作		情報と分析					
小計		2		2		0		0 4	
キャリア形成科目				キャリアデザイン		キャリアスキルアップⅠ		キャリアスキルアップⅡ	
小計		0		1		1		1 1	0 4
共通教育科目合計		18		5		2		2	0 25
専門科目	教職入門B(中等)		教育原理B(中等)		発達・教育心理学B(中等)		教育と日本の伝統文化		
	国語学入門		国語学Ⅰ		書写・書道Ⅰ 選択		教育社会学B(中等) Ⅱ		
	国文学入門		国文学Ⅰ		教育行政学B(中等) Ⅱ		教育社会学A(初等) Ⅱ		
	漢文学入門		漢文学Ⅰ						
	★人間教育学		ことばとコミュニケーション		書写・書道入門				
	基礎科目合計		22		8		0		0 30
	教職実践力演習Ⅰ		教職実践力演習Ⅱ		教職実践力演習Ⅲ		教職実践力演習Ⅳ		
	人間教育実践力開発演習Ⅰ(1年)		人間教育実践力開発演習Ⅱ(2年)		人間教育実践力開発演習Ⅲ(3年)		人間教育実践力開発演習Ⅳ(4年)		
	生徒指導・進路指導論B(中等)		国語科教育法Ⅰ		教育課程論B(中等)		特別支援B(中等)		
	国語学Ⅱ		国語学・文学総合演習Ⅰ(国語学)		国語科教育法Ⅱ		教育相談の理論と方法B(中等)		
国文学Ⅱ		国語学・文学総合演習Ⅱ(国文学)		国語科教育法Ⅲ		道徳教育の指導法B(中等)			
漢文学Ⅱ		国語学・文学総合演習Ⅲ(漢文学)		国文学特論 選択		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法B(中等)			
書写・書道Ⅱ 選択		国語科教育法Ⅳ		国文学特論 選択		教育方法 技術論B(中等)			
発展科目合計		3		19		24		4 50	
演習実習科目				教育実習事前・事後指導(中・高)		教職実践演習(中・高)			
★基礎ゼミナールⅠ(1年次)		★基礎ゼミナールⅡ(2年次)		教育実習Ⅰ(中・高)		教育実習Ⅱ(中)			
演習実習科目合計		2		2		4		4	
★基礎ゼミナールⅠ(1年次)		★基礎ゼミナールⅡ(2年次)		★人間教育学ゼミナールⅠ(基礎)		★人間教育学ゼミナールⅡ(応用)			
演習実習科目合計		2		2		9		6 19	
専門科目合計		27		29		33		10 99	
関連科目									
関連科目合計		0		0		0		0 0	
総計		45		34		35		10 124	

*卒業要件単位数:

共通教育科目から必修科目8単位を含む26単位以上

教育職員免許法施行規則66条の6に定める科目

*CAP制 年間履修単位の上限 45単位

専門科目(基礎科目から32単位以上、発展科目から47単位以上、演習実習科目から19単位以上)

教科及び教科の指導法に関する科目(必修)

共通教育科目と専門科目の合計124単位以上とする。

教育の基礎的理解に関する科目等(必修)

★印

本学部卒業必修科目

履修モデル① 中学校教諭一種、高等学校教諭一種免許状（数学）を取得する履修モデル

履修年次 区分	1年次		2年次		3年次		4年次		計							
	科目名		科目名		科目名		科目名									
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
共通教育科目	基礎教養科目	英会話Ⅰ	英会話Ⅱ													
		小計	2	1						0	2					
		数学の世界	2	2	日本国憲法	2										
		健康スポーツ(理論)	1	1	健康スポーツ(実技)	1										
	社会学	2	2	スペイン語会話	1											
	小計	9	9							0	9					
	共生教養科目	共生と社会	2	2	人権論	2										
		小計	4	4							0	4				
	奈良 国際科目		2	2	奈良学	2										
		小計	2	2							0	2				
情報教養科目	情報機器の操作	2	2													
	情報と分析	2	2													
小計	4	4								0	4					
キャリア形成科目					キャリアデザイン	1	キャリアデザインII	1	キャリアスキルアップI	1	キャリアスキルアップII	1				
	小計	0	0			2	2	2	2	2	2					
共通教育科目合計		21										0	25			
専門科目	基礎科目	数Ⅰ入門(中等)	2	2	数Ⅱ(中等)	2	数Ⅲ(中等)	2	数Ⅳ(中等)	2	数Ⅴ(中等)	2	数Ⅵ(中等)	2		
		数Ⅰ入門	2	2	代数学基礎	2	代数学A(線形写像)	2	代数学B(群論)	2	代数学C(集合と位相)	2	代数学D(複素関数)	2		
		★人間教育学	2	2	解析学基礎	2	解析学A(フーリエ展開)	2	解析学B(群論)	2	解析学C(集合と位相)	2	解析学D(複素関数)	2		
		数の理解	2	2	確率・統計基礎	2	確率・統計応用	2	コンピュータA(アルゴリズム論)	2	コンピュータB(データベース分析)	2				
		基礎科目合計	16	16											0	38
		教職表現力演習Ⅰ	1	1	教職表現力演習Ⅱ	1										
	発展科目	車経指導(通称指導B(中等)数)	2	2	数学科教育法Ⅰ(数)	2	教育課程論B(中等)	2	特別支援B(中等)	2	応用数学Ⅰ(解析微分)	2	応用数学Ⅱ(応用代数学)	2		
		数学科教育法Ⅱ	2	2	教育相談の理論と方法B(中等)	2	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法B(中等)	2	代数学Ⅰ(位相空間)	2	代数学Ⅱ(線と体)	2	解析学Ⅰ(ルベーグ積分)	2		
		代数学Ⅰ(位相空間)	2	2	教育方法(技術論B(中等))	2	数学科教育法Ⅳ	2	確率・統計応用	2	コンピュータA(アルゴリズム論)	2				
		確率・統計応用	2	2	コンピュータA(アルゴリズム論)	2	コンピュータB(データベース分析)	2	教育実習Ⅰ(中・高)	2	教育実習Ⅱ(中)	2	教育実践演習(中・高)	2		
発展科目合計	1	1			5	5							8	42		
演習実習科目合計	2	2			2	2							6	19		
専門科目合計	19	19			29	29							37	99		
統計	40	40			31	31							39	124		

*卒業要件単位数:
*CAP制 年間履修単位の上限 45単位

共通教育科目から必修科目8単位を含む26単位以上
専門科目【基礎科目から32単位以上、発展科目から47単位以上、演習実習科目から9単位以上
共通教育科目と専門科目の合計124単位以上とする。

教育職員免許法施行規則66条の6に定める科目
教科及び教科の指導法に関する科目(必修)
教育の基礎的理解に関する科目等(必修)
★印
本学部卒業必修科目

履修モデル① 中学校教諭一種、高等学校教諭一種免許状（音楽）を取得する履修モデル

履修年次 区分	1年次		2年次		3年次		4年次		計					
	科目名		科目名		科目名		科目名							
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
共通教育科目	基礎教養科目	英会話Ⅰ	英会話Ⅱ											
		小計	2	1							0	2		
		音楽の世界	2	2	日本国憲法	2								
		健康スポーツ(理論)	1	1	健康スポーツ(実技)	1								
	社会学	2	2	スペイン語会話	1									
	小計	9	9								0	9		
	共生教養科目	共生と社会	2	2	人権論	2								
		小計	4	4								0	2	
	奈良 国際科目		2	2	奈良学	2								
		小計	2	2								0	2	
情報教養科目	情報機器の操作	2	2	自然科学の基礎	2									
	情報と分析	2	2											
小計	4	4									0	6		
キャリア形成科目					キャリアデザイン	1	キャリアデザインII	1	キャリアスキルアップI	1	キャリアスキルアップII	1		
	小計	0	0			2	2	2	2	2	2			
共通教育科目合計		21										0	25	
専門科目	基礎科目	音楽表現ⅠA(ピアノ/歌)【選必】	2	2	音楽表現ⅡA(ピアノ/歌)【選必】	2	キーボードハーモニイ	2	キーボードハーモニイⅡ	1				
		音楽表現ⅠB(リズム&ダンス)【選必】	2	2	音楽表現ⅡB(リズム&ダンス)【選必】	2								
		数Ⅰ入門(中等)	2	2	数Ⅱ(中等)	2	数Ⅲ(中等)	2	数Ⅳ(中等)	2	数Ⅴ(中等)	2		
		音楽の理解	2	2	リルフェージュI	2	リルフェージュII	2						
		音楽実習Ⅰ(鍵盤楽器)	2	2	西洋の音楽史と理論	2	国民謡の音楽(日本伝統音楽を含む)	2	音楽実習Ⅱ(鍵盤楽器)	2				
		★人間教育学	2	2										
	基礎科目合計	14	14			16	16						0	32
	発展科目	教職表現力演習Ⅰ	1	1	教職表現力演習Ⅱ	1								
		音楽実習Ⅰ(和楽器を含む)	2	2	音楽科教育法Ⅰ	2	教育課程論B(中等)	2	特別支援B(中等)	2	音楽科教育法Ⅳ	2	音楽実習Ⅱ(管)	2
		生徒指導(通称指導B(中等)合唱)	2	2	音楽科教育法Ⅱ	2	教育相談の理論と方法B(中等)	2	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法B(中等)	2	音楽科教育法Ⅲ	2	音楽実習ⅢA(ピアノ)【選必】	1
音楽実習Ⅱ(管)		2	2	音楽実習ⅢB(管打)【選必】	2	音楽実習Ⅳ(管打)【選必】	2	音楽実習Ⅴ(管打)【選必】	2	音楽実習Ⅵ(管打)【選必】	2	音楽実習Ⅶ(管打)【選必】	2	
発展科目合計	3	3			9	9							10	43
演習実習科目合計	2	2			2	2							6	19
専門科目合計	19	19			27	27							37	99
統計	40	40			29	29							39	124

*卒業要件単位数:
*CAP制 年間履修単位の上限 45単位

共通教育科目から必修科目8単位を含む26単位以上
専門科目【基礎科目から32単位以上、発展科目から47単位以上、演習実習科目から9単位以上
共通教育科目と専門科目の合計124単位以上とする。

教育職員免許法施行規則66条の6に定める科目
教科及び教科の指導法に関する科目(必修)
教育の基礎的理解に関する科目等(必修)
★印
本学部卒業必修科目

(領域及び保育内容の指導法)①

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (領域及び保育内容の指導法に関する科目)							
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目区分	単位数	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目		配当年次	開講時期
				必修	選択		
領域及び保育内容の指導法に関する科目	26	健康	16	○ 子どもと健康	2	1	後期
		人間関係		○ 子どもと人間関係	2	1	後期
環境	○ 子どもと環境	2		1	前期		
言葉	○ 子どもと言葉	2		1	前期		
表現	○ 子どもと表現 (体育)	2		1	後期		
	○ 子どもと表現 (図工)	2		1	後期		
領域及び保育内容の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目		領域及び保育内容の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目		○ 保育内容総論	2	1	前期
	26		16		16		

* 授業科目の○印は必修科目

* 「領域及び保育内容の指導法に関する科目」の単位修得において、16単位数を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(領域及び保育内容の指導法)②

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (領域及び保育内容の指導法に関する科目)							
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目区分	単位数	科目区分	単位数	授業科目		配当年次	開講時期
				必修	選択		
領域及び保育内容の指導法に関する科目	26	保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	16	○ 子どもと健康の指導法	2	2	前期
				○ 子どもと人間関係の指導法	2	2	後期
				○ 子どもと環境の指導法	2	3	—
				○ 子どもと言葉の指導法	2	3	—
				○ 子どもと表現の指導法	2	3	—
	26		16		10		

* 授業科目の○印は必修科目

* 「領域及び保育内容の指導法に関する科目」の単位修得において、16単位数を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(教育の基礎的理解に関する科目等)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教育の基礎的理解に関する科目等)							
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目	単位数	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目		配当年次	開講時期
				必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	12	教育の理念並びに教育に関する歴史及び理想	10	○ 教育原理 A (初等)	2	1	後期
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		○ 教職入門 A (初等)	2	1	前期
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		※ 教育行政学 A (初等) 一左記2科目から ※ 教育社会学 A (初等) 1科目選択必修	2	2	前期
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		○ 発達・教育心理学 A (初等)	2	2	前期
		特別の支援を必要とする幼児・児童及び生徒に対する理解		○ 特別支援 A (初等)	2	3	—
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		○ 幼児教育課程総論	2	1	後期
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	6	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)	4	○ 教育方法・技術論 A (初等)	2	3	—
		幼児理解の理論及び方法		○ 幼児理解	2	1	前期
		教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		○ 幼児教育相談支援	2	3	—
教育実践に関する科目	5	教育実習	5	○ 教育実習事前事後指導 (幼)	1	3	—
				○ 教育実習 I (幼)	2	3	—
				○ 教育実習 II (幼)	2	3	—
	2	教職実践演習	2	○ 教職実践演習 (幼・小)	2	4	—
	25		21		23	4	

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位修得において、21単位数を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(大学が独自に設定する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (大学が独自に設定する科目)							
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目区分	単位数	科目区分	単位数	授業科目		配当年次	開講時期
				必修	選択		
大学が独自に設定する科目	14	大学が独自に設定する科目	14		14		

* 最低修得単位数を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関

小学校教諭一種

(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)							
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期
	単位数	単位数	授業科目	単位数			
				必修	選択		
施行規則第66条の6に定める科目	2	日本国憲法	2	○ 日本国憲法	2	1	後期
	2	体育	2	○ 健康スポーツ (理論)	1	1	前期
				○ 健康スポーツ (実技)	1	1	後期
	2	外国語コミュニケーション	2	○ 英会話 I	1	1	前期
			○ 英会話 II	1	1	後期	
	2	情報機器の操作	2	○ 情報機器の操作	2	1	前期
	8		8	8			

* 授業科目の○印は必修科目

(教科及び教科の指導法に関する科目) ①

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教科及び教科の指導法に関する科目)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期	
	科目区分	単位数	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目			必修
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	38	国語 (書写を含む)	30	○ 言葉の理解	2	1	後期
					書写演習 (小)	2	2	後期
					○ 社会の理解	2	1	後期
					○ 数の理解	2	1	後期
					○ 自然の理解	2	1	前期
					○ 生活の理解	2	1	後期
					○ 音楽の理解	2	1	前期
					器楽演習 I (鍵盤楽器)	2	1	前期
					器楽演習 II (鍵盤楽器)	2	2	後期
					○ 美術の理解	2	1	前期
					衣食住の理解	2	1	前期
					○ 運動・健康の理解	2	1	後期
					○ 外国語の理解	2	1	前期
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目							
	38		30		18	8		

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教科及び教科の指導法に関する科目」の単位修得において、30単位を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(教科及び教科の指導法に関する科目) ②

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教科及び教科の指導法に関する科目)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期	
	科目区分	単位数	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目			必修
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	38	国語 (書写を含む。)	30	○ 国語科指導法	2	3	—
					○ 社会科指導法	2	2	前期
					○ 算数科指導法	2	2	前期
					○ 理科指導法	2	3	—
					○ 生活科指導法	2	2	後期
					○ 音楽科指導法	2	2	後期
					○ 図工科指導法	2	2	後期
					○ 家庭科指導法	2	2	前期
					○ 体育科指導法	2	3	—
					○ 外国語科指導法	2	2	後期
	38		30		20			

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教科及び教科の指導法に関する科目」の単位修得において、30単位を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(教育の基礎的理解に関する科目等)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教育の基礎的理解に関する科目等)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				
科目	単位数	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数		配当年次	開講時期
					必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	12	教育の理念並びに教育に関する歴史及び理想	10	○ 教育原理A (初等)	2		1	後期
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		○ 教職入門A (初等)	2		1	前期
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		※ 教育行政学A (初等) →左記2科目から		2	2	前期
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		※ 教育社会学A (初等) 1科目選択必修		2	2	後期
		特別の支援を必要とする幼児・児童及び生徒に対する理解		○ 発達・教育心理学A (初等)	2		2	前期
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		○ 特別支援A (初等)	2		3	—
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	道徳の理論及び指導法	10	○ 道徳教育の指導法A (初等)	2		3	—
		総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法		○ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法A (初等)	2		3	—
		教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)		○ 教育方法・技術論A (初等)	2		3	—
		生徒指導の理論及び方法		○ 生徒指導・進路指導論A (初等)	2		2	後期
		教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		○ 教育相談の理論と方法A (初等)	2		3	—
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
教育実践に関する科目	5	教育実習	5	○ 教育実習事前事後指導 (小)	1		3	—
		学校体験活動		○ 教育実習I (小)	2		3	—
				○ 教育実習II (小)	2		3	—
	2	教職実践演習	2		4	—		
	29		27		27	4		

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教育の基礎的理解に関する科目」の単位修得において、27単位を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(大学が独自に設定する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (大学が独自に設定する科目)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				
科目区分	単位数	科目区分	単位数	授業科目	単位数		配当年次	開講時期
					必修	選択		
大学が独自に設定する科目	2	大学が独自に設定する科目	2	「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」		2		

* 最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」

(a) 中学校教諭一種 [国語]

(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				
科目区分	単位数	科目区分	単位数	授業科目	単位数		配当年次	開講時期
					必修	選択		
施行規則第66条の6に定める科目	2	日本国憲法	2	○ 日本国憲法	2		1	後期
	2	体育	2	○ 健康スポーツ (理論)	1		1	前期
				○ 健康スポーツ (実技)	1		1	後期
	2	外国語コミュニケーション	2	○ 英会話I	1		1	前期
				○ 英会話II	1		1	後期
2	情報機器の操作	2	○ 情報機器の操作	2		1	前期	
	8		8		8			

* 授業科目の○印は必修科目

(大学が独自に設定する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (大学が独自に設定する科目)						
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	単位数	科目区分	単位数	授業科目	単位数 必修 選択	配当 年次
大学が独自に設定する科目	4	大学が独自に設定する科目	4	「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」	4	

* 最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上を修得

(a) 高等学校教諭一種 [国語]

(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)						
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	単位数	科目区分	単位数	授業科目	単位数 必修 選択	配当 年次
施行規則第66条の6に定める科目	2	日本国憲法	2	○ 日本国憲法	2	1 後期
	2	体育	2	○ 健康スポーツ (理論) ○ 健康スポーツ (実技)	1 1	1 前期 1 後期
	2	外国語コミュニケーション	2	○ 英会話 I ○ 英会話 II	1 1	1 前期 1 後期
	2	情報機器の操作	2	○ 情報機器の操作	2	1 前期
	8		8		8	

* 授業科目の○印は必修科目

(教科及び教科の指導法に関する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教科及び教科の指導法に関する科目等)										
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目						
科目区分	単位数	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数 必修 選択	配当 年次				
教科及び教科の指導法に関する科目	32	教科に関する専門的事項	24	○ 国語学入門	2	1 前期				
				○ 国語学 I	2	1 後期				
				○ 国語学 II	2	2 前期				
				国語学特論		2 4 -				
				○ 語学・文学総合演習 I (国語学)	2	2 後期				
				○ ことばとコミュニケーション	2	1 後期				
				○ 国文学入門	2	1 前期				
				○ 国文学 I	2	1 後期				
				○ 国文学 II	2	2 前期				
				国文学特論		2 3 -				
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	32	漢文学	24	○ 語学・文学総合演習 II (国文学)	2	2 後期				
				○ 文学	2	1 前期				
				○ 漢文学入門	2	1 前期				
				○ 漢文学 I	2	1 後期				
				○ 漢文学 II	2	2 前期				
				漢文学特論		2 3 -				
				○ 語学・文学総合演習 III (漢文学)	2	2 後期				
				各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	32	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	24	○ 国語科教育法 I	2	2 後期
								○ 国語科教育法 II	2	3 -
								国語科教育法 III		2 3 -
国語科教育法 IV		2 4 -								

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教科及び教科の指導法に関する科目」の単位修得において、24単位を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(教育の基礎的理解に関する科目等)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教育の基礎的理解に関する科目等)										
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目					
科目	単位数	各科目に含めることが必要な事項		単位数	授業科目		単位数		配当年次	開講時期
					必修	選択	必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	12	教育の理念並びに教育に関する歴史及び理想		10	○ 教育原理B (中等)	2		1	後期	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)			○ 教職入門B (中等)	2		1	前期	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			※ 教育行政学B (中等) 一左記2科目から		2	2	後期	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			※ 教育社会学B (中等) 1科目選択必修		2	2	後期	
		特別の支援を必要とする幼児・児童及び生徒に対する理解			○ 発達・教育心理学B (中等)	2		2	前期	
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)			○ 特別支援B (中等)	2		3	-	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8	総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法		8	○ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法B (中等)	2		3	-	
		教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)			○ 教育方法・技術論B (中等)	2		3	-	
		生徒指導の理論及び方法			○ 生徒指導・進路指導論B (中等)	2		2	前期	
		教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法			○ 教育相談の理論と方法B (中等)	2		3	-	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法								
教育実践に関する科目	3	教育実習		3	○ 教育実習事前事後指導 (中・高)	1		3	-	
		学校体験活動			○ 教育実習I (中・高)	2		3	-	
		教職実践演習			○ 教職実践演習 (中・高)	2		4	-	
	2			2						
	25			23		23	4			

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位修得において、23単位を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(大学が独自に設定する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (大学が独自に設定する科目)										
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目					
科目区分	単位数	科目区分		単位数	授業科目		単位数		配当年次	開講時期
					必修	選択	必修	選択		
大学が独自に設定する科目	12	大学が独自に設定する科目		12	道徳教育の指導法B (中等)			2	3	-

* 「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」又は「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得

特別支援学校教諭一種 (知的障害者・肢体不自由者・病弱者)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2020年度入学生

学部・学科等の教育課程 (特別支援教育に関する科目)										
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目					
科目区分	単位数	科目区分		単位数	授業科目		単位数		配当年次	開講時期
					必修	選択	必修	選択		
特別支援教育の基礎理論に関する科目	2	特別支援教育の基礎理論に関する科目		2	○ 特別支援教育総論	2			2	-
特別支援教育領域に関する科目	16	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	16	○ 知的障害者の心理	2	知的障害者		2	-
					○ 知的障害者の生理・病理	2	知的障害者		2	-
		○ 肢体不自由者の心理・生理・病理	2		肢体不自由者		2	-		
		○ 病弱者の心理・生理・病理	2		病弱者		2	-		
心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	16	○ 知的障害者教育課程論と指導論	2	知的障害者		2	-
					○ 肢体不自由者教育課程論と指導論	2	肢体不自由者		2	-
○ 病弱者教育課程論と指導論	2	病弱者			2	-				
○ 障害の検査と評価	2	知的障害者	肢体不自由者 病弱者		2	-				
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	8	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	5	○ 重度・重複障害者教育課程論と指導論	2	重複・LD等領域		3	-
					○ 視覚障害者教育総論	2	視覚障害者		3	-
		○ 聴覚障害者教育総論	2		聴覚障害者		3	-		
		○ 発達障害者教育総論	2		重複・LD等領域		3	-		
発達障害者の心理	2	重複・LD等領域		2	-					
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3	心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		3	○ 特別支援教育実習	3			4	-
	29			26		29	2			

* 授業科目の○印は必修科目

* 小学校、中学校・高等学校、幼稚園いずれかの免許状と併せて取得する必要がある。

* 「特別支援教育実習」を受講するためには「教育実習I(幼)・II(幼)」、「教育実習I(小)・II(小)」、「教育実習I(中・高)・II(中)」のいずれかを修得済み又は同年度に履修済みであること。

人間教育学部 人間教育学科 保育士養成課程

教養科目)

■ 人間教育学部人間教育学科 2020年度入学生

本学における必要最低単位数	告示による教科目	左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期		
		単位数	単位数	単位数				
		授業科目	必修	選択				
外国語、体育以外の科目	18	外国語、体育以外の科目	6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本国憲法 ○ 情報機器の操作 文学 音楽の世界 数学の世界 データの世界 キャリアデザイン キャリアディベロップメント キャリアスキルアップⅠ キャリアスキルアップⅡ 	2 2	2 2 2 2 1 1 1 1	1 1 1 1 1 2 2 3 3	後期 前期 前期 前期 前期 後期 — — — —
外国語	8	外国語	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 英会話Ⅰ ○ 英会話Ⅱ 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ 中国語会話 スペイン語基礎Ⅰ スペイン語基礎Ⅱ スペイン語会話 	1 1	1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1	前期 後期 前期 後期 後期 前期 後期 後期
体育	2	体育	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康スポーツ 理論) ○ 健康スポーツ 実技) 	1 1		1 1	前期 後期
	28		10		8	18		

* 授業科目の○印は必修科目

告示別表第 1による教科目)

■ 人間教育学部人間教育学科 2019年度以降入学生

本学における必要最低単位数	告示による教科目		左記に対応する開設授業科目				配当 年次	開講 時期
			単位数	授業科目	単位数			
	必修	選択						
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	14	○ 保育原理	2		2	前期	
	教育原理		○ 教育原理 A (初等)	2		1	後期	
	子ども家庭福祉		○ 子ども家庭福祉	2		3	前期	
	社会福祉		○ 社会福祉	2		1	前期	
	子ども家庭支援論		○ 子ども家庭支援論	2		3	—	
	社会的養護 I		○ 社会的養護 I	2		2	前期	
	保育者論		○ 保育者論	2		1	後期	
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	9	○ 保育の心理学	2		2	後期	
	子ども家庭支援の心理学		○ 子ども家庭支援の心理学	2		3	—	
	子どもの理解と援助		○ 子どもの理解と援助	1		3	—	
	子どもの保健		○ 子どもの保健	2		3	—	
	子どもの食と栄養		○ 子どもの食と栄養	2		2	後期	
	保育の計画と評価		○ 保育の計画と評価	2		2	後期	
保育の内容・方法に関する科目	保育内容総論	1	○ 保育内容総論	2		1	前期	
	保育内容演習	5	○ 子どもと健康	2		1	後期	
			○ 子どもと人間関係	2		1	後期	
			○ 子どもと環境	2		1	前期	
			○ 子どもと言葉	2		1	前期	
	保育内容の理解と方法	4	○ 子どもと表現 (体育)	2		1	後期	
			○ 子どもと表現 (図工)	2		1	後期	
			○ 子どもと表現 (音楽)	2		1	後期	
	乳児保育 I	2	○ 乳児保育 I	2		2	前期	
	乳児保育 II	1	○ 乳児保育 II	1		2	後期	
	子どもの健康と安全	1	○ 子どもの健康と安全	1		3	—	
障害児保育	2	○ 障害児保育	2		3	—		
社会的養護 II	1	○ 社会的養護 II	1		2	後期		
子育て支援	1	○ 子育て支援	1		3	—		
保育実習	保育実習 I	4	○ 保育所実習 I	2/4		3	—	
	○ 施設実習 I	2/4		3	—			
保育実習指導 I	2	○ 保育所実習指導 I	1		3	—		
		○ 施設実習指導 I	1		3	—		
総合演習	保育実践演習	2	○ 保育実践演習	2		4	—	
		51		57				

* 授業科目の○印は必修科目

告示別表第2による教科目)

■ 人間教育学部人間教育学科 2019年度以降入学生

本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目及び区分等			左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期
	単位数	科目	単位数	授業科目	単位数			
					必修	選択		
保育の本質・目的に関する科目	20	保育の本質・目的に関する科目	15	○ 教職入門A(初等)	2		1	前期
				○ 教育行政学A(初等)		2	2	前期
				○ 人間教育学	2		1	前期
保育の対象の理解に関する科目	20	保育の対象の理解に関する科目	15	○ 発達・教育心理学A(初等)	2		2	前期
保育の内容・方法に関する科目		保育の内容・方法に関する科目		○ 幼児理解	2		1	前期
				○ 教育方法・技術論A(初等)	2		3	—
	○ 子どもと健康の指導法		2		2	前期		
	○ 子どもと人間関係の指導法		2		2	後期		
	○ 子どもと環境の指導法		2		3	—		
保育実習	3	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	3	○ 保育所実習Ⅱ	2		3	—
		保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ		施設実習Ⅱ		2	4	—
				○ 保育所実習指導Ⅱ	1		3	—
				施設実習指導Ⅱ		1	4	—
	23		18		23	5		

* 授業科目の○印は必修科目

保育士資格取得科目ではないが、学校独自の科目として開設されている教科目)

■ 人間教育学部人間教育学科 2020年度入学生

本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目及び区分等			左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期
	単位数	科目	単位数	授業科目	単位数			
					必修	選択		
保育士資格取得科目ではないが、学校独自の科目として開設されている科目		保育士資格取得科目ではないが、学校独自の科目として開設されている科目		衣食住の理解		2	1	前期
				ことばとコミュニケーション		2	1	後期
				生活科指導法		2	2	後期
				家庭科指導法		2	2	前期
				体育科指導法		2	3	—
						10		

2020年度入学生 人間教育学部 人間教育学科 中等(数学・音楽)専攻 授業科目表

I. 共通教育科目

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修コース		授業形態			資格要件科目		配当年次												配当年次	展開数							
			数学専修	音楽専修	講義	演習	実験・実習	中高数学	中高音楽	1年			2年			3年			4年											
										前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年									
										○	◎	●	○	◎	●	○	◎	●	○	◎	●			○	◎	●				
基礎 教養 科目	英語 I	1	○		○					○			○			○			○			○			○			1	3	
	英語 II	1	○		○					○			○			○			○			○			○			1	3	
	英会話 I	1	◎			○		●	●	◎			◎			◎			◎			◎			◎			1	4	
	英会話 II	1	◎			○		●	●	◎			◎			◎			◎			◎			◎			1	4	
	中国語基礎 I	1	○		○					○			○			○			○			○			○			1	1	
	中国語基礎 II	1	○		○					○			○			○			○			○			○			1	1	
	中国語会話	1	○			○				○			○			○			○			○			○			1	1	
	スペイン語基礎 I	1	○		○					○			○			○			○			○			○			1	1	
	スペイン語基礎 II	1	○		○					○			○			○			○			○			○			1	1	
	スペイン語会話	1	○			○				○			○			○			○			○			○			1	1	
	日本語 I	1	○		○					○			○			○			○			○			○			1	1	
	日本語 II	1	○		○					○			○			○			○			○			○			1	1	
	日本語表現 I	1	○			○				○			○			○			○			○			○			1	1	
	日本語表現 II	1	○			○				○			○			○			○			○			○			1	1	
	日本語表現 III	1	○			○				○			○			○			○			○			○			1	1	
	日本語表現 IV	1	○			○				○			○			○			○			○			○			1	1	
	文学	2	○		○					○			○			○			○			○			○			1	1	
	哲学	2	○		○					○			○			○			○			○			○			1	1	
	倫理学	2	○		○					○			○			○			○			○			○			1	1	
	心理学	2	○		○					○			○			○			○			○			○			1	1	
	行動の科学	2	○		○					○			○			○			○			○			○			1	1	
	文化人類学	2	○		○					○			○			○			○			○			○			1	1	
	音楽の世界	2	○		○					○			○			○			○			○			○			1	1	
	社会学	2	○		○					○			○			○			○			○			○			1	1	
	日本国憲法	2	◎		○				●	●	◎			◎			◎			◎			◎			◎			1	2
	歴史学	2	○		○					○			○			○			○			○			○			1	1	
	地理学	2	○		○					○			○			○			○			○			○			1	1	
	数学の世界	2	○		○					○			○			○			○			○			○			1	1	
	自然科学の基礎	2	○		○					○			○			○			○			○			○			1	1	
	環境化学の基礎	2	○		○					○			○			○			○			○			○			1	1	
	健康スポーツ(理論)	1	◎		○				●	●	◎			◎			◎			◎			◎			◎			1	2
	健康スポーツ(実技)	1	◎		○				●	●	◎			◎			◎			◎			◎			◎			1	4
	スポーツ実技 I	1	○							○			○			○			○			○			○			1	3	
スポーツ実技 II	1	○							○			○			○			○			○			○			1	3		
共生 教養 科目	共生と社会	2	○		○				○			○			○			○			○			○			1	1		
	人権論	2	○		○				○			○			○			○			○			○			1	1		
	ボランティア活動	2	○		○				○			○			○			○			○			○			1	1		
	生活と環境	2	○		○				○			○			○			○			○			○			1	1		
奈良・ 国 際 科 目	奈良学	2	○		○				○			○			○			○			○			○			1	1		
	異文化コミュニケーション	2	○		○				○			○			○			○			○			○			1	1		
	国際事情→科目名変更	2	○		○				○			○			○			○			○			○			1	1		
情報 教養 科目	情報機器の操作	2	◎		○			●	●	◎			◎			◎			◎			◎			◎			1	4	
	情報倫理とセキュリティ	2	○		○					○			○			○			○			○			○		1	1		
	データの世界	2	○		○					○			○			○			○			○			○		1	1		
	CGの基礎と演習	2	○		○					○			○			○			○			○			○		1	1		
	情報と分析	2	○		○					○			○			○			○			○			○		1	1		
キャ リ ア 形 成 科 目	キャリアデザイン	1	○			○							○														2	1		
	キャリアディベロップメント	1	○			○							○														2	1		
	キャリアスキルアップ I	1	○			○									○											3	1			
	キャリアスキルアップ II	1	○			○									○											3	1			
	インターンシップ	2	○			○									○											3	1			

※「中国語基礎 II」は「中国語基礎 I」を修得した者のみが履修できる。

※「スペイン語基礎 II」は「スペイン語基礎 I」を修得した者のみが履修できる。

(教育の基礎的理解に関する科目等)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教育の基礎的理解に関する科目等)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期
科目	単位数	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数			
					必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	12	教育の理念並びに教育に関する歴史及び理想	10	○ 教育原理B (中等)	2		1	後期
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		○ 教職入門B (中等)	2		1	前期
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		※ 教育行政学B (中等) →左記2科目から		2	2	後期
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		※ 教育社会学B (中等) 1科目選択必修		2	2	後期
		特別の支援を必要とする幼児・児童及び生徒に対する理解		○ 発達・教育心理学B (中等)	2		2	前期
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		○ 特別支援B (中等)	2		3	—
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	道徳の理論及び指導法	10	○ 道徳教育の指導法B (中等)	2		3	—
		総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法		○ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法B (中等)	2		3	—
		教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)		○ 教育方法・技術論B (中等)	2		3	—
		生徒指導の理論及び方法		○ 生徒指導・進路指導論B (中等)	2		2	前期
		教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		○ 教育相談の理論と方法B (中等)	2		3	—
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
教育実践に関する科目	5	教育実習	5	○ 教育実習事前事後指導 (中・高)	1		3	—
		学校体験活動		○ 教育実習Ⅰ (中・高)	2		3	—
		教職実践演習		○ 教育実習Ⅱ (中)	2		3	—
	2	2	○ 教職実践演習 (中・高)	2		4	—	
	29		27		27	4		

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位修得において、27単位を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(大学が独自に設定する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [中等 (数学・音楽) 専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (大学が独自に設定する科目)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期
科目区分	単位数	科目区分	単位数	授業科目	単位数			
					必修	選択		
大学が独自に設定する科目	4	大学が独自に設定する科目	4	「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」		4		

* 最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上を修得

(b) 高等学校教諭一種 [数学]

(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [中等 (数学・音楽) 専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期
単位数	単位数	科目区分	単位数	授業科目	単位数			
					必修	選択		
施行規則第66条の6に定める科目	2	日本国憲法	2	○ 日本国憲法	2		1	後期
	2	体育	2	○ 健康スポーツ (理論)	1		1	前期
	2	外国語コミュニケーション	2	○ 健康スポーツ (実技)	1		1	後期
	2	情報機器の操作	2	○ 英会話Ⅰ	1		1	前期
	8		8	○ 英会話Ⅱ	1		1	後期
				○ 情報機器の操作	2		1	前期
					8			

* 授業科目の○印は必修科目

(大学が独自に設定する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [中等 (数学・音楽) 専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (大学が独自に設定する科目)						
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	単位数	科目区分	単位数	授業科目	単位数 必修 選択	配当年次 開講時期
大学が独自に設定する科目	12	大学が独自に設定する科目	12	道徳教育の指導法B (中等)	2	3 -

* 「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得

(c) 中学校教諭一種 [音楽]

(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [中等 (数学・音楽) 専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)							
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目区分	単位数	科目区分	単位数	授業科目	単位数		配当年次 開講時期
					必修	選択	
施行規則第66条の6に定める科目	2	日本国憲法	2	○ 日本国憲法	2		後期
	2	体育	2	○ 健康スポーツ (理論) ○ 健康スポーツ (実技)	1		前期 後期
	2	外国語コミュニケーション	2	○ 英会話 I ○ 英会話 II	1		前期 後期
	2	情報機器の操作	2	○ 情報機器の操作	2		前期
	8		8		8		

* 授業科目の○印は必修科目

(教科及び教科の指導法に関する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [中等 (数学・音楽) 専攻] 2019年度以降入学生

本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		学部・学科等の教育課程 (教科及び教科の指導法に関する科目等)		左記に対応する開設授業科目			配当 年次	開講 時期	
科目区分	単位数	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数				
					必修	選択			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的 事項	32	ソルフェージュ	28	○ ソルフェージュⅠ	1		2	前期
					○ ソルフェージュⅡ	1		2	後期
					○ キーボードハーモニーⅠ	1		3	—
					○ キーボードハーモニーⅡ	1		3	—
					音楽表現ⅠA (ピアノ・歌)		2	1	通年
					音楽表現ⅡA (ピアノ・歌)		2	2	通年
					声楽実技Ⅰ (日本伝統歌唱を含む) ※1		1	3	—
					声楽実技Ⅱ (日本伝統歌唱を含む) ※2		1	3	—
					声楽演奏法演習Ⅰ ※3		1	4	—
					声楽演奏法演習Ⅱ ※4		1	4	—
○ 合唱Ⅰ	1		2	前期					
○ 合唱Ⅱ	1		2	後期					
教科及び教科の指導法に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	32	器楽 (合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	28	器楽演習ⅠA (ピアノ)	左記2科目と「※1」の科目を含む3科目から最低1科目1単位選択必修	1	3	—
					器楽演習ⅠB (管打)		1	3	—
					器楽演習ⅡA (ピアノ)	左記2科目と「※2」の科目を含む3科目から最低1科目1単位選択必修	1	3	—
					器楽演習ⅡB (管打)		1	3	—
					器楽特殊演習ⅠA (ピアノ)	左記2科目と「※3」の科目を含む3科目から最低1科目1単位選択必修	1	4	—
					器楽特殊演習ⅠB (管打)		1	4	—
					器楽特殊演習ⅡA (ピアノ)	左記2科目と「※4」の科目を含む3科目から最低1科目1単位選択必修	1	4	—
					器楽特殊演習ⅡB (管打)		1	4	—
					○ 器楽合奏Ⅰ (和楽器を含む)	2		1	通年
					○ 指揮法	2		3	—
○ 楽典	2		1	後期					
○ 西洋の音楽史と理論	2		2	前期					
○ 諸民族の音楽 (日本伝統音楽を含む)	2		2	後期					
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	32	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	28	○ 音楽科教育法Ⅰ	2		2	後期
					○ 音楽科教育法Ⅱ	2		3	—
					○ 音楽科教育法Ⅲ	2		3	—
					○ 音楽科教育法Ⅳ	2		4	—
							24	16	

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教科及び教科の指導法に関する科目等」の単位修得において、28単位を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(教育の基礎的理解に関する科目等)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [中等 (数学・音楽) 専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教育の基礎的理解に関する科目等)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				
科目	単位数	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数		配当年次	開講時期
					必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	12	教育の理念並びに教育に関する歴史及び理想	10	○ 教育原理B (中等)	2		1	後期
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		○ 教職入門B (中等)	2		1	前期
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		※ 教育行政学B (中等) ←左記2科目から ※ 教育社会学B (中等) 1科目選択必修	2	2	2	後期
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		○ 発達・教育心理学B (中等)	2		2	前期
		特別の支援を必要とする幼児・児童及び生徒に対する理解		○ 特別支援B (中等)	2		3	—
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		○ 教育課程論B (中等)	2		3	—
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	道徳の理論及び指導法	10	○ 道徳教育の指導法B (中等)	2		3	—
		総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法		○ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法B (中等)	2		3	—
		教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)		○ 教育方法・技術論B (中等)	2		3	—
		生徒指導の理論及び方法		○ 生徒指導・進路指導論B (中等)	2		2	前期
		教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		○ 教育相談の理論と方法B (中等)	2		3	—
教育実践に関する科目	5	教育実習	5	○ 教育実習事前事後指導 (中・高)	1		3	—
		学校体験活動		○ 教育実習I (中・高)	2		3	—
		教職実践演習		○ 教育実習II (中)	2		3	—
	2	○ 教職実践演習 (中・高)		2		4	—	
	29		27		27	4		

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位修得において、27単位を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(大学が独自に設定する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [中等 (数学・音楽) 専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (大学が独自に設定する科目)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目及び区分等		左記に対応する開設授業科目				
科目区分	単位数	科目区分	単位数	授業科目	単位数		配当年次	開講時期
					必修	選択		
大学が独自に設定する科目	4	大学が独自に設定する科目	4	音楽表現I B (リズム&ダンス)		2	1	通年
				音楽表現II B (リズム&ダンス)		2	2	通年
				身体表現演習I		1	3	—
				身体表現演習II		1	3	—
				身体表現特殊演習I		1	4	—
				身体表現特殊演習II		1	4	—

* 「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上修得

(c) 高等学校教諭一種 [音楽]

(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [中等 (数学・音楽) 専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				
科目区分	単位数	科目区分	単位数	授業科目	単位数		配当年次	開講時期
					必修	選択		
施行規則第66条の6に定める科目	2	日本国憲法	2	○ 日本国憲法	2		1	後期
	2	体育	2	○ 健康スポーツ (理論)	1		1	前期
	2	外国語コミュニケーション	2	○ 健康スポーツ (実技)	1		1	後期
				○ 英会話 I	1		1	前期
	2	情報機器の操作	2	○ 英会話 II	1		1	後期
8		8	○ 情報機器の操作	2		1	前期	

* 授業科目の○印は必修科目

(教科及び教科の指導法に関する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [中等 (数学・音楽) 専攻] 2019年度以降入学生

本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		学部・学科等の教育課程 (教科及び教科の指導法に関する科目等)		左記に対応する開設授業科目			配当 年次	開講 時期		
科目区分	単位数	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数					
				必修		選択				
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的 事項	ソルフェージュ	28	24	○ ソルフェージュⅠ	1		2	前期	
					○ ソルフェージュⅡ	1		2	後期	
					○ キーボードハーモニーⅠ	1		3	—	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	器楽 (合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	28	24	○ キーボードハーモニーⅡ	1		3	—
						音楽表現ⅠA (ピアノ・歌)		2	1	通年
						音楽表現ⅡA (ピアノ・歌)		2	2	通年
						声楽実技Ⅰ (日本伝統歌唱を含む) ※1		1	3	—
						声楽実技Ⅱ (日本伝統歌唱を含む) ※2		1	3	—
						声楽演奏法演習Ⅰ ※3		1	4	—
						声楽演奏法演習Ⅱ ※4		1	4	—
○ 合唱Ⅰ						1		2	前期	
○ 合唱Ⅱ						1		2	後期	
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目						各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	器楽 (合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	28	24	器楽演習ⅠA (ピアノ)
	器楽演習ⅠB (管打)		1	3	—					
	器楽演習ⅡA (ピアノ)		1	3	—					
	器楽演習ⅡB (管打)		1	3	—					
	器楽特殊演習ⅠA (ピアノ)		1	4	—					
	器楽特殊演習ⅠB (管打)		1	4	—					
	器楽特殊演習ⅡA (ピアノ)		1	4	—					
	器楽特殊演習ⅡB (管打)		1	4	—					
	○ 器楽合奏Ⅰ (和楽器を含む)	2		1	通年					
	○ 指揮法	2		3	—					
○ 楽典	2		1	後期						
○ 西洋の音楽史と理論	2		2	前期						
○ 諸民族の音楽 (日本伝統音楽を含む)	2		2	後期						
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	28	24	○ 音楽科教育法Ⅰ	2		2	後期	
					○ 音楽科教育法Ⅱ	2		3	—	
					音楽科教育法Ⅲ		2	3	—	
					音楽科教育法Ⅳ		2	4	—	
				20		20				

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教科及び教科の指導法に関する科目等」の単位修得において、24単位を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(教育の基礎的理解に関する科目等)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [中等 (数学・音楽) 専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教育の基礎的理解に関する科目等)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期
科目	単位数	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数			
					必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	12	教育の理念並びに教育に関する歴史及び理想 教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児・児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	10	○ 教育原理B (中等)	2		1	後期
				○ 教職入門B (中等)	2		1	前期
				※ 教育行政学B (中等) →左記2科目から		2	2	後期
				※ 教育社会学B (中等) 1科目選択必修		2	2	後期
				○ 発達・教育心理学B (中等)	2		2	前期
				○ 特別支援B (中等)	2		3	—
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8	総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。) 生徒指導の理論及び方法 教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	8	○ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法B (中等)	2		3	—
				○ 教育方法・技術論B (中等)	2		3	—
				○ 生徒指導・進路指導B (中等)	2		2	前期
				○ 教育相談の理論と方法B (中等)	2		3	—
教育実践に関する科目	3	教育実習 学校体験活動	3	○ 教育実習事前事後指導 (中・高)	1		3	—
				○ 教育実習I (中・高)	2		3	—
				○ 教職実践演習 (中・高)	2		4	—
	2	2	2	2	4	—		
	25		23	23	4			

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位修得において、23単位を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(大学が独自に設定する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [中等 (数学・音楽) 専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (大学が独自に設定する科目)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目及び区分等		左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期
科目区分	単位数	科目区分	単位数	授業科目	単位数			
					必修	選択		
大学が独自に設定する科目	12	大学が独自に設定する科目	12	道徳教育の指導法B (中等)		2	3	—
				音楽表現I B (リズム&ダンス)		2	1	通年
				音楽表現II B (リズム&ダンス)		2	2	通年
				身体表現演習I		1	3	—
				身体表現演習II		1	3	—
				身体表現特殊演習I		1	4	—
				身体表現特殊演習II		1	4	—

* 「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上修得

(領域及び保育内容の指導法)①

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (領域及び保育内容の指導法に関する科目)							
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目区分	単位数	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目		配当年次	開講時期
				必修	選択		
領域及び保育内容の指導法に関する科目	26	健康	16	○ 子どもと健康	2	1	後期
		人間関係		○ 子どもと人間関係	2	1	後期
環境	○ 子どもと環境	2		1	前期		
言葉	○ 子どもと言葉	2		1	前期		
表現	○ 子どもと表現 (体育)	2		1	後期		
		○ 子どもと表現 (図工)		2	1	後期	
		○ 子どもと表現 (音楽)	2	1	後期		
		領域及び保育内容の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目		○ 保育内容総論	2	1	前期
	26		16		16		

* 授業科目の○印は必修科目

* 「領域及び保育内容の指導法に関する科目」の単位修得において、16単位数を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(領域及び保育内容の指導法)②

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (領域及び保育内容の指導法に関する科目)							
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目区分	単位数	科目区分	単位数	授業科目		配当年次	開講時期
				必修	選択		
領域及び保育内容の指導法に関する科目	26	保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	16	○ 子どもと健康の指導法	2	2	前期
				○ 子どもと人間関係の指導法	2	2	後期
				○ 子どもと環境の指導法	2	3	—
				○ 子どもと言葉の指導法	2	3	—
				○ 子どもと表現の指導法	2	3	—
	26		16		10		

* 授業科目の○印は必修科目

* 「領域及び保育内容の指導法に関する科目」の単位修得において、16単位数を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(教育の基礎的理解に関する科目等)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教育の基礎的理解に関する科目等)							
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目	単位数	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目		配当年次	開講時期
				必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	12	教育の理念並びに教育に関する歴史及び理想	10	○ 教育原理A (初等)	2	1	後期
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		○ 教職入門A (初等)	2	1	前期
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		※ 教育行政学A (初等) 一左記2科目から	2	2	前期
				※ 教育社会学A (初等) 1科目選択必修	2	2	後期
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		○ 発達・教育心理学A (初等)	2	2	前期
		特別の支援を必要とする幼児・児童及び生徒に対する理解		○ 特別支援A (初等)	2	3	—
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		○ 幼児教育課程総論	2	1	後期
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	6	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)	4	○ 教育方法・技術論A (初等)	2	3	—
		幼児理解の理論及び方法		○ 幼児理解	2	1	前期
		教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		○ 幼児教育相談支援	2	3	—
教育実践に関する科目	5	教育実習	5	○ 教育実習事前事後指導 (幼)	1	3	—
				○ 教育実習I (幼)	2	3	—
				○ 教育実習II (幼)	2	3	—
	2	教職実践演習	2	○ 教職実践演習 (幼・小)	2	4	—
	25		21		23	4	

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位修得において、21単位数を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(大学が独自に設定する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (大学が独自に設定する科目)							
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目区分	単位数	科目区分	単位数	授業科目		配当年次	開講時期
				必修	選択		
大学が独自に設定する科目	14	大学が独自に設定する科目	14		14		

* 最低修得単位数を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関

小学校教諭一種

(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)							
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期
	単位数	単位数	授業科目	単位数			
				必修	選択		
施行規則第66条の6に定める科目	2	日本国憲法	2	○ 日本国憲法	2	1	後期
	2	体育	2	○ 健康スポーツ (理論) ○ 健康スポーツ (実技)	1	1	前期 後期
	2	外国語コミュニケーション	2	○ 英会話 I ○ 英会話 II	1	1	前期 後期
	2	情報機器の操作	2	○ 情報機器の操作	2	1	前期
	8		8	8			

* 授業科目の○印は必修科目

(教科及び教科の指導法に関する科目) ①

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教科及び教科の指導法に関する科目)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期	
	科目区分	単位数	各科目に含めることが必要な事項	単位数	必修			選択
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	38	国語 (書写を含む)	30	○ 言葉の理解	2	1	後期
			書写演習 (小)		2	2	後期	
			社会		○ 社会の理解	2	1	後期
			算数		○ 数の理解	2	1	後期
			理科		○ 自然の理解	2	1	前期
			生活		○ 生活の理解	2	1	後期
			音楽		○ 音楽の理解	2	1	前期
			器楽演習 I (鍵盤楽器)		2	1	前期	
			器楽演習 II (鍵盤楽器)		2	2	後期	
			図画工作		○ 美術の理解	2	1	前期
			家庭		衣食住の理解	2	1	前期
			体育		○ 運動・健康の理解	2	1	後期
	外国語	○ 外国語の理解	2	1	前期			
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目							
	38		30		18	8		

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教科及び教科の指導法に関する科目」の単位修得において、30単位を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(教科及び教科の指導法に関する科目) ②

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教科及び教科の指導法に関する科目)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期	
	科目区分	単位数	各科目に含めることが必要な事項	単位数	必修			選択
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	38	国語 (書写を含む。)	30	○ 国語科指導法	2	3	—
			社会		○ 社会科指導法	2	2	前期
			算数		○ 算数科指導法	2	2	前期
			理科		○ 理科指導法	2	3	—
			生活		○ 生活科指導法	2	2	後期
			音楽		○ 音楽科指導法	2	2	後期
			図画工作		○ 図工科指導法	2	2	後期
			家庭		○ 家庭科指導法	2	2	前期
			体育		○ 体育科指導法	2	3	—
			外国語		○ 外国語科指導法	2	2	後期
					38		30	

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教科及び教科の指導法に関する科目」の単位修得において、30単位を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(教育の基礎的理解に関する科目等)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教育の基礎的理解に関する科目等)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期
科目	単位数	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数			
					必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	12	教育の理念並びに教育に関する歴史及び理想	10	○ 教育原理A (初等)	2		1	後期
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		○ 教職入門A (初等)	2		1	前期
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		※ 教育行政学A (初等) 一左記2科目から		2	2	前期
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		※ 教育社会学A (初等) 1科目選択必修		2	2	後期
		特別の支援を必要とする幼児・児童及び生徒に対する理解		○ 発達・教育心理学A (初等)	2		2	前期
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		○ 特別支援A (初等)	2		3	—
				○ 教育課程論A (初等)	2		3	—
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	道徳の理論及び指導法	10	○ 道徳教育の指導法A (初等)	2		3	—
		総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法		○ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法A (初等)	2		3	—
		教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)		○ 教育方法・技術論A (初等)	2		3	—
		生徒指導の理論及び方法		○ 生徒指導・進路指導論A (初等)	2		2	後期
		教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		○ 教育相談の理論と方法A (初等)	2		3	—
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
教育実践に関する科目	5	教育実習	5	○ 教育実習事前事後指導 (小)	1		3	—
		学校体験活動		○ 教育実習I (小)	2		3	—
		教職実践演習		○ 教育実習II (小)	2		3	—
	2	2	○ 教職実践演習 (幼・小)	2		4	—	
29	27	27	4					

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教育の基礎的理解に関する科目」の単位修得において、27単位を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(大学が独自に設定する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (大学が独自に設定する科目)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期
科目区分	単位数	科目区分	単位数	授業科目	単位数			
					必修	選択		
大学が独自に設定する科目	2	大学が独自に設定する科目	2	「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」		2		

* 最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」

(a) 中学校教諭一種 [国語]

(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期
単位数	単位数	単位数	単位数	授業科目	単位数			
					必修	選択		
施行規則第66条の6に定める科目	2	日本国憲法	2	○ 日本国憲法	2		1	後期
	2	体育	2	○ 健康スポーツ (理論)	1		1	前期
				○ 健康スポーツ (実技)	1		1	後期
	2	外国語コミュニケーション	2	○ 英会話 I	1		1	前期
				○ 英会話 II	1		1	後期
2	情報機器の操作	2	○ 情報機器の操作	2		1	前期	
8		8		8				

* 授業科目の○印は必修科目

(大学が独自に設定する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (大学が独自に設定する科目)						
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	単位数	科目区分	単位数	授業科目	単位数 必修 選択	配当年次 開講時期
大学が独自に設定する科目	4	大学が独自に設定する科目	4	「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道德、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」	4	

* 最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道德、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上を修得

(a) 高等学校教諭一種 [国語]

(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)						
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	単位数	科目区分	単位数	授業科目	単位数 必修 選択	配当年次 開講時期
施行規則第66条の6に定める科目	2	日本国憲法	2	○ 日本国憲法	2	1 後期
	2	体育	2	○ 健康スポーツ (理論) ○ 健康スポーツ (実技)	1 1	1 前期 1 後期
	2	外国語コミュニケーション	2	○ 英会話 I ○ 英会話 II	1 1	1 前期 1 後期
	2	情報機器の操作	2	○ 情報機器の操作	2	1 前期
	8		8		8	

* 授業科目の○印は必修科目

(教科及び教科の指導法に関する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教科及び教科の指導法に関する科目等)						
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	単位数	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数 必修 選択	配当年次 開講時期
教科及び教科の指導法に関する科目	32	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	24	○ 国語学入門	2	1 前期
				○ 国語学 I	2	1 後期
		○ 国語学 II		2	2 前期	
		国語学特論			2 4 -	
		○ 語学・文学総合演習 I (国語学)		2	2 後期	
		○ ことばとコミュニケーション		2	1 後期	
		○ 国文学入門		2	1 前期	
		○ 国文学 I		2	1 後期	
		○ 国文学 II		2	2 前期	
		国文学特論			2 3 -	
国文学 (国文学史を含む。)	24	漢文学	○ 語学・文学総合演習 II (国文学)	2	2 後期	
			○ 文学	2	1 前期	
			○ 漢文学入門	2	1 前期	
漢文学	24	漢文学	○ 漢文学 I	2	1 後期	
			○ 漢文学 II	2	2 前期	
			漢文学特論		2 3 -	
			○ 語学・文学総合演習 III (漢文学)	2	2 後期	
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	32	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	24	○ 国語科教育法 I	2	2 後期
				○ 国語科教育法 II	2	3 -
				国語科教育法 III		2 3 -
				国語科教育法 IV		2 4 -
	32		24		32 10	

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教科及び教科の指導法に関する科目」の単位修得において、24単位を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(教育の基礎的理解に関する科目等)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教育の基礎的理解に関する科目等)							
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目	単位数	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数 必修 選択	配当年次 開講時期	
教育の基礎的理解に関する科目	12	教育の理念並びに教育に関する歴史及び理想	10	○ 教育原理B (中等)	2	1	後期
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		○ 教職入門B (中等)	2	1	前期
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		※ 教育行政学B (中等) 一左記2科目から ※ 教育社会学B (中等) 1科目選択必修	2	2	後期
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		○ 発達・教育心理学B (中等)	2	2	前期
		特別の支援を必要とする幼児・児童及び生徒に対する理解		○ 特別支援B (中等)	2	3	—
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		○ 教育課程論B (中等)	2	3	—
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8	総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法	8	○ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法B (中等)	2	3	—
		教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)		○ 教育方法・技術論B (中等)	2	3	—
		生徒指導の理論及び方法		○ 生徒指導・進路指導論B (中等)	2	2	前期
		教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		○ 教育相談の理論と方法B (中等)	2	3	—
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
教育実践に関する科目	3	教育実習	3	○ 教育実習事前事後指導 (中・高)	1	3	—
		学校体験活動		○ 教育実習I (中・高)	2	3	—
		教職実践演習		○ 教職実践演習 (中・高)	2	4	—
	2		2				
	25		23		23	4	

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位修得において、23単位を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(大学が独自に設定する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (大学が独自に設定する科目)							
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目区分	単位数	科目区分	単位数	授業科目	単位数 必修 選択	配当年次 開講時期	
大学が独自に設定する科目	12	大学が独自に設定する科目	12	道徳教育の指導法B (中等)	2	3	—

* 「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得

教養科目)

■ 人間教育学部人間教育学科 2019年度入学生

本学における必要最低単位数		告示による教科目		左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期			
科目	単位数	科目	単位数	授業科目	単位数 必修 選択						
外国語、体育以外の科目	18	外国語、体育以外の科目	6	○ 日本国憲法	2	1	後期				
				○ 情報機器の操作	2	1	前期				
				文学	2	1	前期				
				音楽の世界	2	1	前期				
				数学の世界	2	1	前期				
				データの世界	2	1	後期				
				キャリアデザインI	1	1	不開講				
				キャリアデザインII	1	1	不開講				
				キャリアディベロップメントI	1	2	不開講				
				キャリアディベロップメントII	1	2	不開講				
				キャリアスキルアップI	1	3	—				
				キャリアスキルアップII	1	3	—				
				外国語	8	外国語	2	○ 英会話I	1	1	前期
								○ 英会話II	1	1	後期
中国語基礎I	1	1	前期								
中国語基礎II	1	1	後期								
中国語会話	1	1	後期								
スペイン語基礎I	1	1	前期								
スペイン語基礎II	1	1	後期								
スペイン語会話	1	1	後期								
体育	2	体育	2	○ 健康スポーツ 理論)	1	1	前期				
				○ 健康スポーツ 実技)	1	1	後期				
	28		10		8	20					

* 授業科目の○印は必修科目

教養科目)

■ 人間教育学部人間教育学科 2019年度入学生

本学における必要最低単位数	告示による教科目		左記に対応する開設授業科目				配当 年次	開講 時期
	単位数	単位数	授業科目	単位数				
				必修	選択			
外国語、体育以外の科目	18	外国語、体育以外の科目	6	<input type="radio"/> 日本国憲法 <input type="radio"/> 情報機器の操作 文学 音楽の世界 数学の世界 データの世界 キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアディベロップメントⅠ キャリアディベロップメントⅡ キャリアスキルアップⅠ キャリアスキルアップⅡ	2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1	2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 3 3	後期 前期 前期 前期 前期 後期 不開講 不開講 不開講 不開講 — —
外国語	8	外国語	2	<input type="radio"/> 英会話Ⅰ <input type="radio"/> 英会話Ⅱ 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ 中国語会話 スペイン語基礎Ⅰ スペイン語基礎Ⅱ スペイン語会話	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	前期 後期 前期 後期 後期 前期 後期 後期
体育	2	体育	2	<input type="radio"/> 健康スポーツ 理論) <input type="radio"/> 健康スポーツ 実技)	1 1	1 1	1 1	前期 後期
	28		10		8	20		

* 授業科目の○印は必修科目

告示別表第 1による教科目)

■ 人間教育学部人間教育学科 2019年度以降入学生

本学における必要最低単位数	告示による教科目		左記に対応する開設授業科目			配当 年次	開講 時期
			単位数	授業科目	単位数		
	必修	選択					
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	14	○ 保育原理	2		2	前期
	教育原理		○ 教育原理A (初等)	2		1	後期
	子ども家庭福祉		○ 子ども家庭福祉	2		3	前期
	社会福祉		○ 社会福祉	2		1	前期
	子ども家庭支援論		○ 子ども家庭支援論	2		3	—
	社会的養護 I		○ 社会的養護 I	2		2	前期
	保育者論		○ 保育者論	2		1	後期
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	9	○ 保育の心理学	2		2	後期
	子ども家庭支援の心理学		○ 子ども家庭支援の心理学	2		3	—
	子どもの理解と援助		○ 子どもの理解と援助	1		3	—
	子どもの保健		○ 子どもの保健	2		3	—
	子どもの食と栄養		○ 子どもの食と栄養	2		2	後期
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	2	○ 保育の計画と評価	2		2	後期
	保育内容総論	1	○ 保育内容総論	2		1	前期
	保育内容演習	5	○ 子どもと健康	2		1	後期
			○ 子どもと人間関係	2		1	後期
			○ 子どもと環境	2		1	前期
			○ 子どもと言葉	2		1	前期
	保育内容の理解と方法	4	○ 子どもと表現 (体育)	2		1	後期
			○ 子どもと表現 (図工)	2		1	後期
			○ 子どもと表現 (音楽)	2		1	後期
	乳児保育 I	2	○ 乳児保育 I	2		2	前期
	乳児保育 II	1	○ 乳児保育 II	1		2	後期
子どもの健康と安全	1	○ 子どもの健康と安全	1		3	—	
障害児保育	2	○ 障害児保育	2		3	—	
社会的養護 II	1	○ 社会的養護 II	1		2	後期	
子育て支援	1	○ 子育て支援	1		3	—	
保育実習	保育実習 I	4	○ 保育所実習 I	2/4		3	—
			○ 施設実習 I	2/4		3	—
	保育実習指導 I	2	○ 保育所実習指導 I	1		3	—
			○ 施設実習指導 I	1		3	—
総合演習	保育実践演習	2	○ 保育実践演習	2		4	—
		51		57			

* 授業科目の○印は必修科目

告示別表第2による教科目)

■ 人間教育学部人間教育学科 2019年度以降入学生

本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目及び区分等		左記に対応する開設授業科目				配当年次	開講時期
	単位数	科目	単位数	授業科目	単位数			
					必修	選択		
保育の本質・目的に関する科目	20	保育の本質・目的に関する科目	15	○ 教職入門A(初等)	2		1	前期
				○ 教育行政学A(初等)		2	2	前期
				○ 人間教育学	2		1	前期
保育の対象の理解に関する科目		保育の対象の理解に関する科目		○ 発達・教育心理学A(初等)	2		2	前期
				○ 幼児理解	2		1	前期
保育の内容・方法に関する科目	20	保育の内容・方法に関する科目	15	○ 教育方法・技術論A(初等)	2		3	—
				○ 子どもと健康の指導法	2		2	前期
				○ 子どもと人間関係の指導法	2		2	後期
				○ 子どもと環境の指導法	2		3	—
				○ 子どもと言葉の指導法	2		3	—
				○ 子どもと表現の指導法	2		3	—
				○ 保育所実習Ⅱ	2		3	—
保育実習	3	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	3	施設実習Ⅱ		2	4	—
				○ 保育所実習指導Ⅱ	1		3	—
		保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ		施設実習指導Ⅱ		1	4	—
	23		18		23	5		

* 授業科目の○印は必修科目

保育士資格取得科目ではないが、学校独自の科目として開設されている教科目)

■ 人間教育学部人間教育学科 2019年度入学生

本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目及び区分等		左記に対応する開設授業科目				配当年次	開講時期
	単位数	科目	単位数	授業科目	単位数			
					必修	選択		
保育士資格取得科目ではないが、学校独自の科目として開設されている科目		保育士資格取得科目ではないが、学校独自の科目として開設されている科目		衣食住の理解		2	1	前期
				行動の科学		2	1	後期
				ことばとコミュニケーション		2	1	後期
				生活科指導法		2	2	後期
				家庭科指導法		2	2	前期
				体育科指導法		2	3	—
					12			

2019年度入学生 人間教育学部 人間教育学科 中等(数学・音楽)専攻 授業科目表

I. 共通教育科目

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修コース		授業形態			資格要件科目		配当年次												配当年次	展開数														
			数学専修	音楽専修	講義	演習	実験・実習	中高数学	中高音楽	1年			2年			3年			4年																		
										前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年																
基礎 教養科目	英語 I	1	○		○					○			○			○			○															1	3		
	英語 II	1	○		○						○			○																					1	3	
	英会話 I	1	◎			○			●	●	◎			◎																					1	4	
	英会話 II	1	◎			○			●	●	◎			◎																					1	4	
	中国語基礎 I	1	○		○						○			○																					1	1	
	中国語基礎 II	1	○		○							○			○																				1	1	
	中国語会話	1	○			○						○			○																				1	1	
	スペイン語基礎 I	1	○		○						○			○																					1	1	
	スペイン語基礎 II	1	○		○							○			○																				1	1	
	スペイン語会話	1	○			○						○			○																				1	1	
	日本語 I	1	○		○						○			○																					1	1	
	日本語 II	1	○		○							○			○																				1	1	
	日本語表現 I	1	○			○						○			○																				1	1	
	日本語表現 II	1	○			○							○			○																			1	1	
	日本語表現 III	1	○			○						○			○																				1	1	
	日本語表現 IV	1	○			○							○			○																			1	1	
	文学	2	○		○							○			○																				1	1	
	哲学	2	○		○							○			○																					1	1
	倫理学	2	○		○								○			○																			1	1	
	心理学	2	○		○								○			○																			1	1	
	行動の科学	2	○		○								○			○																			1	1	
	文化人類学	2	○		○								○			○																			1	1	
	音楽の世界	2	○		○								○			○																			1	1	
	社会学	2	○		○								○			○																			1	1	
	日本国憲法	2	◎		○					●	●	◎			◎																				1	2	
	歴史学	2	○		○								○			○																			1	1	
	地理学	2	○		○								○			○																			1	1	
	数学の世界	2	○		○								○			○																			1	1	
	自然科学の基礎	2	○		○								○			○																			1	1	
	環境化学の基礎	2	○		○								○			○																			1	1	
	健康スポーツ(理論)	1	◎		○					●	●	◎			◎																				1	2	
	健康スポーツ(実技)	1	◎		○					●	●	◎			◎																				1	4	
	スポーツ実技 I	1	○										○			○																			1	3	
スポーツ実技 II	1	○										○			○																			1	3		
共生 教養科目	共生と社会	2	○		○							○			○																			1	1		
	人権論	2	○		○							○			○																			1	1		
	ボランティア活動	2	○		○							○			○																			1	1		
	生活と環境	2	○		○							○			○																			1	1		
奈良・国 際科目	奈良学	2	○		○							○			○																		1	1			
	異文化コミュニケーション	2	○		○							○			○																		1	1			
	国際事情	2	○		○							○			○																		1	1			
情報 教養科目	情報機器の操作	2	◎		○				●	●	◎			◎																				1	4		
	情報倫理とセキュリティ	2	○		○							○			○																		1	1			
	データの世界	2	○		○							○			○																		1	1			
	CGの基礎と演習	2	○		○							○			○																		1	1			
情報と分析	2	○		○							○			○																		1	1				
キャリア 形成科目	キャリアデザイン I	1	○		○							○																					1	1			
	キャリアデザイン II	1	○		○							○																					1	1			
	キャリアディベロップメント I	1	○		○								○																			2	1				
	キャリアディベロップメント II	1	○		○									○																		2	1				
	キャリアスキルアップ I	1	○		○											○																3	1				
	キャリアスキルアップ II	1	○		○												○															3	1				
インターンシップ	2	○		○												○															3	1					

※「中国語基礎 II」は「中国語基礎 I」を修得した者のみが履修できる。

※「スペイン語基礎 II」は「スペイン語基礎 I」を修得した者のみが履修できる。

専 門 科 目	発 展 目	教育実践の理解	合唱Ⅰ	1		○	○		●			○						2	1		
			合唱Ⅱ	1		○	○		●				○						2	1	
			器楽演習ⅠA(ピアノ)	1		○	○		◎1					○						3	
			器楽演習ⅠB(管打)	1		○	○		◎2					○						3	
			身体表現演習Ⅰ	1		○	○		◎3					○						3	
			声楽実技Ⅰ(日本伝統歌唱を含む)	1		○	○		◎4					○						3	
			器楽演習ⅡA(ピアノ)	1		○	○		◎1					○						3	
			器楽演習ⅡB(管打)	1		○	○		◎2					○						3	
			身体表現演習Ⅱ	1		○	○		◎3					○						3	
			声楽実技Ⅱ(日本伝統歌唱を含む)	1		○	○		◎4					○						3	
			器楽特殊演習ⅠA(ピアノ)	1		○	○		◎1						○					4	
			器楽特殊演習ⅠB(管打)	1		○	○		◎2						○					4	
			身体表現特殊演習Ⅰ	1		○	○		◎3						○					4	
			声楽演奏法演習Ⅰ	1		○	○		◎4						○					4	
			器楽特殊演習ⅡA(ピアノ)	1		○	○		◎1							○				4	
			器楽特殊演習ⅡB(管打)	1		○	○		◎2							○				4	
			身体表現特殊演習Ⅱ	1		○	○		◎3							○				4	
			声楽演奏法演習Ⅱ	1		○	○		◎4							○				4	
			器楽合奏Ⅰ(和楽器を含む)	2		○	○		●				○							1	1
			器楽合奏Ⅱ	2		○	○							○						2	1
			器楽合奏Ⅲ	2		○	○								○					3	
			器楽合奏Ⅳ	2		○	○									○				4	
			指揮法	2		○	○		●					○						3	
	作曲法基礎(編曲法を含む)	2		○	○									○				4			
	作曲法応用(編曲法を含む)	1		○	○										○			4			
	音楽科教育法Ⅰ	2		○	○		●					○						2	1		
	音楽科教育法Ⅱ	2		○	○		●						○					3			
	音楽科教育法Ⅲ	2		○	○		○						○					3			
	音楽科教育法Ⅳ	2		○	○		○							○				4			
	教職キャリア形成	教職表現力演習Ⅰ	1	○	○							○							1	3	
		教職表現力演習Ⅱ	1	○	○								○						2	3	
	演習実習科目	教育実践実習	教育実習事前事後指導(中・高)	1	◎	◎	○		●	●						◎			3		
			教育実習Ⅰ(中・高)	2	◎	◎	○		●	●				◎					3		
			教育実習Ⅱ(中)	2	◎	◎	○		●	●				◎					3		
			教職実践演習(中・高)	2	◎	◎	○		●	●							◎		4		
		ゼミナール	基礎ゼミナールⅠ	2	◎	◎	○						◎						1	3	
			基礎ゼミナールⅡ	2	◎	◎	○							◎					2	3	
			人間教育学ゼミナールⅠ(基礎)	4	◎	◎	○								◎				3	-	
			人間教育学ゼミナールⅡ(応用)	4	◎	◎	○										◎		4	-	
			卒業研究	4	○	○	○										○		4	-	
			卒業研究	4	○	○	○										○		4	-	
	関連科目	学校図書館 免許取得 司書	学校経営と学校図書館	2	○	○	○										○		4		
学校図書館メディアの構成			2	○	○	○									○			4			
学習指導と学校図書館			2	○	○	○									○			4			
読書と豊かな人間性			2	○	○	○										○		4			
情報メディアの活用			2	○	○	○										○		4			
日本語教師 資格		言語学概論	2			○										○			4		
		社会言語学	2			○										○			3		
		日本事情	2			○								○					3		
		日本語教育入門	2			○								○					3		
		日本語教育指導法・教材研究	2			○										○			4		
日本語教育実習事前事後指導	1			○										○			4				
日本語教育実習(国内又は海外)	2			○										○			4				

註1 「配当年次」欄の「◎」は卒業必修科目、「○」は卒業選択科目を表す。

註2 「資格要件科目」欄の「●」は免許必修科目、「◎」は免許選択必修科目、「○」は免許選択科目を表す。

註3 【卒業要件単位 124単位】

- ① 共通教育科目26単位以上(必修8単位を含む)
- ② 専門科目のうち、基礎科目32単位以上
- ③ 専門科目のうち、発展科目47単位以上
- ④ 専門科目のうち、演習実習科目19単位以上

(b) 中学校教諭一種 [数学]

(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [中等 (数学・音楽) 専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)								
本学における免許状取得に必要な最低単位数	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期	
	単位数	単位数	授業科目	単位数	必修			選択
施行規則第66条の6に定める科目	2	日本国憲法	2	○ 日本国憲法	2		1	後期
	2	体育	2	○ 健康スポーツ (理論)	1		1	前期
	2	外国語コミュニケーション	2	○ 健康スポーツ (実技)	1		1	後期
	2	情報機器の操作	2	○ 英会話 I	1		1	前期
	2	情報機器の操作	2	○ 英会話 II	1		1	後期
	8		8	○ 情報機器の操作	2		1	前期
					8			

* 授業科目の○印は必修科目

(教科及び教科の指導法に関する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [中等 (数学・音楽) 専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教科及び教科の指導法に関する科目等)									
本学における免許状取得に必要な最低単位数	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期		
	科目区分	単位数	各科目に含めることが必要な事項	単位数	必修			選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	36	代数学	28	○ 代数学基礎	2		1	後期
					○ 代数学A (線形写像)	2		2	前期
					○ 代数学B (群論)	2		2	後期
					代数学I (数論)		2	3	—
					代数学II (環と体)		2	3	—
			応用数学II (応用代数学)			2	4	—	
			幾何学		○ 幾何学基礎	2		2	前期
					○ 幾何学A (集合と位相)	2		2	後期
					○ 幾何学B (位相空間)	2		3	—
					応用数学I (位相幾何)		2	4	—
	○ 解析学基礎	2			1	後期			
	解析学	○ 解析学A (テーラー展開)	2		2	前期			
		○ 解析学B (複素関数)	2		2	後期			
		解析学I (ルベグ積分)		2	3	—			
		解析学II (関数解析)		2	4	—			
	「確率論、統計学」	○ 応用数学III (微分方程式)		2	4	—			
		○ 確率・統計基礎	2		2	前期			
○ 確率・統計応用		2		3	—				
コンピュータ	○ コンピュータ基礎	2		1	後期				
	○ コンピュータA (アルゴリズム論)	2		2	後期				
	○ コンピュータB (統計データ分析)	2		3	—				
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目								
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	36	28	○ 数学科教育法I	2		2	後期	
				○ 数学科教育法II	2		3	—	
				○ 数学科教育法III	2		3	—	
				○ 数学科教育法IV	2		4	—	
		36		28	36	14			

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教科及び教科の指導法に関する科目等」の単位修得において、28単位を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(教育の基礎的理解に関する科目等)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教育の基礎的理解に関する科目等)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				
科目	単位数	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数		配当年次	開講時期
					必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	12	教育の理念並びに教育に関する歴史及び理想	10	○ 教育原理B (中等)	2		1	後期
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		○ 教職入門B (中等)	2		1	前期
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		※ 教育行政学B (中等) →左記2科目から		2	2	後期
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		※ 教育社会学B (中等) 1科目選択必修		2	2	後期
		特別の支援を必要とする幼児・児童及び生徒に対する理解		○ 発達・教育心理学B (中等)	2		2	前期
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		○ 特別支援B (中等)	2		3	—
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	道徳の理論及び指導法	10	○ 道徳教育の指導法B (中等)	2		3	—
		総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法		○ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法B (中等)	2		3	—
		教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)		○ 教育方法・技術論B (中等)	2		3	—
		生徒指導の理論及び方法		○ 生徒指導・進路指導論B (中等)	2		2	前期
		教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		○ 教育相談の理論と方法B (中等)	2		3	—
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
教育実践に関する科目	5	教育実習	5	○ 教育実習事前事後指導 (中・高)	1		3	—
		学校体験活動		○ 教育実習Ⅰ (中・高)	2		3	—
		教職実践演習		○ 教育実習Ⅱ (中)	2		3	—
	2	2	○ 教職実践演習 (中・高)	2		4	—	
	29		27		27	4		

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位修得において、27単位を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(大学が独自に設定する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [中等 (数学・音楽) 専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (大学が独自に設定する科目)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				
科目区分	単位数	科目区分	単位数	授業科目	単位数		配当年次	開講時期
					必修	選択		
大学が独自に設定する科目	4	大学が独自に設定する科目	4	「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」		4		

* 最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上を修得

(b) 高等学校教諭一種 [数学]

(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [中等 (数学・音楽) 専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				
単位数	科目	単位数	科目	授業科目	単位数		配当年次	開講時期
					必修	選択		
2	日本国憲法	2	日本国憲法	○ 日本国憲法	2		1	後期
2	体育	2	体育	○ 健康スポーツ (理論)	1		1	前期
				○ 健康スポーツ (実技)	1		1	後期
2	外国語コミュニケーション	2	外国語コミュニケーション	○ 英会話Ⅰ	1		1	前期
				○ 英会話Ⅱ	1		1	後期
2	情報機器の操作	2	情報機器の操作	○ 情報機器の操作	2		1	前期
		8			8			

* 授業科目の○印は必修科目

(大学が独自に設定する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [中等 (数学・音楽) 専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (大学が独自に設定する科目)						
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		
科目区分	単位数	科目区分	単位数	授業科目	単位数 必修 選択	配当年次 開講時期
大学が独自に設定する科目	12	大学が独自に設定する科目	12	道徳教育の指導法B (中等)	2	3 -

* 「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得

(c) 中学校教諭一種 [音楽]

(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [中等 (数学・音楽) 専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)							
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目区分	単位数	科目区分	単位数	授業科目	単位数		配当年次 開講時期
					必修	選択	
施行規則第66条の6に定める科目	2	日本国憲法	2	○ 日本国憲法	2	1	後期
	2	体育	2	○ 健康スポーツ (理論) ○ 健康スポーツ (実技)	1	1	前期 後期
	2	外国語コミュニケーション	2	○ 英会話 I ○ 英会話 II	1	1	前期 後期
	2	情報機器の操作	2	○ 情報機器の操作	2	1	前期
	8		8		8		

* 授業科目の○印は必修科目

(教科及び教科の指導法に関する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [中等 (数学・音楽) 専攻] 2019年度以降入学生

本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		学部・学科等の教育課程 (教科及び教科の指導法に関する科目等)		左記に対応する開設授業科目			配当 年次	開講 時期				
科目区分	単位数	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数							
					必修	選択						
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的 事項	ソルフェージュ	28	○ ソルフェージュⅠ	1		2	前期				
				○ ソルフェージュⅡ	1		2	後期				
				○ キーボードハーモニーⅠ	1		3	—				
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	32	声楽 (合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	28	○ キーボードハーモニーⅡ	1		3	—			
					音楽表現ⅠA (ピアノ・歌)		2	1	通年			
					音楽表現ⅡA (ピアノ・歌)		2	2	通年			
					声楽実技Ⅰ (日本伝統歌唱を含む) ※1		1	3	—			
					声楽実技Ⅱ (日本伝統歌唱を含む) ※2		1	3	—			
					声楽演奏法演習Ⅰ ※3		1	4	—			
					声楽演奏法演習Ⅱ ※4		1	4	—			
○ 合唱Ⅰ					1		2	前期				
○ 合唱Ⅱ					1		2	後期				
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目					32	器楽 (合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	28	器楽演習ⅠA (ピアノ)		左記2科目と「※1」の科目を含む3科目から最低1科目1単位選択必修	1	3
	器楽演習ⅠB (管打)	1	3	—								
	器楽演習ⅡA (ピアノ)		左記2科目と「※2」の科目を含む3科目から最低1科目1単位選択必修	1				3	—			
	器楽演習ⅡB (管打)			1				3	—			
	器楽特殊演習ⅠA (ピアノ)		左記2科目と「※3」の科目を含む3科目から最低1科目1単位選択必修	1				4	—			
	器楽特殊演習ⅠB (管打)			1				4	—			
	器楽特殊演習ⅡA (ピアノ)		左記2科目と「※4」の科目を含む3科目から最低1科目1単位選択必修	1				4	—			
	器楽特殊演習ⅡB (管打)			1				4	—			
	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	32	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	28				○ 器楽合奏Ⅰ (和楽器を含む)	2		1	通年
								○ 指揮法	2		3	—
○ 楽典					2		1	後期				
○ 西洋の音楽史と理論					2		2	前期				
○ 諸民族の音楽 (日本伝統音楽を含む)					2		2	後期				
○ 音楽科教育法Ⅰ					2		2	後期				
○ 音楽科教育法Ⅱ					2		3	—				
○ 音楽科教育法Ⅲ					2		3	—				
○ 音楽科教育法Ⅳ					2		4	—				
								24	16			

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教科及び教科の指導法に関する科目等」の単位修得において、28単位を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(教育の基礎的理解に関する科目等)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [中等 (数学・音楽) 専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教育の基礎的理解に関する科目等)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				
科目	単位数	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数		配当年次	開講時期
					必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	12	教育の理念並びに教育に関する歴史及び理想	10	○ 教育原理B (中等)	2		1	後期
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		○ 教職入門B (中等)	2		1	前期
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		※ 教育行政学B (中等) ←左記2科目から ※ 教育社会学B (中等) 1科目選択必修	2	2	2	後期
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		○ 発達・教育心理学B (中等)	2		2	前期
		特別の支援を必要とする幼児・児童及び生徒に対する理解		○ 特別支援B (中等)	2		3	—
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		○ 教育課程論B (中等)	2		3	—
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	道徳の理論及び指導法	10	○ 道徳教育の指導法B (中等)	2		3	—
		総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法		○ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法B (中等)	2		3	—
		教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)		○ 教育方法・技術論B (中等)	2		3	—
		生徒指導の理論及び方法		○ 生徒指導・進路指導論B (中等)	2		2	前期
		教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		○ 教育相談の理論と方法B (中等)	2		3	—
教育実践に関する科目	5	教育実習	5	○ 教育実習事前事後指導 (中・高)	1		3	—
		学校体験活動		○ 教育実習I (中・高)	2		3	—
		教職実践演習		○ 教育実習II (中)	2		3	—
	2	2		○ 教職実践演習 (中・高)	2		4	—
29		27		27		4		

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位修得において、27単位を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(大学が独自に設定する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [中等 (数学・音楽) 専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (大学が独自に設定する科目)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目及び区分等		左記に対応する開設授業科目				
科目区分	単位数	科目区分	単位数	授業科目	単位数		配当年次	開講時期
					必修	選択		
大学が独自に設定する科目	4	大学が独自に設定する科目	4	音楽表現I B (リズム&ダンス)		2	1	通年
				音楽表現II B (リズム&ダンス)		2	2	通年
				身体表現演習I		1	3	—
				身体表現演習II		1	3	—
				身体表現特殊演習I		1	4	—
				身体表現特殊演習II		1	4	—

* 「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上修得

(c) 高等学校教諭一種 [音楽]

(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [中等 (数学・音楽) 専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				
科目区分	単位数	科目区分	単位数	授業科目	単位数		配当年次	開講時期
					必修	選択		
施行規則第66条の6に定める科目	2	日本国憲法	2	○ 日本国憲法	2		1	後期
	2	体育	2	○ 健康スポーツ (理論)	1		1	前期
	2	外国語コミュニケーション	2	○ 健康スポーツ (実技)	1		1	後期
				○ 英会話 I	1		1	前期
	2	情報機器の操作	2	○ 英会話 II	1		1	後期
8	8	8	○ 情報機器の操作	2		1	前期	

* 授業科目の○印は必修科目

(教科及び教科の指導法に関する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [中等 (数学・音楽) 専攻] 2019年度以降入学生

本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		学部・学科等の教育課程 (教科及び教科の指導法に関する科目等)		左記に対応する開設授業科目			配当 年次	開講 時期	
科目区分	単位数	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数				
					必修	選択			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的 事項	ソルフェージュ	28	ソルフェージュⅠ	1		2	前期	
				ソルフェージュⅡ	1		2	後期	
				ソルフェージュⅢ	1		3	—	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	28	ソルフェージュⅣ	1		3	—
					音楽表現ⅠA (ピアノ・歌)		2	1	通年
					音楽表現ⅡA (ピアノ・歌)		2	2	通年
					声楽実技Ⅰ (日本伝統歌唱を含む) ※1		1	3	—
					声楽実技Ⅱ (日本伝統歌唱を含む) ※2		1	3	—
					声楽演奏法演習Ⅰ ※3		1	4	—
					声楽演奏法演習Ⅱ ※4		1	4	—
合唱Ⅰ					1		2	前期	
合唱Ⅱ					1		2	後期	
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目					各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	24	器楽演習ⅠA (ピアノ)	
	器楽演習ⅠB (管打)		1	3				—	
	器楽演習ⅡA (ピアノ)		1	3				—	
	器楽演習ⅡB (管打)		1	3				—	
	器楽特殊演習ⅠA (ピアノ)		1	4				—	
	器楽特殊演習ⅠB (管打)		1	4				—	
	器楽特殊演習ⅡA (ピアノ)		1	4				—	
	器楽特殊演習ⅡB (管打)		1	4				—	
	器楽合奏Ⅰ (和楽器を含む)	2		1				通年	
	指揮法	2		3				—	
音楽理論、作曲法 (編曲法を含む。) 及び音楽史 (日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)	2		1	後期					
西洋の音楽史と理論	2		2	前期					
諸民族の音楽 (日本伝統音楽を含む)	2		2	後期					
音楽科教育法Ⅰ	2		2	後期					
音楽科教育法Ⅱ	2		3	—					
音楽科教育法Ⅲ		2	3	—					
音楽科教育法Ⅳ		2	4	—					
			24		20	20			

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教科及び教科の指導法に関する科目等」の単位修得において、24単位を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(教育の基礎的理解に関する科目等)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [中等 (数学・音楽) 専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (教育の基礎的理解に関する科目等)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期
科目	単位数	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数			
					必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	12	教育の理念並びに教育に関する歴史及び理想	10	○ 教育原理B (中等)	2		1	後期
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		○ 教職入門B (中等)	2		1	前期
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		※ 教育行政学B (中等) →左記2科目から		2	2	後期
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		※ 教育社会学B (中等) 1科目選択必修		2	2	後期
		特別の支援を必要とする幼児・児童及び生徒に対する理解		○ 発達・教育心理学B (中等)	2		2	前期
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		○ 特別支援B (中等)	2		3	—
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8	総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法	8	○ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法B (中等)	2		3	—
		教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)		○ 教育方法・技術論B (中等)	2		3	—
		生徒指導の理論及び方法		○ 生徒指導・進路指導論B (中等)	2		2	前期
		教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		○ 教育相談の理論と方法B (中等)	2		3	—
教育実践に関する科目	3	教育実習	3	○ 教育実習事前事後指導 (中・高)	1		3	—
		学校体験活動		○ 教育実習I (中・高)	2		3	—
		2		教職実践演習	2		4	—
	25		23		23	4		

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位修得において、23単位を超えた単位数は、「大学が独自に設定する科目」に含めることができる

(大学が独自に設定する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [中等 (数学・音楽) 専攻] 2019年度以降入学生

学部・学科等の教育課程 (大学が独自に設定する科目)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数		免許法施行規則に定める科目及び区分等		左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期
科目区分	単位数	科目区分	単位数	授業科目	単位数			
					必修	選択		
大学が独自に設定する科目	12	大学が独自に設定する科目	12	道徳教育の指導法B (中等)		2	3	—
				音楽表現I B (リズム&ダンス)		2	1	通年
				音楽表現II B (リズム&ダンス)		2	2	通年
				身体表現演習I		1	3	—
				身体表現演習II		1	3	—
				身体表現特殊演習I		1	4	—
				身体表現特殊演習II		1	4	—

* 「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上修得

II. 専門教育科目

科目区分	授業科目の名称	単位数	履修コース			授業形態				資格要件に関する科目				日本語教師資格	配当年次								配当年次	展開数							
			幼稚園専修	小学校専修	国語専修	講義	演習	実習・実験	教員免許状			保育士	1年		2年		3年		4年												
									幼稚園	小学校	中高国語		前期		後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期										
																						通年			通年	通年	通年				
基 礎 科 目	教育心理学A(初等)	2	○	○	○				●	●		▲														2	1				
	教育心理学B(中等)	2			○								◆														2	1			
	発達心理学A(初等)	2	○	○	○				○	○			△		○													1	1		
	発達心理学B(中等)	2			○	○									○													1	1		
	保育の心理学I	2	○			○										○												2	1		
	保育の心理学II	1	○				○																					3	1		
	教育行政学A(初等)	2	○	○		○			◎1	◎1																		2	1		
	教育行政学B(中等)	2			○	○						◎1					○												2	1	
	教育社会学A(初等)	2	○	○		○			◎2	◎2																			2	1	
	教育社会学B(中等)	2			○	○						◎2																	2	1	
	教職入門A(初等)	2	○	○		○									○														1	1	
	教職入門B(中等)	2			○	○									○														1	1	
	社会福祉	2	○			○									○														1	1	
	幼児理解	2	○			○									○														1	1	
	保育者論	2	○			○										○													1	1	
	教育原理A(初等)	2	○	○		○									○														1	1	
	教育原理B(中等)	2			○	○									○														1	1	
	保育原理	2	○			○											○												2	1	
	言葉の理解	2	○	○		○									○														1	2	
	社会の理解	2		○		○									○														1	2	
	教の理解	2	○	○		○									○														1	2	
	自然の理解	2		○		○									○														1	2	
	生活の理解	2	○	○		○									○														1	1	
	音楽の理解	2	○	○		○									○														1	3	
	美術の理解	2	○	○		○									○														1	2	
	衣食住の理解	2	○	○		○									○														1	2	
	運動・健康の理解	2	○	○		○									○														1	3	
	書写演習(小)	2		○				○																					2	1	
	器楽演習I(鍵盤楽器)	2	○	○	○			○						△	○														1	4	
	器楽演習II(鍵盤楽器)	2	○	○	○			○									○												2	2	
	食の心理	2	○	○	○	○								△															2	1	
	国語学入門	2			○	○									◆	○													1	1	
	国語学I	2			○	○									◆	○													1	1	
	国文学入門	2			○	○									◆	○													1	2	
	国文学I	2			○	○									◆	○													1	1	
	漢文学入門	2			○	○									◆	○													1	1	
	漢文学I	2			○	○										○													1	1	
	書写・書道入門	2			○	○										○													1	1	
	書写・書道I	2			○	○																							2	1	
	基 礎 科 目	人間教育学	2	◎	◎	◎									◎														1	2	
		ことばとコミュニケーション	2	○	○	○										◆	○													1	1
		教育と日本の伝統文化	2	○	○	○	○									◆														2	2
		英米文学	2	○	○	○	○																							2	1
		現代教育課題A(不登校・いじめ)	2	○	○	○	○																							3	1
	発 展 科 目	現代教育課題B(特別支援)	2	○	○	○	○																							3	1
現代教育課題C(学校と安全)		2	○	○	○	○																							3	1	
現代教育課題D(学校における異文化理解)		2	○	○	○	○																							3	1	
保育相談支援		2	○				○																						3	1	
家庭支援論		2	○				○																						3	1	
相談援助		1	○				○																						3	1	
児童家庭福祉		2	○				○																						2	1	
社会的養護		2	○				○																						2	1	
教育相談の理論と方法A(初等)		2		○																									3	1	
教育相談の理論と方法B(中等)		2			○	○																								3	1

(教科に関する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2018年度入学生

学部・学科等の教育課程 (教科に関する科目)							
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数 単位数	免許法施行規則に定める科目区分等 単位数	左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期	
		授業科目	単位数 必修 選択				
教科に関する科目	16	8	○ 言葉の理解	2		1	後期
			書写演習 (小)		2	2	後期
			○ 社会の理解	2		1	後期
			○ 数の理解	2		1	後期
			○ 自然の理解	2		1	前期
			○ 生活の理解	2		1	後期
			○ 音楽の理解	2		1	前期
			器楽演習 I (鍵盤楽器)		2	1	前期
			器楽演習 II (鍵盤楽器)		2	2	後期
			○ 美術の理解	2		1	前期
衣食住の理解		2	1	前期			
○ 運動・健康の理解	2		1	後期			
16	8	16	8				

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教科に関する科目」の単位修得において、8単位を超えた単位数は、「教科又は教職に関する科目」に含めることができる

(教職に関する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2018年度入学生

学部・学科等の教育課程 (教職に関する科目)							
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数 単位数	科目 単位数	各科目に含める必要事項 単位数	左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期
			授業科目	単位数 必修 選択			
教職に関する科目	26	22	○ 教職入門 A (初等)	2		1	前期
			○ 教育原理 A (初等)	2		1	後期
			○ 教育心理学 A (初等)	2		2	前期
			発達心理学 A (初等)		2	1	不開講
			※ 教育行政学 A (初等) 一左記2科目から		2	2	前期
			※ 教育社会学 A (初等) 1科目選択必修		2	2	後期
			○ 教育課程論 A (初等)	2		3	前期
			○ 国語科指導法	2		3	前期
			○ 社会科指導法	2		2	前期
			○ 算数科指導法	2		2	前期
○ 理科指導法	2		3	前期			
○ 生活科指導法	2		2	後期			
○ 音楽科指導法	2		2	後期			
○ 図工科指導法	2		2	後期			
○ 家庭科指導法	2		2	前期			
○ 体育科指導法	2		3	前期			
○ 道徳教育の指導法 A (初等)	2		3	後期			
○ 特別活動の指導法 A (初等)	2		2	前期			
○ 教育方法・技術論 A (初等)	2		3	後期			
4	4	4	○ 生徒指導・進路指導論 A (初等)	2		2	後期
			○ 教育相談の理論と方法 A (初等)	2		3	後期
5	5	5	○ 教育実習事前事後指導 (小)	1		3	通年
			○ 教育実習 I (小)	2		3	前期
			○ 教育実習 II (小)	2		3	前期
2	2	2	○ 教職実践演習 (幼・小)	2		4	-
45		41		43	6		

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教職に関する科目」の単位修得において、41単位を超えた単位数は「教科又は教職に関する科目」に含めることができる

(教科又は教職に関する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2018年度入学生

学部・学科等の教育課程 (教科又は教職に関する科目)							
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数 単位数	免許法施行規則に定める科目区分等 単位数	左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期	
		授業科目	単位数 必修 選択				
教科又は教職に関する科目	10	10	○ 人間教育学	2		1	前期
			現代教育課題 B (特別支援)		2	3	前期
			現代教育課題 C (学校と安全)		2	3	後期
			総合的な学習の時間		2	2	後期
			小学校外国語活動の指導法		2	2	後期

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教科又は教職に関する科目」の必修科目及び選択科目又は最低修得単位数を超えて履修した「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」について、併せて10単位以上修得

(a) 中学校教諭一種 [国語]

(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2018年度入学生

学部・学科等の教育課程 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)							
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期
	単位数	単位数	授業科目	単位数			
				必修	選択		
施行規則第66条の6に定める科目	2	日本国憲法	2	○ 日本国憲法	2	1	後期
	2	体育	2	○ 健康スポーツ (理論) ○ 健康スポーツ (実技)	1 1	1 1	前期 後期
	2	外国語コミュニケーション	2	○ 英会話 I ○ 英会話 II	1 1	1 1	前期 後期
	2	情報機器の操作	2	○ 情報機器の操作	2	1	前期
	8		8		8		

* 授業科目の○印は必修科目

(教科に関する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2018年度入学生

学部・学科等の教育課程 (教科に関する科目)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期	
	単位数	単位数	授業科目	単位数				
				必修	選択			
教科に関する科目	30	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。) 国文学 (国文学史を含む。) 漢文学 書道 (書写を中心とする。)	20	○ 国語学入門	2	1	前期	
				○ 国語学 I	2	1	後期	
				○ 国語学 II	2	2	前期	
				国語学特論		2	4	—
				○ 語学・文学総合演習 I (国語学)	2	2	後期	
				○ ことばとコミュニケーション	2	1	後期	
				○ 国文学入門	2	1	前期	
				○ 国文学 I	2	1	後期	
				○ 国文学 II	2	2	前期	
				国文学特論		2	3	前期
				○ 語学・文学総合演習 II (国文学)	2	2	後期	
				○ 文学	2	1	前期	
				○ 漢文学入門	2	1	前期	
				○ 漢文学 I	2	1	後期	
				○ 漢文学 II	2	2	前期	
				漢文学特論		2	3	前期
				○ 語学・文学総合演習 III (漢文学)	2	2	後期	
○ 書写・書道入門	2	1	後期					
書写・書道 I		2	2	前期				
書写・書道 II		2	3	前期				
	30		20		30	10		

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教科に関する科目」の単位修得において、20単位を超えた単位数は、「教科又は教職に関する科目」に含めることができる

(教職に関する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2018年度入学生

学部・学科等の教育課程 (教職に関する科目)									
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目区分等				左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期
	単位数	科目	各科目に含める必要事項	単位数	授業科目	単位数 必修 選択			
教職に関する科目	2	教職の意義等に関する科目	・ 教職の意義及び教員の役割 ・ 教員の職務内容 (研修、服務及び身分保障等を含む。) ・ 進路選択に資する各種の機会の提供等	2	○ 教職入門B (中等)	2	1	前期	
	6	教育の基礎理論に関する科目	・ 教育の理念並びに教育に関する歴史及び理想	6	○ 教育原理B (中等)	2	1	後期	
			・ 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 (障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)		○ 教育心理学B (中等)	2	2	前期	
			・ 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		発達心理学B (中等)		2	1	不開講
	12	教育課程及び指導法に関する科目	・ 教育課程の意義及び編成の方法	12	○ 教育行政学B (中等) →左記2科目から ※ 教育社会学B (中等) 1科目選択必修		2	2	後期
			・ 各教科の指導法		○ 教育社会学B (中等)	2	2	後期	
			○ 教育課程論B (中等)		2	3	前期		
			○ 国語科教育法I		2	2	後期		
			○ 国語科教育法II		2	3	前期		
			国語科教育法III			2	3	後期	
国語科教育法IV					2	4	—		
・ 道徳の指導法	○ 道徳教育の指導法B (中等)	2	3	前期					
・ 特別活動の指導法	○ 特別活動の指導法B (中等)	2	2	前期					
4	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・ 生徒指導の理論及び方法 ・ 進路指導の理論及び方法	4	○ 教育方法・技術論B (中等)	2	3	後期		
		・ 教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		○ 生徒指導・進路指導論B (中等)	2	2	前期		
5	教育実習		5	○ 教育相談の理論と方法B (中等)	2	3	後期		
				○ 教育実習事前事後指導 (中・高)	1	3	通年		
2	教職実践演習		2	○ 教育実習I (中・高)	2	3	前期		
				○ 教育実習II (中)	2	3	前期		
2	教職実践演習		2	○ 教職実践演習 (中・高)	2	4	—		
31			31		29	10			

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教職に関する科目」の単位修得において、31単位を超えた単位数は、「教科又は教職に関する科目」に含めることができる

(教科又は教職に関する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2018年度入学生

学部・学科等の教育課程 (教科又は教職に関する科目)									
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目区分等				左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期
	単位数	科目	単位数	授業科目	単位数 必修 選択				
教科又は教職に関する科目	10	教科又は教職に関する科目		8	○ 人間教育学 現代教育課題B (特別支援) 現代教育課題C (学校と安全) 総合的な学習の時間	2	2	1	前期 前期 後期 後期

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教科又は教職に関する科目」の必修科目及び選択科目又は最低修得単位数を超えて履修した「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」について、併せて8単位以上を修得

(a) 高等学校教諭一種 [国語]

(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2018年度入学生

学部・学科等の教育課程 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)									
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目区分等				左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期
	単位数	科目	単位数	授業科目	単位数 必修 選択				
施行規則第66条の6に定める科目	2	日本国憲法	2	○ 日本国憲法	2	1	後期		
	2	体育	2	○ 健康スポーツ (理論)	1	1	前期		
				○ 健康スポーツ (実技)	1	1	後期		
	2	外国語コミュニケーション	2	○ 英会話I	1	1	前期		
	○ 英会話II	1	1	後期					
2	情報機器の操作	2	○ 情報機器の操作	2	1	前期			
8		8		8					

* 授業科目の○印は必修科目

(教科に関する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2018年度入学生

学部・学科等の教育課程 (教科に関する科目)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目			配当 年次	開講 時期
	単位数	科目	単位数	授業科目	単位数			
					必修	選択		
教科に関する科目	28	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	20	○ 国語学入門	2		1	前期
				○ 国語学 I	2		1	後期
				○ 国語学 II	2		2	前期
				国語学特論		2	4	—
				○ 語学・文学総合演習 I (国語学)	2		2	後期
				○ ことばとコミュニケーション	2		1	後期
		○ 国文学入門		2		1	前期	
		○ 国文学 I		2		1	後期	
		○ 国文学 II		2		2	前期	
		国文学特論			2	3	前期	
		○ 語学・文学総合演習 II (国文学)		2		2	後期	
		○ 文学		2		1	前期	
		○ 漢文学入門		2		1	前期	
		○ 漢文学 I		2		1	後期	
		○ 漢文学 II		2		2	前期	
		漢文学特論			2	3	前期	
		○ 語学・文学総合演習 III (漢文学)		2		2	後期	
		28			20		28	6

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教科に関する科目」の単位修得において、20単位を超えた単位数は、「教科又は教職に関する科目」に含めることができる

(教職に関する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2018年度入学生

学部・学科等の教育課程 (教職に関する科目)									
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目			配当 年次	開講 時期	
	単位数	科目	単位数	授業科目	単位数				
					必修	選択			
教職に関する科目	2	教職の意義等に関する科目	2	・ 教職の意義及び教員の役割 ・ 教員の職務内容 (研修、服務及び身分保障等を含む。) ・ 進路選択に資する各種の機会の提供等	○ 教職入門B (中等)	2		1	前期
					○ 教育原理B (中等)	2		1	後期
	6	教育の基礎理論に関する科目	6	・ 教育の理念並びに教育に関する歴史及び理想 ・ 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 (障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。) ・ 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	○ 教育心理学B (中等)	2		2	前期
					発達心理学B (中等)		2	1	不開講
					※ 教育行政学B (中等) →左記2科目から ※ 教育社会学B (中等) 1科目選択必修		2	2	後期
	10	教育課程及び指導法に関する科目	6	・ 教育課程の意義及び編成の方法 ・ 各教科の指導法 ・ 特別活動の指導法 ・ 教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)	○ 教育課程論B (中等)	2		3	前期
					○ 国語科教育法 I	2		2	後期
					○ 国語科教育法 II	2		3	前期
					国語科教育法 III		2	3	後期
					国語科教育法 IV		2	4	—
					○ 特別活動の指導法B (中等)	2		2	前期
	4	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4	・ 生徒指導の理論及び方法 ・ 進路指導の理論及び方法 ・ 教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	○ 生徒指導・進路指導論B (中等)	2		2	前期
○ 教育相談の理論と方法B (中等)					2		3	後期	
3	教育実習	3	○ 教育実習事前事後指導 (中・高)	1		3	通年		
2	教職実践演習	2	○ 教育実習 I (中・高)	2		3	前期		
			○ 教職実践演習 (中・高)	2		4	—		
27		23		25	10				

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教職に関する科目」の単位修得において、23単位を超えた単位数は、「教科又は教職に関する科目」に含めることができる

(教科又は教職に関する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 [人間教育学専攻] 2018年度入学生

学部・学科等の教育課程 (教科又は教職に関する科目)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目			配当 年次	開講 時期
	単位数	科目	単位数	授業科目	単位数			
					必修	選択		
教科又は教職に関する科目	16	教科又は教職に関する科目	16	○ 人間教育学	2		1	前期
				現代教育課題B (特別支援)		2	3	前期
				現代教育課題C (学校と安全)		2	3	後期
				総合的な学習の時間		2	2	後期
				道徳教育の指導法B (中等)		2	3	前期

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教科又は教職に関する科目」の必修科目及び選択科目又は最低修得単位数を超えて履修した「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」について、併せて16単位以上を修得

教養科目)

■ 人間教育学部人間教育学科 2018年度入学生

本学における必要最低単位数	告示による教科目		左記に対応する開設授業科目				配当 年次	開講 時期
	単位数	単位数	授業科目	単位数				
				必修	選択			
外国語、体育以外の科目	18	外国語、体育以外の科目	6	<input type="radio"/> 日本国憲法 <input type="radio"/> 情報機器の操作 文学 音楽の世界 数学の世界 データの世界 キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアディベロップメントⅠ キャリアディベロップメントⅡ キャリアスキルアップⅠ キャリアスキルアップⅡ	2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1	 2 2 2 2 1 1 2 2 3 3	1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 3 3	後期 前期 前期 前期 前期 後期 不開講 不開講 不開講 不開講 前期 後期
外国語	8	外国語	2	<input type="radio"/> 英会話Ⅰ <input type="radio"/> 英会話Ⅱ 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ 中国語会話 スペイン語基礎Ⅰ スペイン語基礎Ⅱ スペイン語会話	1 1 1 1 1 1 1 1	 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	前期 後期 前期 後期 後期 前期 後期 後期
体育	2	体育	2	<input type="radio"/> 健康スポーツ 理論) <input type="radio"/> 健康スポーツ 実技)	1 1	 1 1	1 1	前期 後期
	28		10		8	20		

* 授業科目の○印は必修科目

告示別表第 1 による教科目)

■ 人間教育学部人間教育学科 2018年度入学生

本学における必要最低単位数	告示による教科目		左記に対応する開設授業科目				配当年次	開講時期
			単位数	授業科目	単位数			
					必修	選択		
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	13	○ 保育原理	2		2	前期	
	教育原理		○ 教育原理 A (初等)	2		1	後期	
	児童家庭福祉		○ 児童家庭福祉	2		2	前期	
	社会福祉		○ 社会福祉	2		1	前期	
	相談援助		○ 相談援助	1		3	後期	
	社会的養護		○ 社会的養護	2		2	前期	
	保育者論		○ 保育者論	2		1	後期	
	保育の心理学 I		○ 保育の心理学 I	2		2	後期	
保育の心理学 II	○ 保育の心理学 II	1		3	前期			
保育の対象の理解に関する科目	子どもの保健 I	12	○ 子どもの保健 I A	2		3	前期	
	子どもの保健 I B		○ 子どもの保健 I B	2		3	後期	
	子どもの保健 II		○ 子どもの保健 II	1		4	前期	
	子どもの食と栄養		○ 子どもの食と栄養	2		2	後期	
	家庭支援論		○ 家庭支援論	2		3	後期	
	保育課程総論		2	○ 保育課程総論	2		1	後期
保育内容総論	1	○ 保育内容総論	2		1	前期		
保育の内容・方法に関する科目	保育内容演習	5	○ 子どもと健康	2		2	後期	
	○ 子どもと人間関係		2		1	後期		
	○ 子どもと環境		2		2	前期		
	○ 子どもと言葉		2		2	前期		
	乳児保育	2	○ 乳児保育	2		2	前期	
	障害児保育	2	○ 障害児保育	2		3	前期	
	社会的養護内容	1	○ 社会的養護内容	1		2	後期	
	保育相談支援	1	○ 保育相談支援	2		3	前期	
保育の表現技術	保育の表現技術	4	○ 子どもと表現 (体育)	2		2	後期	
			○ 子どもと表現 (図工)	2		3	前期	
			○ 子どもと表現 (音楽)	2		2	後期	
保育実習	保育実習 I	4	○ 保育所実習 I	2/4		3	前期	
			○ 施設実習 I	2/4		3	後期	
	保育実習指導 I	2	○ 保育所実習指導 I	1		3	前期	
			○ 施設実習指導 I	1		3	後期	
総合演習	保育実践演習	2	○ 保育実践演習	2		4	—	
		51		58				

* 授業科目の○印は必修科目

告示別表第2による教科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 2018年度入学生

本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目及び区分等		左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期	
	単位数	科目	単位数	授業科目	単位数			
					必修			選択
保育の本質・目的に関する科目	16	保育の本質・目的に関する科目	15	○ 教職入門A (初等)	2		1	前期
				○ 教育行政学A (初等)	2		2	前期
				○ 人間教育学	2		1	前期
				○ 教育心理学A (初等)	2	2	2	前期
保育の対象の理解に関する科目		保育の対象の理解に関する科目		発達心理学A (初等)			1	不開講
保育の内容・方法に関する科目		保育の内容・方法に関する科目		○ 幼児理解	2		1	前期
保育の表現技術		保育の表現技術		○ 教育方法・技術論A (初等)	2		3	後期
				○ 音楽科指導法	2		2	後期
				器楽・歌唱の指導法		2	3	後期
				○ 図工科指導法	2		2	後期
				体育実技の指導法		2	3	後期
				器楽演習Ⅰ (鍵盤楽器)		2	1	前期
保育実習	3	保育実習Ⅱ	3	○ 保育所実習Ⅱ	2		3	後期
		保育実習指導Ⅱ		○ 保育所実習指導Ⅱ	1		3	後期
		保育実習Ⅲ		施設実習Ⅱ		2	4	—
		保育実習指導Ⅲ		施設実習指導Ⅱ		1	4	—
	19		18		19	11		

* 授業科目の○印は必修科目

保育士資格取得科目ではないが、学校独自の科目として開設されている教科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 2018年度入学生

本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目及び区分等		左記に対応する開設授業科目			配当年次	開講時期
	単位数	科目	授業科目	単位数			
				必修	選択		
保育士資格取得科目ではないが、学校独自の科目として開設されている科目		保育士資格取得科目ではないが、学校独自の科目として開設されている科目	衣食住の理解		2	1	前期
			行動の科学		2	1	後期
			食の心理		2	2	後期
			ことばとコミュニケーション		2	1	後期
			生活科指導法		2	2	後期
			家庭科指導法		2	2	前期
			体育科指導法		2	3	前期
				14			

【人間教育学科カリキュラム表 H28 年度～H29 年度】

2016～2017年度入学生 人間教育学部 人間教育学科 授業科目表

I. 共通教育科目

科目区分	授業科目の名称	配当年次												履修区分 卒業要件	単位数				
		1年			2年			3年			4年				必修	選択			
		前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年						
共通教育科目	英語 I	●														必	1		
	英語 II		●													修	1		
	英会話 I	●														10	1		
	英会話 II		●													単	1		
	中国語基礎 I	○			○				○				○			位	1	1	
	中国語基礎 II		○			○				○				○		+	1	1	
	中国語会話		○			○				○						選	1	1	
	日本語 I	○			○				○				○			択	1	1	
	日本語 II		○			○				○				○		16	1	1	
	日本語表現 I	○			○				○				○			単	1	1	
	日本語表現 II		○			○				○				○		位	1	1	
	文学	○			○				○				○			+	2	2	
	哲学	○			○				○				○			選	2	2	
	倫理学		○			○				○				○		択	2	2	
	心理学		○			○				○				○		16	2	2	
	行動科学の基礎		○			○				○				○		単	2	2	
	文化人類学	○			○				○				○			位	2	2	
	感性・イメージ表現		○			○				○				○		上	2	2	
	音楽の世界	○			○				○				○			以	2	2	
	社会学	○			○				○				○			上	2	2	
	社会科学の基礎	○			○				○				○			1	2	2	
	日本国憲法		●			●			●				●			2	2	2	
	外国史	○			○				○				○			位	2	2	
	地理学	○			○				○				○			以	2	2	
	数学の世界	○			○				○				○			上	2	2	
	物理と地学の基礎		○			○				○				○		2	2	2	
	環境化学の基礎	○			○				○				○			2	2	2	
	実験と科学	○			○				○				○			2	2	2	
	健康スポーツ(理論)	●			●				●				●			1	1	1	
	健康スポーツ(実技)		●			●			●				●			1	1	1	
	スポーツ実技 I	○			○				○				○				1	1	
	スポーツ実技 II		○			○				○				○			1	1	
	共生 教養 科目	共生と日本社会	○			○			○				○				2	2	2
		人権論		○			○			○				○			2	2	2
		ボランティア活動		○			○			○				○			2	2	2
		生活と環境		○			○			○				○			2	2	2
	奈良・ 国際 科目	奈良学		○			○			○				○			2	2	2
		文化コミュニケーション	○			○			○				○				2	2	2
		文化芸術交流論	○			○			○				○				1	1	1
		文化芸術交流演習		○			○			○				○			2	2	2
	情報 教養 科目	情報機器の操作	●			●			●				●			2	2	2	2
		情報倫理とセキュリティ		○			○			○				○			2	2	2
		シミュレーションの世界		○			○			○				○			2	2	2
		データの世界		○			○			○				○			2	2	2
		CGの基礎と演習	○			○				○				○			2	2	2
キャ リア 形成 科目	キャリアデザイン I	○														1	1	1	
	キャリアデザイン II		○													1	1	1	
	キャリアディベロップメント I				○											1	1	1	
	キャリアディベロップメント II					○										1	1	1	
	キャリアスキルアップ I								○							1	1	1	
	キャリアスキルアップ II									○						1	1	1	
	インターンシップ										○					2	2	2	

※「中国語基礎 II」は「中国語基礎 I」を修得した者のみが履修できる。

※「文化芸術交流演習」は「文化芸術交流論」を修得した者のみが履修できる。

Ⅱ. 専門教育科目

科目区分	授業科目の名称	配当年次												履修区分 卒業要件	単位数							
		1年			2年			3年			4年				必修	選択						
		前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年									
専門科目	基礎科目	教育学の基礎に関する理解	教育心理学A(初等)				●												2			
			教育心理学B(中等)				○														2	
			発達心理学A(初等)	○																	2	
			発達心理学B(中等)	○																	2	
			保育の心理学Ⅰ									○									2	
			保育の心理学Ⅱ									○									1	
			教育行政学A(初等)					●													2	
			教育行政学B(中等)						○												2	
			教職入門A(初等)	●																	2	
			教職入門B(中等)	○																	2	
			保育者論						○												2	
			教育原理A(初等)		●																2	
			教育原理B(中等)		○																2	
			保育原理	○																	2	
			学力と評価					○													2	
			言葉の理解						●												2	
			社会の理解		●																2	
			数の理解		●																2	
			自然の理解					●													2	
			生活の理解		●																2	
			音楽の理解	●																	2	
			美術の理解	●																	2	
			衣食住の理解					○													2	
			運動・健康の理解						●												2	
			書写演習(小)						○												2	
			器楽演習Ⅰ(鍵盤楽器)	○																	2	
			器楽演習Ⅱ(鍵盤楽器)						○												2	
			器楽演習Ⅲ(パーカッション)	○																	2	
			器楽演習Ⅳ(パーカッション)		○																2	
			行動の科学						○												2	
	食の心理						○												2			
	国語学入門					○													2			
	国語学Ⅰ						○												2			
	国文学入門					○													2			
	国文学Ⅰ						○												2			
	漢文学入門					○													2			
	漢文学Ⅰ						○												2			
	書写・書道入門		○																2			
	書写・書道Ⅰ					○													2			
	人間教育学の基礎に関する理解	人間教育学Ⅰ(入門)	●																2			
		人間教育学Ⅱ(応用)					●												2			
		ことばとコミュニケーション		○															2			
		教育と日本の伝統文化入門		●															2			
		教育と日本の伝統文化演習					○												1			
		異文化コミュニケーション					○												2			
		英米文学						○											2			
		英語とテレビに見る異文化						○											2			
		コミュニティと音楽文化						○											2			

幼稚園教諭一種

(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 2016～2017年度入学生

学部・学科等の教育課程 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)							
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	単位数	科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目		配当年次	開講時期
				授業科目	単位数 必修 選択		
施行規則第66条の6に定める科目	2	日本国憲法	2	○ 日本国憲法	2	1	後期
	2	体育	2	○ 健康スポーツ (理論) ○ 健康スポーツ (実技)	1 1	1 1	前期 後期
	2	外国語コミュニケーション	2	○ 英会話 I ○ 英会話 II	1 1	1 1	前期 後期
	2	情報機器の操作	2	○ 情報機器の操作	2	1	前期
	8		8		8		

* 授業科目の○印は必修科目

■ 人間教育学部 人間教育学科 2016～2017年度入学生

学部・学科等の教育課程 (教科に関する科目)							
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	単位数	科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目		配当年次	開講時期
				授業科目	単位数 必修 選択		
教科に関する科目	12	国語 算数 生活 音楽 図画工作 体育	6	○ 言葉の理解	2	2	後期
				○ 数の理解	2	1	後期
				○ 生活の理解	2	1	後期
				○ 音楽の理解	2	1	前期
				○ 美術の理解	2	1	前期
				○ 運動・健康の理解	2	2	後期
	12		6		12		

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教科に関する科目」の単位修得において、6単位を超えた単位数は、「教科又は教職に関する科目」に含めることができる

(教育の基礎的理解に関する科目等)

■ 人間教育学部 人間教育学科 2016～2017年度入学生

学部・学科等の教育課程 (教職に関する科目)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	単位数	科目	各科目に含める必要事項	単位数	左記に対応する開設授業科目		配当年次	開講時期
					授業科目	単位数 必修 選択		
教職に関する科目	2	教職の意義等に関する科目	・ 教職の意義及び教員の役割 ・ 教員の職務内容 (研修、勤務及び身分保障等を含む) ・ 進路選択に資する各種の機会の提供等	2	○ 教職入門A (初等)	2	1	前期
	6	教育の基礎理論に関する科目	・ 教育の理念並びに教育に関する歴史及び理想 ・ 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 (障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む) ・ 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	6	○ 教育原理A (初等)	2	1	後期
					○ 教育心理学A (初等)	2	2	前期
					発達心理学A (初等)		2	1
	18	教育課程及び指導法に関する科目	・ 教育課程の意義及び編成の方法 ・ 保育内容の指導法 ・ 教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む)	18	○ 教育行政学A (初等)	2	2	前期
					○ 保育課程総論	2	2	後期
					○ 子どもと健康	2	2	後期
					○ 子どもと人間関係	2	2	後期
					○ 子どもと環境	2	2	前期
					○ 子どもと言葉	2	2	前期
4	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・ 幼児の理論及び方法 ・ 教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)の理論及び方法	2	○ 子どもと表現 (体育)	2	2	前期	
				○ 子どもと表現 (図工)	2	2	前期	
5	教育実習		5	○ 子どもと表現 (音楽)	2	2	後期	
				○ 教育方法・技術論A (初等)	2	3	後期	
2	教職実践演習		2	○ 幼児理解	2	2	前期	
37			35	○ 保育相談支援	2	2	前期	
				○ 教育実習事前事後指導 (幼)	1	4	通年	
				○ 教育実習 I (幼)	2	4	前期	
				○ 教育実習 II (幼)	2	4	前期	
				○ 教職実践演習 (幼・小)	2	4	後期	

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教職に関する科目」の単位修得において、35単位を超えた単位数は「教科又は教職に関する科目」に含めることができる

■ 人間教育学部 人間教育学科 2016～2017年度入学生

学部・学科等の教育課程 (教科又は教職に関する科目)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	科目区分	単位数	科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目		配当年次	開講時期
					授業科目	単位数 必修 選択		
教科又は教職に関する科目	10	教科又は教職に関する科目	10	○ 人間教育学 I (入門)	2	1	前期	
				○ 人間教育学 II (応用)	2	2	後期	
				現代教育課題B (特別支援)		2	3	前期
				現代教育課題C (学校と安全)		2	3	後期

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教科又は教職に関する科目」の必修及び選択科目又は最低修得単位数を超えて履修した「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」について、併せて10単位以上を修得

小学校教諭一種

(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 2016～2017年度入学生

学部・学科等の教育課程 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)							
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	単位数	科目	単位数	左記に対応する開設授業科目		配当年次	開講時期
				授業科目	単位数 必修 選択		
施行規則第66条の6に定める科目	2	日本国憲法	2	○ 日本国憲法	2	1	後期
	2	体育	2	○ 健康スポーツ (理論) ○ 健康スポーツ (実技)	1 1	1 1	前期 後期
	2	外国語コミュニケーション	2	○ 英会話 I ○ 英会話 II	1 1	1 1	前期 後期
	2	情報機器の操作	2	○ 情報機器の操作	2	1	前期
	8		8		8		

* 授業科目の○印は必修科目

(教科に関する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 2016～2017年度入学生

学部・学科等の教育課程 (教科に関する科目)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	単位数	科目	単位数	左記に対応する開設授業科目		配当年次	開講時期	
				授業科目	単位数 必修 選択			
教科に関する科目	16	国語 (書写を含む) 社会 算数 理科 生活 音楽 図画工作 家庭 体育	8	○ 言葉の理解	2	2	後期	
				書写演習 (小)		2	2	後期
				○ 社会の理解	2	1	後期	
				○ 数の理解	2	1	後期	
				○ 自然の理解	2	2	前期	
				○ 生活の理解	2	1	後期	
				○ 音楽の理解	2	1	前期	
				器楽演習 I (鍵盤楽器)		2	1	前期
				器楽演習 II (鍵盤楽器)		2	2	後期
				○ 美術の理解	2	1	前期	
衣食住の理解		2	2	前期				
○ 運動・健康の理解	2	2	後期					
	16		8		16	8		

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教科に関する科目」の単位修得において、8単位を超えた単位数は、「教科又は教職に関する科目」に含めることができる

(教職に関する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 2016～2017年度入学生

学部・学科等の教育課程 (教職に関する科目)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	単位数	科目	各科目に含める必要事項	単位数	左記に対応する開設授業科目		配当年次	開講時期
					授業科目	単位数 必修 選択		
教職に関する科目	2	教職の意義等に関する科目	・ 教職の意義及び教員の役割 ・ 教員の職務内容 (研修、服務及び身分保障等を含む) ・ 進路選択に資する各種の機会の提供等	2	○ 教職入門 A (初等)	2	1	前期
	6	教育の基礎理論に関する科目	・ 教育の理念並びに教育に関する歴史及び理想 ・ 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 (障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む) ・ 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	6	○ 教育原理 A (初等)	2	1	後期
					○ 教育心理学 A (初等)	2	2	前期
					発達心理学 A (初等)		2	1
	26	教育課程及び指導法に関する科目	・ 教育課程の意義及び編成の方法 ・ 各教科の指導法 ・ 道徳の指導法 ・ 特別活動の指導法 ・ 教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む)	22	○ 教育課程論 A (初等)	2	3	前期
					○ 国語科指導法	2	3	前期
					○ 社会科指導法	2	2	前期
					○ 算数科指導法	2	2	前期
					○ 理科指導法	2	3	前期
					○ 生活科指導法	2	2	後期
○ 音楽科指導法					2	2	後期	
○ 図工科指導法					2	2	後期	
○ 家庭科指導法					2	3	前期	
○ 体育科指導法					2	3	前期	
○ 道徳教育の指導法 A (初等)	2	3	後期					
○ 特別活動の指導法 A (初等)	2	2	前期					
4	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・ 生徒指導の理論及び方法 ・ 進路指導の理論及び方法 ・ 教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む) の理論及び方法	4	○ 生徒指導・進路指導論 A (初等)	2	2	後期	
				○ 教育相談の理論と方法 A (初等)	2	3	後期	
5	教育実習		5	○ 教育実習事前事後指導 (小)	1	3	通年	
				○ 教育実習 I (小)	2	3	前期	
2	教職実践演習		2	○ 教職実践演習 (幼・小)	2	4	後期	
	45		41		45	2		

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教職に関する科目」の単位修得において、41単位を超えた単位数は「教科又は教職に関する科目」に含めることができる

(教科又は教職に関する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 2016～2017年度入学生

学部・学科等の教育課程 (教科又は教職に関する科目)							
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	単位数	免許法施行規則に定める科目区分等	単位数	左記に対応する開設授業科目		配当年次	開講時期
				授業科目	単位数		
				必修	選択		
教科又は教職に関する科目	10	教科又は教職に関する科目	10	○ 人間教育学Ⅰ (入門)	2	1	前期
				○ 人間教育学Ⅱ (応用)	2	2	前期
				現代教育課題B (特別支援)		2	前期
				現代教育課題C (学校と安全)		2	後期
				総合的な学習の時間		2	後期
				小学校外国語活動の指導法	2	2	後期

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教科又は教職に関する科目」の必修科目及び選択科目又は最低修得単位数を超えて履修した「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」について、併せて10単位以上修得

(a) 中学校教諭一種 [国語]

(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 2016～2017年度入学生

学部・学科等の教育課程 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)							
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	単位数	免許法施行規則に定める科目区分等	単位数	左記に対応する開設授業科目		配当年次	開講時期
				授業科目	単位数		
				必修	選択		
施行規則第66条の6に定める科目	2	日本国憲法	2	○ 日本国憲法	2	1	後期
	2	体育	2	○ 健康スポーツ (理論)	1	1	前期
				○ 健康スポーツ (実技)	1	1	後期
	2	外国語コミュニケーション	2	○ 英会話Ⅰ	1	1	前期
				○ 英会話Ⅱ	1	1	後期
	2	情報機器の操作	2	○ 情報機器の操作	2	1	前期
	8		8		8		

* 授業科目の○印は必修科目

(教科に関する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 2016～2017年度入学生

学部・学科等の教育課程 (教科に関する科目)								
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	単位数	免許法施行規則に定める科目区分等	単位数	左記に対応する開設授業科目		配当年次	開講時期	
				授業科目	単位数			
				必修	選択			
教科に関する科目	30	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	20	○ 国語学入門	2	2	前期	
				○ 国語学Ⅰ	2	2	後期	
				○ 国語学Ⅱ	2	3	前期	
				国語学特論		2	4	前期
				○ 語学・文学総合演習Ⅰ (国語学)	2	3	後期	
				○ ことばとコミュニケーション	2	1	後期	
				○ 国文学入門	2	2	前期	
				○ 国文学Ⅰ	2	2	後期	
				○ 国文学Ⅱ	2	3	前期	
				国文学特論		2	4	前期
		○ 語学・文学総合演習Ⅱ (国文学)	2	3	前期			
		○ 文学	2	1	前期			
		○ 漢文学入門	2	2	前期			
		○ 漢文学Ⅰ	2	2	後期			
		○ 漢文学Ⅱ	2	3	前期			
		漢文学特論		2	4	前期		
		○ 語学・文学総合演習Ⅲ (漢文学)	2	3	後期			
		○ 書写・書道入門	2	1	後期			
		書写・書道Ⅰ		2	2	前期		
		書写・書道Ⅱ		2	3	前期		
	30		20	30	10			

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教科に関する科目」の単位修得において、20単位を超えた単位数は、「教科又は教職に関する科目」に含めることができる

(教職に関する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 2016～2017年度入学生

学部・学科等の教育課程 (教職に関する科目)										
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目区分等				左記に対応する開設授業科目				配当年次	開講時期
	単位数	科目	各科目に含める必要事項	単位数	授業科目	単位数		必修		
教職に関する科目	2	教職の意義等に関する科目	・ 教職の意義及び教員の役割 ・ 教員の職務内容 (研修、服務及び身分保障等を含む) ・ 進路選択に資する各種の機会の提供等	2	○ 教職入門B (中等)	2			1	前期
	6	教育の基礎理論に関する科目	・ 教育の理念並びに教育に関する歴史及び理想	6	○ 教育原理B (中等)	2		1	後期	
			・ 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 (障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む)		○ 教育心理学B (中等)	2		2	前期	
			・ 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		発達心理学B (中等)		2	1	不開講	
	12	教育課程及び指導法に関する科目	・ 教育課程の意義及び編成の方法	12	○ 教育行政学B (中等)	2		2	後期	
			・ 各教科の指導法		○ 教育課程論B (中等)	2		3	前期	
					○ 国語科教育法Ⅰ	2		2	後期	
					○ 国語科教育法Ⅱ	2		3	前期	
			・ 道徳の指導法		○ 国語科教育法Ⅲ		2	3	後期	
					○ 国語科教育法Ⅳ		2	3	前期	
○ 道徳教育の指導法B (中等)					2		3	前期		
4	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・ 生徒指導の理論及び方法 ・ 進路指導の理論及び方法	4	○ 教育行政学B (中等)	2		2	前期		
		・ 教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)の理論及び方法		○ 教育相談の理論と方法B (中等)	2		3	後期		
5	教育実習		5	○ 教育実習事前事後指導 (中・高)	1		4	適年		
2	教職実践演習		2	○ 教育実習Ⅰ (中・高)	2		4	前期		
				○ 教育実習Ⅱ (中)	2		4	前期		
				○ 教職実践演習 (中・高)	2		4	後期		
31			31		31	6				

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教職に関する科目」の単位修得において、31単位を超えた単位数は、「教科又は教職に関する科目」に含めることができる

(教科又は教職に関する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 2016～2017年度入学生

学部・学科等の教育課程 (教科又は教職に関する科目)										
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目区分等				左記に対応する開設授業科目				配当年次	開講時期
	単位数	科目	各科目に含める必要事項	単位数	授業科目	単位数		必修		
教科又は教職に関する科目	10	教科又は教職に関する科目		8	○ 人間教育学Ⅰ (入門)	2			1	前期
					○ 人間教育学Ⅱ (応用)	2		2	前期	
					現代教育課題B (特別支援)		2	3	前期	
					現代教育課題C (学校と安全)		2	3	後期	
					総合的な学習の時間		2	2	後期	

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教科又は教職に関する科目」の必修科目及び選択科目又は最低修得単位数を超えて履修した「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」について、併せて8単位以上を修得

(本学が必要と定めている科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 2016～2017年度入学生

科目区分	中一種免 (国語) を取得するために本学が必要と定めている科目				左記に対応する開設授業科目				配当年次	開講時期
	単位数	科目	各科目に含める必要事項	単位数	授業科目	単位数		必修		
共通教育科目	大学独自の設定科目		9	中国語基礎Ⅰ → 左記3科目から		1	1		前期	
				中国語基礎Ⅱ ↗ 1科目選択必修		1	1	後期		
				中国語会話 ↘		1	1	後期		
関連科目			9	奈良学	2		1	後期		
				読書と豊かな人間性	2		4	後期		
				言語学概論	2		4	前期		
				社会言語学	2		4	前期		

(a) 高等学校教諭一種 [国語]

(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 2016～2017年度入学生

学部・学科等の教育課程 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)									
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目				配当年次	開講時期
	単位数	科目	単位数	授業科目	単位数		必修		
施行規則第66条の6に定める科目	2	日本国憲法	2	○ 日本国憲法	2			1	
	2	体育	2	○ 健康スポーツ (理論)	1		1		前期
	2	外国語コミュニケーション	2	○ 健康スポーツ (実技)	1		1		後期
	2	情報機器の操作	2	○ 英会話 I	1		1		前期
	2	情報機器の操作	2	○ 英会話 II	1		1		後期
	2	情報機器の操作	2	○ 情報機器の操作	2		1		前期
	8		8		8				

* 授業科目の○印は必修科目

(教科に関する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 2016～2017年度入学生

学部・学科等の教育課程 (教科に関する科目)									
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目				配当年次	開講時期
	単位数	科目	単位数	授業科目	単位数		必修		
教科に関する科目	28	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。) 国文学 (国文学史を含む。) 漢文学	20	○ 国語学入門	2			2	
				○ 国語学 I	2		2		後期
				○ 国語学 II	2		3		前期
				国語学特論		2	4		前期
				○ 語学・文学総合演習 I (国語学)	2		3		後期
				○ ことばとコミュニケーション	2		1		後期
				○ 国文学入門	2		2		前期
				○ 国文学 I	2		2		後期
				○ 国文学 II	2		3		前期
				国文学特論		2	4		前期
				○ 語学・文学総合演習 II (国文学)	2		3		前期
				○ 文学	2		1		前期
				○ 漢文学入門	2		2		前期
				○ 漢文学 I	2		2		後期
				○ 漢文学 II	2		3		前期
				漢文学特論		2	4		前期
○ 語学・文学総合演習 III (漢文学)	2		3		後期				
	28		20		28	6			

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教科に関する科目」の単位修得において、20単位を超えた単位数は、「教科又は教職に関する科目」に含めることができる

(教職に関する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 2016～2017年度入学生

学部・学科等の教育課程 (教職に関する科目)									
本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目				配当年次	開講時期
	単位数	科目	単位数	授業科目	単位数		必修		
教職に関する科目	2	教職の意義等に関する科目	2	○ 教職入門B (中等)	2			1	
	6	教育の基礎理論に関する科目	・ 教職の意義及び教員の役割 ・ 教員の職務内容 (研修、服務及び身分保障等を含む) ・ 進路選択に資する各種の機会の提供等	○ 教育原理B (中等)	2		1		後期
				○ 教育心理学B (中等)	2		2		前期
				発達心理学B (中等)		2	1		不開講
	10	教育課程及び指導法に関する科目	・ 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 ・ 教育課程の意義及び編成の方法 ・ 各教科の指導法 ・ 特別活動の指導法 ・ 教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む)	○ 教育行政学B (中等)	2		2		後期
				○ 教育課程論B (中等)	2		3		前期
				○ 国語科教育法 I	2		2		後期
				○ 国語科教育法 II	2		3		前期
				国語科教育法 III		2	3		後期
				国語科教育法 IV		2	3		前期
○ 特別活動の指導法B (中等)	2		2		前期				
4	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・ 生徒指導の理論及び方法 ・ 進路指導の理論及び方法 ・ 教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)の理論及び方法	○ 教育方法・技術論B (中等)	2		3		後期	
			○ 生徒指導・進路指導論B (中等)	2		2		前期	
3	教育実習		○ 教育相談の理論と方法B (中等)	2		3		後期	
			○ 教育実習事前事後指導 (中・高)	1		4		通年	
2	教職実践演習	2	○ 教育実習 I (中・高)	2		4		前期	
			○ 教職実践演習 (中・高)	2		4		後期	
	27		23		27	6			

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教職に関する科目」の単位修得において、23単位を超えた単位数は、「教科又は教職に関する科目」に含めることができる

(教科又は教職に関する科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 2016～2017年度入学生

学部・学科等の教育課程(教科又は教職に関する科目)							
本学における免許状取得に必要な最低単位数	単位数	免許法施行規則に定める科目区分等	単位数	左記に対応する開設授業科目		配当年次	開講時期
				授業科目	単位数 必修 選択		
教科又は教職に関する科目	16	教科又は教職に関する科目	16	○ 人間教育学Ⅰ(入門) ○ 人間教育学Ⅱ(応用) 現代教育課題B(特別支援) 現代教育課題C(学校と安全) 総合的な学習の時間 道徳教育の指導法B(中等)	2 2 2 2 2	1 2 3 3 3	前期 前期 前期 後期 後期 前期

* 授業科目の○印は必修科目

* 「教科又は教職に関する科目」の必修科目及び選択科目又は最低修得単位数を超えて履修した「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」について、併せて16単位以上を修得

(本学が必要と定めている科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 2016～2017年度入学生

科目区分	高一種免(国語)を取得するために本学が必要と定めている科目	単位数	左記に対応する開設授業科目		配当年次	開講時期
			授業科目	単位数 必修 選択		
共通教育科目	大学独自の設定科目	9	中国語基礎Ⅰ → 左記3科目から	1	1	前期
			中国語基礎Ⅱ ↗ 1科目選択必修	1	1	後期
			中国語会話 ↘	1	1	後期
			奈良学	2	1	後期
			読書と豊かな人間性	2	4	後期
			言語学概論	2	4	前期
関連科目			社会言語学	2	4	前期

人間教育学部 人間教育学科 保育士養成課程

(教養科目)

■ 人間教育学部人間教育学科 2016～2017年度入学生

本学における必要最低単位数	単位数	告示による教科目	単位数	左記に対応する開設授業科目		配当年次	開講時期
				授業科目	単位数 必修 選択		
外国語、体育以外の科目	10	外国語、体育以外の科目	6	○ 日本国憲法 ○ 情報機器の操作 キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアディベロップメントⅠ キャリアディベロップメントⅡ キャリアスキルアップⅠ キャリアスキルアップⅡ	2 2 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 2 2 3 3	後期 前期 不開講 不開講 不開講 不開講 前期 後期
外国語	2	外国語	2	○ 英会話Ⅰ ○ 英会話Ⅱ	1 1	1 1	前期 後期
体育	2	体育	2	○ 健康スポーツ(理論) ○ 健康スポーツ(実技)	1 1	1 1	前期 後期
	14		10		8	6	

* 授業科目の○印は必修科目

告示別表第 1 による科目)

■ 人間教育学部人間教育学科 2016～2017年度入学生

本学における必要最低単位数	告示による教科目		左記に対応する開設授業科目				配当年次	開講時期
			単位数	授業科目	単位数			
					必修	選択		
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	13	○ 保育原理	2		1	前期	
	教育原理		○ 教育原理 A (初等)	2		1	後期	
	児童家庭福祉		○ 児童家庭福祉	2		3	前期	
	社会福祉		○ 社会福祉	2		2	前期	
	相談援助		○ 相談援助	1		3	後期	
	社会的養護		○ 社会的養護	2		3	前期	
	保育者論		○ 保育者論	2		2	後期	
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学 I	12	○ 保育の心理学 I	2		3	後期	
	保育の心理学 II		○ 保育の心理学 II	1		3	前期	
	子どもの保健 I		○ 子どもの保健 I	4		3	通年	
	子どもの保健 II		○ 子どもの保健 II	1		4	前期	
	子どもの食と栄養		○ 子どもの食と栄養	2		2	後期	
	家庭支援論		○ 家庭支援論	2		3	後期	
保育の内容・方法に関する科目	保育課程総論	2	○ 保育課程総論	2		2	後期	
	保育内容総論	1	○ 保育内容総論	1		2	前期	
	保育内容演習	5	○ 保育内容 I (健康・人間関係)	2		3	前期	
			○ 保育内容 II (環境)	2		3	前期	
			○ 保育内容 III (言葉・表現)	2		3	後期	
	乳児保育	2	○ 乳児保育	2		1	前期	
	障害児保育	2	○ 障害児保育	2		3	前期	
	社会的養護内容	1	○ 社会的養護内容	1		4	前期	
保育相談支援	1	○ 保育相談	1		3	後期		
保育の表現技術	保育の表現技術	4	○ 表現演習	2		3	前期	
			○ 器楽演習 I (鍵盤楽器)	2		1	前期	
保育実習	保育実習 I	4	○ 保育所実習 I	2/4		3	不開講	
	保育実習指導 I	2	○ 施設実習 I	2/4		3	不開講	
総合演習	保育実践演習	2	○ 保育実践演習	2		4	後期	
		51		52				

* 授業科目の○印は必修科目

告示別表第2による教科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 2016~2017年度入学生

本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目及び区分等		左記に対応する開設授業科目				配当年次	開講時期
	単位数	科目	単位数	授業科目	単位数			
					必修	選択		
保育の本質・目的に関する科目	18	保育の本質・目的に関する科目	15	○ 教職入門A (初等)	2		1	前期
				○ 教育行政学A (初等)	2		2	前期
				○ 人間教育学I (入門)	2		1	前期
				○ 人間教育学II (応用)	2		2	前期
保育の対象の理解に関する科目	18	保育の対象の理解に関する科目	15	○ 教育心理学A (初等)	2		2	前期
				○ 発達心理学A (初等)	2		1	不開講
				幼児理解 保育相談支援		2	2	前期 前期
保育の内容・方法に関する科目	18	保育の内容・方法に関する科目	15	子どもと健康		2	2	後期
				子どもと人間関係		2	2	後期
				子どもと環境		2	2	前期
				子どもと言葉		2	2	前期
				子どもと表現 (体育)		2	2	前期
				子どもと表現 (図工)		2	2	前期
				子どもと表現 (音楽)		2	2	後期
				○ 教育方法・技術論A (初等)	2		3	後期
保育の表現技術	18	保育の表現技術	15	○ 音楽科指導法 器楽・歌唱の指導法	2	2	2	後期 不開講
				○ 図工科指導法 体育実技の指導法	2	2	2	後期 後期
						2	3	
保育実習	3	保育実習Ⅱ	3	○ 保育所実習Ⅱ	2		3	後期
		保育実習指導Ⅱ		○ 保育実習指導Ⅱ	1		3	後期
		保育実習Ⅲ		施設実習Ⅱ		2	3	後期
		保育実習指導Ⅲ		保育実習指導Ⅲ		1	3	後期
	21		18		21	25		

* 授業科目の○印は必修科目

保育士資格取得科目ではないが、学校独自の科目として開設されている教科目)

■ 人間教育学部 人間教育学科 2016~2017年度入学生

本学における免許状取得に必要な必要最低単位数	免許法施行規則に定める科目及び区分等		左記に対応する開設授業科目				配当年次	開講時期
	単位数	科目	授業科目	単位数				
				必修	選択			
保育士資格取得科目ではないが、学校独自の科目として開設されている科目	6	保育士資格取得科目ではないが、学校独自の科目として開設されている科目	衣食住の理解		2	2	前期	
			行動の科学		2	2	不開講	
			食の心理		2	2	後期	
			ことばとコミュニケーション		2	1	後期	
			英語とテレビに見る異文化		2	2	不開講	
			○ 生活科指導法	2		2	後期	
			○ 家庭科指導法	2		3	前期	
			○ 体育科指導法	2		3	前期	
	6			6	10			

* 授業科目の○印は必修科目

授業科目表

学域	学類	授業科目の名称	単位数		配当年次	配当年次								時間数	卒業に必要な単位数
			必修	選択		1年		2年		3年		4年			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎学域		英語Ⅰ	1		1前	●								30	25単位以上 (必修9単位を含む)
		英語Ⅱ	1		1後		●							30	
		英会話Ⅰ	1		1前	●								30	
		英会話Ⅱ	1		1後		●							30	
		中国語基礎Ⅰ		1	1・2・3・4前	○		○		○		○		30	
		中国語基礎Ⅱ		1	1・2・3・4後		○		○		○		○	30	
		中国語会話		1	1・2・3・4前	○		○		○		○		30	
		スペイン語基礎Ⅰ		1	1・2・3・4前	○		○		○		○		30	
		スペイン語基礎Ⅱ		1	1・2・3・4後		○		○		○		○	30	
		スペイン語会話		1	1・2・3・4前	○		○		○		○		30	
		文学		2	1・2・3・4後		○		○		○		○	30	
		哲学		2	1・2・3・4前	○		○		○		○		30	
		倫理学		2	1・2・3・4前	○		○		○		○		30	
		心理学		2	1・2・3・4前	○		○		○		○		30	
		行動の科学		2	1・2・3・4後		○		○		○		○	30	
		文化人類学		2	1・2・3・4後		○		○		○		○	30	
		音楽の世界		2	1・2・3・4後		○		○		○		○	30	
		社会学		2	1・2・3・4後		○		○		○		○	30	
		日本国憲法		2	1・2・3・4前	○		○		○		○		30	
		歴史学		2	1・2・3・4後		○		○		○		○	30	
		政治学		2	1・2・3・4後		○		○		○		○	30	
		数学の世界		2	1・2・3・4前	○		○		○		○		30	
		自然科学の基礎		2	1・2・3・4後		○		○		○		○	30	
		環境化学の基礎		2	1・2・3・4後		○		○		○		○	30	
		健康スポーツ(理論)	1		1前	●								15	
		健康スポーツ(実技)	1		1・2・3・4後		○		○		○		○	30	
	スポーツ実技Ⅰ	1		1・2・3・4前	○		○		○		○		30		
	スポーツ実技Ⅱ	1		1・2・3・4後		○		○		○		○	30		
社会学域		共生と社会		2	1・2・3・4後		○		○		○		○	30	
		人権論		2	1・2・3・4前	○		○		○		○		30	
		ボランティア活動		2	1・2・3・4前	○		○		○		○		30	
		生活と環境		2	1・2・3・4前	○		○		○		○		30	
外国語・国際学域		奈良学		2	1・2・3・4前	○		○		○		○		30	
		異文化コミュニケーション		2	1・2・3・4後		○		○		○		○	30	
		国際事情		2	1・2・3・4後		○		○		○		○	30	
情報学域		情報機器の操作	2		1前	●								30	
		情報論理とセキュリティ		2	1・2・3・4前	○		○		○		○		30	
		データの世界		2	1・2・3・4前	○		○		○		○		30	
		C/Gの基礎と応用		2	1・2・3・4後		○		○		○		○	30	
		情報と分析		2	1・2・3・4後		○		○		○		○	30	

看護学科(2018年度以降入学生)

学科	専攻	授業科目の名称	単位数		配当年次	配当年次								総単位数	卒業に必要な単位数
			必修	選択		1年		2年		3年		4年			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎科目	基礎	看護学概論	2		1前	●								30	107単位以上専門基礎科目必修 30単位+専門科目必修73単位+選択科目4単位以上
		看護倫理学	1		1前	●								15	
		看護コミュニケーション論	1		1前	●								30	
		基礎看護技術演習Ⅰ	2		1前	●								60	
		基礎看護技術演習Ⅱ	2		1後		●							60	
		看護理論	1		1後		●							15	
		看護過程演習	1		2前			●						30	
		ヘルスアセスメント	1		2前			●						30	
		保健改善論	1		1後			●						15	
		基礎看護学実習Ⅰ	1		1前	●								45	
		基礎看護学実習Ⅱ	2		2後				●					90	
		成人看護学概論	2		1後			●						30	
		成人看護学概論Ⅰ(身体・母子看護)	1		2前			●						30	
		成人看護学概論Ⅱ(慢性・高齢・終末期)	1		2後				●					30	
		成人看護学実習	2		3前					●				60	
		老年看護学概論	1		2前			●						15	
		老年看護学実習Ⅰ	1		2後				●					30	
老年看護学実習Ⅱ	1		3前					●				30			
小児看護学概論	2		2前			●						30			
小児看護学実習	1		2後				●					30			
専門科目	専門	小児看護学実習	1		3前					●			30	107単位以上専門基礎科目必修 30単位+専門科目必修73単位+選択科目4単位以上	
		母性看護学概論	2		2前		●						30		
		母性看護学実習Ⅰ	1		2後			●					30		
		母性看護学実習Ⅱ	1		3前				●				30		
		精神看護学概論	1		2前		●						15		
		精神看護学実習Ⅰ	1		2後			●					30		
		精神看護学実習Ⅱ	1		3前				●				30		
		成人看護学実習Ⅰ(身体・母子看護)	3		3後					●			135		
		成人看護学実習Ⅱ(慢性・高齢・終末期)	3		3後					●			135		
		老年看護学実習Ⅰ	1		3後					●			45		
		老年看護学実習Ⅱ	3		3後					●			135		
		小児看護学実習	2		3後					●			90		
		母性看護学実習	2		3後					●			90		
		精神看護学実習	2		3後					●			90		
		ターミナルケア論		1	4前							○			15
		感染看護		1	4前							○			15
		家族看護学		1	4前							○			15
バイコントロール論		1	4前							○		15			

看護学科(2018年度以降入学生)

学科	専攻	授業科目の名称	単位数		配当年次	配当年次								総単位数	卒業に必要な単位数	
			必修	選択		1年		2年		3年		4年				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
看護学科	看護学専攻	看護学概論	2		1前	●								30	107単位以上専門基礎科目必修30単位+専門科目必修73単位+選択科目4単位以上	
		看護倫理学	1		1前	●								15		
		看護コミュニケーション論	1		1前	●										30
		基礎看護技術演習Ⅰ	2		1前	●										60
		基礎看護技術演習Ⅱ	2		1後		●									60
		看護理論	1		1後		●									15
		看護過程演習	1		2前			●								30
		ヘルスアセスメント	1		2前			●								30
		保健医療倫理学	1		1後			●								15
		基礎看護学実習Ⅰ	1		1前	●										45
		基礎看護学実習Ⅱ	2		2後				●							90
		成人看護学概論	2		1後			●								30
		成人看護概論Ⅰ(身体期・青年期)	1		2前			●								30
		成人看護概論Ⅱ(老年期・高齢期・終末期)	1		2後				●							30
		成人看護学知識演習	2		3前					●						60
		老年看護学概論	1		2前			●								15
		老年看護学知識	1		2後				●							30
		老年看護学知識演習	1		3前					●						30
		小児看護学概論	2		2前			●								30
		小児看護学知識	1		2後				●							30
看護学科	看護学専攻	小児看護学知識演習	1		3前					●				30	107単位以上専門基礎科目必修30単位+専門科目必修73単位+選択科目4単位以上	
		母性看護学概論	2		2前			●						30		
		母性看護学知識	1		2後				●					30		
		母性看護学知識演習	1		3前					●				30		
		精神看護学概論	1		2前			●						15		
		精神看護学知識	1		2後				●					30		
		精神看護学知識演習	1		3前					●				30		
		成人看護学実習Ⅰ(身体期・青年期)	3		3後						●			135		
		成人看護学実習Ⅱ(老年期・高齢期・終末期)	3		3後						●			135		
		老年看護学実習Ⅰ	1		3後						●			45		
		老年看護学実習Ⅱ	3		3後						●			135		
		小児看護学実習	2		3後						●			90		
		母性看護学実習	2		3後						●			90		
		精神看護学実習	2		3後						●			90		
		ターミナルケア論	1		4前							○		15		
		感染看護	1		4前							○		15		
		変革看護学	1		4前							○		15		
		ペインコントロール論	1		4前							○		15		

学域	学群	専攻	専攻科目の名称	単位数		配当年次	配当年次								履修数	卒業に必要な単位数			
				必修	選択		1年		2年		3年		4年						
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
健康科学	保健学	保健学	在宅看護学概論	1		2前			●						15	107単位以上専門基礎科目必修30単位+専門科目必修73単位+選択科目4単位以上			
			在宅看護学応用論	2		2後				●							60		
			在宅看護学知識演習	1		3前					●						30		
			在宅看護学実習	2		3後						●					90		
			看護管理学	2		4前							●				30		
			チーム医療論	1		4前							●				15		
			チーム医療論演習		1	4後									○		30		
			統合看護論	2		4後									●		30		
			統合看護学実習	2		4前							●				90		
			国際看護論	1		4前							●				15		
			国際看護学演習		1	4後									○		30		
			地域包括ケア論		1	4後									○		15		
			災害看護学		1	4後									○		15		
			看護教育学		1	4後									○		15		
			カウンセリング論		1	4後									○		15		
			卒業研究Ⅰ	1		4前								●			30		
			卒業研究Ⅱ	1		4前後								●	●		30		
			健康科学	保健学	保健学	公衆衛生看護学概論	2		2前			●							30
						公衆衛生看護学方法Ⅰ		2	3前					○					30
						公衆衛生看護学方法Ⅱ		2	3前						○				30
公衆衛生看護学Ⅰ(地域活動)	2					2後				●					30				
公衆衛生看護学Ⅱ(学校保健)	2					3前						○			30				
公衆衛生看護学Ⅲ(産業保健)	2					3前						●			30				
公衆衛生看護学実習Ⅰ(地域活動)	3					4前後							○	○	135				
公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健)	1					4前後							○	○	45				
公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)	1					4前後							○	○	45				
公衆衛生看護学知識演習	2					4前							○		60				
健康科学	保健学	保健学	看護学概論	2		3前					○			30					
			ウィメンズヘルス学	2		3前					○			30					
			看護学概論	1		3前						○		15					
			看護学概論・技術学Ⅰ	2		3前						○		30					
			看護学概論・技術学Ⅱ	2		3後							○		30				
			看護学概論・技術学Ⅲ	2		3後							○		30				
			看護学概論・技術学演習Ⅰ	1		3後						○		30					
			看護学概論・技術学演習Ⅱ	1		4前							○		30				
			看護学実習Ⅰ	2		4前後							○	○	90				
			看護学実習Ⅱ	4		4前後							○	○	180				
			看護学実習Ⅲ	4		4前後							○	○	180				
			看護学実習Ⅳ	1		4前後							○	○	45				
			地域母子保健	1		4前							○		15				
			看護学概論	2		4前							○		30				
小計(79科目)				73	50	-													
合計(150科目) 132単位以上				112	115														

※公衆衛生看護学、助産学の選択科目は、それぞれの課程選択者が履修できます。

授業科目表

学段	科目区分	授業科目の名称	単位数		配当年次	配当年次 ●…必修 ○…選択								得 単 数	卒業に必要な 単位数	
			必修	選択		1年		2年		3年		4年				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
学部	基礎科目	英語Ⅰ	1		1前	●									30	25単位以上 (必修10単位を 含む)
		英語Ⅱ	1		1後		●								30	
		英語Ⅰ	1		1前	●									30	
		英語Ⅱ	1		1後		●								30	
		中国語基礎Ⅰ	1		1・2・3・4前	○		○		○		○			30	
		中国語基礎Ⅱ	1		1・2・3・4後		○		○		○		○		30	
		中国語総合	1		1・2・3・4前	○		○		○		○			30	
		日本語Ⅰ	1		1前	○									30	
		日本語Ⅱ	1		1後		○								30	
		日本語表現Ⅰ	1		2前			○							30	
		日本語表現Ⅱ	1		2後				○						30	
		文学	2		1・2・3・4後		○		○		○		○		30	
		哲学	2		1・2・3・4前	○		○		○		○			30	
		倫理学	2		1・2・3・4前	○		○		○		○			30	
		心理学	2		1・2・3・4前	○		○		○		○			30	
		行動科学の基礎	2		1・2・3・4後		○		○		○		○		30	
		文化人類学	2		1・2・3・4後		○		○		○		○		30	
		感性・イメージ表現	2		1・2・3・4後		○		○		○		○		30	
		音楽の世界	2		1・2・3・4後		○		○		○		○		30	
		社会学	2		1・2・3・4後		○		○		○		○		30	
		社会科学の基礎	2		1・2・3・4前	○		○		○		○			30	
		日本国憲法	2		1・2・3・4前	○		○		○		○			30	
		外国史	2		1・2・3・4後		○		○		○		○		30	
		地理学	2		1・2・3・4後		○		○		○		○		30	
		数学の世界	2		1・2・3・4前	○		○		○		○			30	
		物理と数学の基礎	2		1・2・3・4後		○		○		○		○		30	
		有機化学の基礎	2		1・2・3・4後		○		○		○		○		30	
		実験と科学	2		1・2・3・4後		○		○		○		○		30	
		健康スポーツ(理論)	1		1・2・3・4前	●		●		●		●			15	
		健康スポーツ(実技)	1		1・2・3・4後		●		●		●		●		30	
		スポーツ実技Ⅰ	1		1・2・3・4前	○		○		○		○			30	
		スポーツ実技Ⅱ	1		1・2・3・4後		○		○		○		○		30	
	社会科	共生と日本社会	2		1・2・3・4後		○		○		○		○		30	
		人権論	2		1・2・3・4前	○		○		○		○			30	
		ボランティア活動	2		1・2・3・4前	○		○		○		○			30	
		生活と環境	2		1・2・3・4前	○		○		○		○			30	
	国際関係	国際学	2		1・2・3・4前	●		●		●		●			30	
		文化コミュニケーション	2		1・2・3・4後		○		○		○		○		30	
		文化芸術交流論	2		1・2・3・4前	○		○		○		○			30	
		文化芸術交流論Ⅱ	1		1・2・3・4後		○		○		○		○		30	
		国際経済事情	2		1・2・3・4後		○		○		○		○		30	
	情報教育	情報機器の操作	2		1・2・3・4前	●		●		●		●			30	
情報倫理とセキュリティ		2		1・2・3・4前	○		○		○		○			30		
シミュレーションの世界		2		1・2・3・4後		○		○		○		○		30		
データの世界		2		1・2・3・4前	○		○		○		○			30		
CGの基礎と演習		2		1・2・3・4後		○		○		○		○		30		

学科の中核	専攻	授業科目の名称	単位数		配当年次	配当年次 ●…必修 ○…選択								修得数	卒業に必要な単位数
			必修	選択		1年		2年		3年		4年			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
社会科学研究科	キャリア実践	キャリアデザインⅠ		1	1前	○								30	25単位以上 (必修10単位を含む)
		キャリアデザインⅡ		1	1後	○								30	
		キャリアディベロップメントⅠ		1	2前			○						30	
		キャリアディベロップメントⅡ		1	2前			○						30	
		キャリアスキルアップⅠ		1	3前					○				30	
		キャリアスキルアップⅡ		1	4前							○		30	
		小計 (52科目) 25単位以上	10	72	-										
社会科学研究科	健康科学	保健栄養学概論		1	1前	●								15	24単位以上 (必修21単位を含む)
		早期体験実習		1	1前	●								30	
		人体概論Ⅰ		1	1前	●								30	
		人体概論Ⅱ		1	1後		●							30	
		人体解剖Ⅰ		1	1前	●								30	
		人体解剖Ⅱ		1	1後		●							30	
		生化学		1	1前	●								15	
		薬理学		2	1後		●							30	
		免疫学		1	2前			○						15	
		病理学		1	1後		●							15	
		微生物学		1	1後		●							30	
		遺伝学		1	2前			○						15	
		栄養と食生活		1	1前	●								30	
		疫学概論Ⅰ		1	2前			●						30	
		疫学概論Ⅱ		2	2後			●						60	
		保健学Ⅰ (公衆衛生)		1	2前			●						15	
		保健学Ⅱ (疫学)		2	2後			●						30	
		保健統計		2	3前					○				30	
		心身学概論		1	2後				○					15	
		カウンセリング論		1	2後				○					15	
		ヘルスプロモーション論		2	2前			○						30	
社会福祉学		1	2前			●						15			
医療福祉関係法規		2	2前			●						30			
保健医療福祉学論		2	3前					○				30			
小計 (24科目) 24単位以上	21	10	-												
社会科学研究科	健康科学	看護学概論		2	1前	●								30	24単位以上 (必修21単位を含む)
		基礎看護技術実習Ⅰ		2	1後		●							60	
		基礎看護技術実習Ⅱ		2	2前			●						60	
		基礎看護技術実習Ⅲ		1	2前			●						30	
		看護理論		1	1後		●							15	
		看護過程実習		1	2前			●						30	
		ヘルスアセスメント		1	2前			●						15	
		チーム医療論		1	1後		●							15	
		保健医療倫理学		1	1後		●							15	
		基礎看護学実習Ⅰ		1	1後		●							45	
		基礎看護学実習Ⅱ		2	2後				●					90	
		成人看護学概論		2	2前			●						30	
		成人看護学実習Ⅰ (急性期・病室実習)		2	2後			●						30	
		成人看護学実習Ⅱ (慢性期・病室実習)		2	3前				●					30	

看護学科(2017年度以前入学生)

学年	科目名	単位数		配当年次	配当年次 ●…必修 ○…選択								時間数	卒業に必要な単位数
		必修	選択		1年		2年		3年		4年			
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
1年次	老年看護学概論	2		2後				●					30	24単位以上 (必修21単位を含む)
	老年看護学概論Ⅱ	2		3前					●				30	
	小児看護学概論	2		2後				●					30	
	小児看護学概論Ⅱ	2		3前					●				30	
	母性看護学概論	2		2後				●					30	
	母性看護学概論Ⅱ	2		3前					●				30	
	精神看護学概論	2		2後				●					30	
	精神看護学概論Ⅱ	2		3前					●				30	
	成人看護学実習Ⅰ(急性期・母子関係)	3		3後						●			135	
	成人看護学実習Ⅱ(慢性期・回復期・終末期)	3		3後						●			135	
	老年看護学実習Ⅰ	2		3後						●			90	
	老年看護学実習Ⅱ	2		3後						●			90	
	小児看護学実習	2		3後						●			90	
	母性看護学実習	2		3後						●			90	
精神看護学実習	2		3後						●			90		
2年次	在宅看護学概論	2		2後				●					30	76単位以上 (必修72単位を含む)
	在宅看護学概論Ⅱ	2		3前					●				30	
	在宅看護学実習	2		3後						●			90	
	表紙実習	1		2前		○							15	
	行動実習アプローチ	1		3前					○				30	
	チーム医療実習	1		4後							●		30	
	臨床応用看護学	1		4前						○			15	
	災害看護学	1		4後							○		15	
	ターミナルケア論	1		4後							○		15	
	医療安全管理学	1		4後							●		15	
	看護キャリア開発論	1		4後							○		15	
	保健医療英語Ⅰ	1		2後				○					30	
	保健医療英語Ⅱ(文献読解)	1		4前							○		30	
	国際保健医療看護学	1		4前							●		15	
	国際保健医療看護学実習	1		4前							○		30	
	統合看護学実習	2		4前							●		90	
	卒業研究Ⅰ	1		4前							●		15	
卒業研究Ⅱ	1		4前後							●	●	30		
3年次	公衆衛生看護学概論	2		2前			●						30	76単位以上 (必修72単位を含む)
	公衆衛生看護学方法論Ⅰ	2		3前					○				30	
	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	2		3前						○			30	
	公衆衛生看護学Ⅰ(地域活動)	2		2後			●						30	
	公衆衛生看護学Ⅱ(学校保健)	2		3前					○				30	
	公衆衛生看護学Ⅲ(産業保健)	2		3前					●				30	
	公衆衛生看護学実習Ⅰ(地域活動)	3		4後							○	○	135	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健)	1		4前							○		45	
	公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)	1		4前							○		45	
	公衆衛生看護学学際実習	2		4前							○		60	
	国際学概論	2		3前						○			30	
ウィメンズヘルス学	2		3前						○			30		
高度期医学	1		3前						○			15		

学科	科目	授業科目の名称	単位数		配当年次	配当年次 ●…必修 ○…選択								時 間 数	卒業に必要な 単位数
			必修	選択		1年		2年		3年		4年			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
理工学部	情報系	授業科目・技術学Ⅰ		2	3前					○				30	76単位以上 (必修72単位を 含む)
		授業科目・技術学Ⅱ		2	3後						○			30	
		授業科目・技術学Ⅲ		2	3後						○			30	
		授業科目・技術学実習		2	4前							○		60	
		授業科目・技術学実習Ⅰ		3	4通							○	○	135	
		授業科目・技術学実習Ⅱ		2	4通							○	○	90	
		授業科目・技術学実習Ⅲ		3	4通							○	○	135	
		授業科目・技術学実習Ⅳ		3	4通							○	○	135	
		応用電子保護		1	4前							○		15	
		応用電子理論		2	4前							○		30	
		小計 (70科目) 76単位以上		72	49	-									
合計 (146科目) 125単位以上		103	131	-	●…必修 ○…選択										

学科区分	専攻	専攻科目	単位数		分修年次	配当年次								卒業単位数	卒業に必要単位数	
			必修	選択		1年		2年		3年		4年				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
社会科学研究科	経済・商学	経済学		2	1前	○									30	必修 15単位 選択 16単位 以上
		異文化コミュニケーション		2	1後		○								30	
		国際事情	2		1後		●								30	
	情報科学	情報機器の操作		2	1前	●									30	
		情報倫理とセキュリティ		2	1前	○									30	
		データの世界		2	1前	○									30	
		情報と分析		2	1後		○								30	
		CGの基礎と実習		2	1後		○								30	
	キャリア支援	キャリアデザインⅠ		1	1前	○									30	
		キャリアデザインⅡ		1	1後		○								30	
		キャリアディベロップメントⅠ		1	2前			●							30	
		キャリアディベロップメントⅡ		1	2後				●						30	
	専攻基礎	英語ゼミⅠ	1		1前	●									30	
		英語ゼミⅡ	1		1後		●								30	
	小計(46科目)			15	57	—										
社会科学研究科	人間の健康と生活の科学	人体構造学Ⅰ(解剖・組織学)	1		1前	●									30	必修 14単位
		人体構造学Ⅱ(内臓・生殖系)	1		1後		●								30	
		人体構造学Ⅲ(神経・運動系)	1		1後		●								30	
		人体構造実習	2		2前			●							60	
		人体機能学Ⅰ(植物性機能)	1		1前	●									30	
		人体機能学Ⅱ(動物性機能)	1		1後		●								30	
		人体生理機能実習	2		2前			●							60	
		人間発達学	1		1前	●									30	
		運動学入門	1		1前	●									30	
		運動学Ⅰ(理論)	1		1後		●								30	
		運動学Ⅱ(応用)	1		2前			●							30	
		運動学実習	1		2前			●							30	
	健康と生活の科学	精神医学	1		1後		●								30	
		リハビリテーション医学	1		1前	●									30	
		病み学概論	1		1後		●								30	
		整形外科学Ⅰ(理論)	1		2前			●							30	
		整形外科学Ⅱ(応用)	1		2後				●						30	
		内臓障害学Ⅰ(理論)	1		2前			●							30	

リハビリテーション学科(2020年度入学生)

区分	科目名	単位数		履修順序	配当年次								履修数	卒業に必要な単位数	
		必修	選択		1年		2年		3年		4年				
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
Ⅰ 必修科目	基礎的知識の修得のための基礎的科目	内部障害学Ⅱ(各論)	1		2後				●					30	必修14単位
		神経内科学	1		2前			●						30	
		心身医学概論	1		2後				●					30	
		臨床心理	1		2後				●					30	
		スポーツ医学	1		1後		●							30	
		薬理学概論	1		2後				●					30	
		救命救急学概論	1		3後						●			30	
		認知症看護ケア	1		3後						●			30	
	Ⅱ 専門的知識の修得のための専門的科目	リハビリテーション概論	1		1前	●								5	必修5単位
		先端リハビリテーション論	1		4後								●	30	
		チーム医療論	1		1後		●							15	
		チーム医療論演習	1		4後								●	30	
		国際リハビリテーション論	1		2前			●						30	
	小計(31科目)		33	0	—										
Ⅲ 共通科目	医療リスクマネジメント	1		3後						●			15	必修2単位 選択2単位以上	
	職場管理論	1		4後								●	15		
	障害リハビリテーション学	1		3前					○				30		
	リハビリテーション行動科学	1		3後					○				30		
	ウイメンズヘルスケア	1		3前					○				30		
Ⅳ 専門的知識の修得のための専門的科目	Ⅳ-1 理学療法領域	理学療法概論	1		1前	●							30	必修7単位	
		臨床運動学	1		2後			●					30		
		理学療法研究法	1		3前					●			30		
		最新の臨床能力演習(理学療法)	2		3後					●			30		
		理学療法卒業研究	2		4後							●	30		
	Ⅳ-2 作業療法領域	理学療法群理学	1		2前		●						30	必修6単位	
		運動器障害群理学	1		2後			●					30		
		神経障害群理学	1		2前		●						30		
		内部障害群理学	1		2後			●					30		
		理学療法討義論	2		3後					●			30		
Ⅳ-3 看護学領域	臨床運動療法学	1		2前		●						15	必修20単位		
	鍼灸器具学Ⅰ(概論)	1		2前		●						30			
	鍼灸器具学Ⅱ(各論)	1		2後			●					30			
	管理療法学Ⅰ(概論)	1		3前					●			30			

学部	学科	科目名	単位数		履修順序	配当年次								授業回数	卒業に必要な単位数
			必修	選択		1年		2年		3年		4年			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
(水産総合政策学部) 応用工学系	水産総合政策学部	管理療法Ⅱ(各論)	1		3後						●			30	必修20単位
		筋肉相隣理学療法Ⅰ(総論)	1		3前					●				30	
		筋肉相隣理学療法Ⅱ(各論)	1		3後						●			30	
		中枢神経理学療法Ⅰ(総論)	1		3前					●				30	
		中枢神経理学療法Ⅱ(各論)	1		3後						●			30	
		小児神経理学療法	1		3前					●				30	
		スポーツ障害理学療法	1		3後						●			30	
		内臓障害理学療法Ⅰ(総論)	1		3前					●				30	
		内臓障害理学療法Ⅱ(各論)	1		3後						●			30	
		内臓障害理学療法演習	1		3後						●			30	
		老年障害理学療法	1		3前					●				30	
		神経障害理学療法	1		3後						●			30	
		日常生活動作学	1		2前		●							30	
		日常生活動作学演習	2		2後			●						30	
		理学療法技術特論	1		4後								●	30	
(水産総合政策学部) 応用工学系	応用工学系	応感理学療法	1		2前		●						30	必修5単位	
		応感理学療法演習	2		2後			●					30		
		福祉用具・生活環境論Ⅰ(総論)	1		3前					●			30		
		福祉用具・生活環境論Ⅱ(各論)	1		3後						●		30		
(水産総合政策学部) 応用工学系	健康科学	早期体験実習(理学療法)	1		1前	●							45	必修22単位	
		応感理学療法実習	2		2後			●					90		
		理学療法評定実習	3		3後					●			135		
		統合臨床実習Ⅰ(理学療法)	8		4前						●		360		
		統合臨床実習Ⅱ(理学療法)	8		4前						●		360		
小計(43科目)			62	4	—										
(水産総合政策学部) 応用工学系	健康科学	作業療法概論	1		1前	●							30	必修8単位	
		基礎作業学	1		2前		●						30		
		作業技術学Ⅰ	1		2後			●					30		
		作業技術学Ⅱ	1		2後			●					30		
		作業療法研究法	1		3前				●				30		
		作業療法卒業研究	2		4後							●	30		
		最終的臨床能力演習(作業療法)	1		3後					●			30		
	健康科学	作業療法評定学Ⅰ(身体)	1		2前		●						30	必修5単位	
		作業療法評定学Ⅱ(精神)	1		2前		●						30		

学科区分	課程区分	授業科目	単位数		必修/選択	配当年次								修得単位数	卒業に必要な単位数	
			必修	選択		1年		2年		3年		4年				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
社会系理工学	基礎・応用	栄養学		2	1前	○									30	必修15単位 選択16単位 以上
		異文化コミュニケーション		2	1後		○								30	
		国際事情	2		1後		●								30	
	情報処理工学	情報機器の操作	2		1前	●									30	
		情報論理とセキュリティ		2	1前	○									30	
		データの世界		2	1前	○									30	
		情報と分析		2	1後		○								30	
		CGの基礎と演習		2	1後		○								30	
		キャリアデザインⅠ		1	1前	○									30	
	キャリアデザイン	キャリアデザインⅡ		1	1後		○								30	
		キャリアディベロップメントⅠ		1	2前			●							30	
		キャリアディベロップメントⅡ		1	2後				●						30	
		習熟ゼミⅠ	1		1前	●									30	
	習熟ゼミⅡ	1		1後		●								30		
	小計(46科目)			15	57	—										
社会系理工学	人間の健康と生活環境の工学	人体構造学Ⅰ(解剖・組織学)	1		1前	●									30	必修14単位
		人体構造学Ⅱ(内臓・生殖系)	1		1後		●								30	
		人体構造学Ⅲ(神経・運動系)	1		1後		●								30	
		人体構造実習	2		2前			●							60	
		人体機能学Ⅰ(視覚性機能)	1		1前	●									30	
		人体機能学Ⅱ(聴覚性機能)	1		1後		●								30	
		人体生理機能実習	2		2前			●							60	
		人間発達学	1		1前	●									30	
		運動学入門	1		1前	●									30	
		運動学Ⅰ(解剖)	1		1後		●								30	
		運動学Ⅱ(各論)	1		2前			●							30	
		運動学実習	1		2前			●							30	
		精神医学	1		1後		●								30	
		健康・福祉の工学	リハビリテーション工学	1		1前	●									
	福祉学概論		1		1後		●								30	
整形外科学Ⅰ(解剖)	1			2前			●							30		
整形外科学Ⅱ(各論)	1			2後				●						30		
内部障害学Ⅰ(解剖)	1			2前			●							30		

リハビリテーション学科(2019年度入学生)

学年	科目名	単位数		科目コード	配当年次								授業数	卒業に必要な単位数	
		必修	選択		1年		2年		3年		4年				
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
第1学年(前期)	内部障害学Ⅱ(各論)	1		2後				●					30	必修10単位 選択2単位以上	
	神経内科学	1		2前			●						30		
	心身医学概論	1		2後				●					30		
	臨床心理	1		2後					●				30		
	スポーツ医学		1	1後		○							30		
	薬理学概論		1	2後				○					30		
	救命救急学概論		1	3後						○			30		
	第1学年(後期)	リハビリテーション概論	1		1前	●								15	必修5単位
		先端リハビリテーション論	1		4後								●	30	
		チーム医療論	1		1後		●							15	
チーム医療論演習		1		4後								●	30		
国際リハビリテーション論		1		2前			●						30		
小計(30科目)		29	3	—											
第2学年(前期)	医療リスクマネジメント	1		3後						●			15	必修2単位 選択2単位以上	
	職場管理論	1		4後								●	15		
	障害リハビリテーション学		1	3前					○				30		
	リハビリテーション行動科学		1	3後						○			30		
	ウイメンズヘルスケア		1	3前					○				30		
	認知発達障害ケア		1	3後							○		30		
第2学年(後期)	理学療法概論	1		1前	●								30	必修7単位	
	臨床運動学	1		2後				●					30		
	理学療法研究法	1		3前					●				30		
	音楽的臨床能力演習(理学療法)	2		3後						●			30		
	理学療法卒業研究	2		4後								●	30		
第3学年(前期)	理学療法解剖学	1		2前			●						30	必修6単位	
	運動制御学概論	1		2後				●					30		
	神経障害学概論	1		2前			●						30		
	内部障害学概論	1		2後				●					30		
	理学療法計画論	2		3後						●			30		
第3学年(後期)	芸術運動療法学	1		2前			●						15	必修20単位	
	鍼灸器具Ⅰ(演習)	1		2前			●						30		
	鍼灸器具Ⅱ(各論)	1		2後				●					30		
	物理療法Ⅰ(演習)	1		3前					●				30		

学科	科目	単位数		対前期	配当年次								履修単位数	平年に必要単位数
		必修	選択		1年		2年		3年		4年			
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
理学部 理学系 (理学部理学系) 理学系	物理療法Ⅱ(必修)	1		3後					●				30	必修20単位
	院青物理療法Ⅰ(副選)	1		3前				●					30	
	院青物理療法Ⅱ(必修)	1		3後					●				30	
	中経物理療法Ⅰ(副選)	1		3前				●					30	
	中経物理療法Ⅱ(必修)	1		3後					●				30	
	小児物理療法	1		3前				●					30	
	スポーツ物理療法	1		3後						●			30	
	内産物理療法Ⅰ(副選)	1		3前					●				30	
	内産物理療法Ⅱ(必修)	1		3後						●			30	
	内産物理療法実習	1		3後						●			30	
	老年物理療法	1		3前					●				30	
	神経物理療法	1		3後						●			30	
	日常生活動作学	1		2前		●							30	
	日常生活動作学実習	2		2後			●						30	
	理学療法技術特論	1		4後								●	30	
理学部 理学系 (理学部理学系) 理学系	地理学療法	1		2前		●							30	必修5単位
	地理学療法実習	2		2後			●						30	
	福祉用具・生活環境Ⅰ(副選)	1		3前					●				30	
	福祉用具・生活環境Ⅱ(必修)	1		3後						●			30	
理学部 理学系 (理学部理学系) 理学系	早期体験実習(理学療法)	1		1前	●								45	必修22単位
	地理学療法実習	2		2後			●						90	
	理学療法野遊実習	3		3後						●			135	
	総合臨床実習Ⅰ(理学療法)	8		4前							●		360	
	総合臨床実習Ⅱ(理学療法)	8		4前							●		360	
	小計(44科目)	62	4	—										
理学部 理学系 (理学部理学系) 理学系	作業療法概論	1		1前	●								30	必修8単位
	基礎作業学	1		2前		●							30	
	作業技術Ⅰ	1		2後			●						30	
	作業技術Ⅱ	1		2後			●						30	
	作業療法研究法	1		3前				●					30	
	作業療法卒業研究	2		4後							●		30	
	自律的自立能力実習(作業療法)	1		3後						●			30	
	作業療法野遊学Ⅰ(身体)	1		2前		●							30	
作業療法野遊学Ⅱ(精神)	1		2前		●							30		
理学部 理学系 (理学部理学系) 理学系	作業療法野遊学Ⅰ(身体)	1		2前		●							30	必修5単位
	作業療法野遊学Ⅱ(精神)	1		2前		●							30	

【看護学研究科看護学専攻カリキュラム表】

看護学研究科看護学専攻

看護学研究科看護学専攻

科目区分	授業科目の名称	単位数		
		必修	選択	
基盤科目	国際医療特論	2		
	国際看護特論		2	
	ヘルスプロモーション特論		2	
	看護倫理特論	2		
	コンサルテーション論		2	
	看護理論特論		2	
	看護教育学特論		2	
	看護管理学特論		2	
	臨床薬理学		2	
	病態生理学		2	
	フィジカルアセスメント		2	
	看護研究特論	2		
専門科目	在宅看護学 分野	在宅看護学特論Ⅰ（在宅看護学）		2
		在宅看護学特論Ⅱ（慢性期）		2
		在宅看護学特論Ⅲ（回復支援）		2
		在宅看護学特論Ⅳ（地域包括支援）		2
		在宅看護学特論演習		2
	育成看護学 分野	育成看護学特論Ⅰ（発達支援）		2
		育成看護学特論Ⅱ（次世代育成支援）		2
		育成看護学特論Ⅲ（イブ・オブ・ケア・ヘルス・ケア）		2
		育成看護学特論Ⅳ（家族支援）		2
		育成看護学特論演習		2
	精神看護学 分野（CNS）	精神看護学特論Ⅰ（歴史・法制度）		2
		精神看護学特論Ⅱ（精神・身体状態の評価）		2
		精神看護学特論Ⅲ（精神科治療技法）		2
		精神看護学特論Ⅳ（精神看護理論、援助技法）		2
		地域移行支援精神看護学特論		2
		急性期精神看護学特論		2
		精神看護学演習Ⅰ（精神科治療技法）		2
		精神看護学演習Ⅱ（精神看護理論、援助技法）		2
		精神看護学実習 アセスメント		2
		精神看護専門看護師役割実習		2
		直接ケア実習		4
上級直接ケア実習		2		
研究科目	特別研究		8	
	課題研究		4	

6. 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

■ 人間教育学部 人間教育学科 人間教育学専攻 1～3年次生対象

[平成 30 ～ 令和 2 年度 (2018 ～ 2020) 入学生]

共通教育科目		専 門 科 目 (注 4)				関連科目	合計
必修・選択	小計	基礎科目 必修・選択	発展科目 必修・選択	演習実習科目 必修・選択	小計	選 択	
26	26	32 (注 1)	47 (注 2)	19	98	(注 3)	124
<p>(注 1) 専門科目の基礎科目において、卒業に必要な単位数を超えて修得した場合、その超えた単位数は専門科目の発展科目の単位数として認められる。</p> <p>(注 2) 専門科目の発展科目において、卒業に必要な単位数を超えて修得した場合、その超えた単位数は専門科目の演習実習科目の単位数として認められる。</p> <p>(注 3) 関連科目において、修得した単位数は専門科目の単位として認められる。</p> <p>(注 4) 専門科目において、卒業に必要な単位数を超えて修得した場合、その超えた単位数の 8 単位を限度として、共通教育科目の単位として認められる。</p>							

■ 人間教育学部 人間教育学科 中等 (数学・音楽) 専攻 1～3 年次生対象

[平成 30 ～ 令和 2 年度 (2018 ～ 2020) 入学生]

共通教育科目		専 門 科 目 (注 4)				関連科目	合計
必修・選択	小計	基礎科目 必修・選択	発展科目 必修・選択	演習実習科目 必修・選択	小計	選 択	
26	26	32 (注 1)	47 (注 2)	19	98	(注 3)	124
<p>(注 1) 専門科目の基礎科目において、卒業に必要な単位数を超えて修得した場合、その超えた単位数は専門科目の発展科目の単位数として認められる。</p> <p>(注 2) 専門科目の発展科目において、卒業に必要な単位数を超えて修得した場合、その超えた単位数は専門科目の演習実習科目の単位数として認められる。</p> <p>(注 3) 関連科目において、修得した単位数は専門科目の単位として認められる。</p> <p>(注 4) 専門科目において、卒業に必要な単位数を超えて修得した場合、その超えた単位数の 8 単位を限度として、共通教育科目の単位として認められる。</p>							

■ 人間教育学部 人間教育学科 4 年次生以上対象

[平成 26 ～ 29 年度 (2014 ～ 2017) 入学生]

共通教育科目		専 門 科 目				関連科目	合計
必修・選択	小計	基礎科目 必修・選択	発展科目 必修・選択	演習実習科目 必修・選択	小計	選 択	
26	26	30	32	16	78		124
<p>※上記に加え、共通教育科目、専門科目及び関連科目のうちから 26 単位の修得が必要</p> <p>※専門科目 [基礎科目：必修・選択] 30 単位のうち、6 単位を卒業要件として充足する</p>							

■ 保健医療学部 看護学科

共通教育科目		専門基礎科目	専門科目	専門基礎科目および専門科目		合計
必修・選択	小計	必修	必修	選択	小計	
25 単位	25 単位	30 単位	73 単位	4 単位	107 単位	132 単位

■ 保健医療学部 リハビリテーション学科

共通教育科目		専門基礎科目	専門科目	専門基礎科目および専門科目		合計
必修・選択	小計	必修	必修	選択	小計	
25 単位	25 単位	30 単位	73 単位	4 単位	107 単位	132 単位

■ 大学院 看護学研究科 看護学専攻

基盤科目	専門科目	研究科目	合計
必修・選択	選択	選択	
12 科目	22 科目	2 科目	36 科目

7. 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

大学名	キャンパス	学部	所在地	主な交通手段
奈良学園大学	三郷 キャンパス	人間教育学部	奈良県生駒郡三郷町立野北三丁目12番1号	JR「三郷駅」より徒歩約15分 JR「三郷駅」より「奈良学園大学」行きバス約3分
	登美ヶ丘 キャンパス	保健医療学部 大学院看護学研究科	奈良県奈良市中登美ヶ丘3丁目15番1号	近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘」駅から西へ約1,000m 近鉄奈良線「学園前」駅から奈良交通バスで約9分「中登美ヶ丘四丁目」下車、東へ約150m

7. 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

【奈良学園大学 三郷キャンパス】

○キャンパスの概要

館	使用目的	種類	面積 (㎡)	主要施設
1号館	講義棟	講義室	571.19	2階 (201 教室) 3階 (301・302 教室)
		演習室	49.04	2階 (プロジェクト室2・4)
		研究室	1,345.79	2階 (第1～18 研究室) 3階 (第19～47 研究室)
2号館	学生厚生棟	事務室	661.73	1階 理事長室・事務局長室・総務部・財務部・経理課・入試広報課・法人事務局次長室・学校法人奈良学園事務局 2階 監事室・監査室・理事室
		食堂	669.54	1階 (カトル・セゾン)
		購買室	288.63	1階 (ヤマザキY ショップ)
		談話室	105.03	2階 (国際交流室兼談話室)
		学生会関連室 クラブ関連室	186.33	3階 (学生会室・公認連合本部会室・資料室・ミーティング室)
5号館	講義棟	事務室	296.95	2階 (教務課・社会・国際連携センター・学生支援センター)
		事務室	199.07	1階 (キャリアセンター)
		講義室	3,442.26	1階 (516 教室) 2階 (521・522・525・527・529・5210～5215 教室) 3階 (531～539・5311～5318 教室)
		実習室	1,286.61	1階 (511 教室 [和室]・512 教室 [幼小接続室] 513 教室 [理科室]・514 教室 [調理室] 515 教室 [被服室]・517 教室 [図工室])
		PC 教室	93.99	2階 (526 教室)
		演習室	688.71	演習使用教室 1階 (演習室1・2) (書写・書道演習室) 2階 (演習室3～6) 3階 (演習室9・第12～17 演習室)
		研究室	448.03	2階 (第65～78 研究室) 3階 (第79～81 研究室)
6号館	情報教育棟	PC 教室	582.41	1階 (611 教室) 2階 (621 教室) 3階 (631・632 教室)
		演習室	53.26	2階 (演習室1・2)
		研究室	69.29	3階 (第86～88 研究室)
		事務室	25.76	法人財務部管理課
7号館	図書館	閲覧室	2,270.24	書棚・書籍検索パソコン席・閲覧 (学習) 席読書室・視聴覚室
		学習室	155.38	グループ学習室・研究個室
		書庫	375.72	地下1・2階 (集密書庫)
		事務室	119.73	図書館事務室・保管室
8号館	スポーツ交流施設棟	スポーツ交流室	470.88	1階 (ミーティング室・トレーニング室) 2階 (ラウンジ・ロッカー室)
		事務室	900	1階 指導者控室
10号館	情報教育棟	講義室	610.32	2階 (1021 教室・1022 教室) 3階 (1033 教室・討論室)
		実習室	381.21	1階 (1014 教室 [スタジオ]) 2階 (個人レッスン室1～17・ピアノレッスン室1～3)

		PC 教室	154.00	3 階 (1031A/B)
		演習室	506.40	1 階 (1011 教室 [器楽演習室] ・ 1012 教室 [メディア演習室] プロジェクト室 7) 2 階 (プロジェクト室 8) 3 階 (ML 教室)
		研究室	109.18	第 112～116 研究室

【奈良学園大学 登美ヶ丘キャンパス】

○キャンパスの概要

館	使用目的	種類	面積 (㎡)	主要施設
1 号館	講義棟	講義室	1046.44	4 階 (401～403 ・ 405～409 教室)
		実習室	1541.42	1 階 (義肢装具実習室、運動学習実習室、運動療法実習室) 2 階 (金工・木工・陶工実習室、物理療法実習室、水治療実習室、 運動整理実習室、基礎医学実習室、多機能実習室、ADL 実習室)
		PC 教室	334.16	5 階 (501 ・ 502 教室 [マルチメディア教室 1 ・ 2])
		研究室	1263.4	2 階 (第 1～21 研究室) 3 階 (第 1～32 研究室 ・ 院生研究室)
		事務室	391.14	1 階 (総務課 ・ 経理課 ・ 入試広報課 ・ 教務課 ・ キャリアセンター ・ 学生支援センター)
2 号館	講義棟 学生厚生棟	講義室	1302.46	4 階 (2401～2407 教室) 5 階 (2501 ・ 2502 教室)
		実習室	936.48	3 階 (地域 ・ 在宅 ・ 老年看護学自習室 / 基礎 ・ 成人看護学実習室 母性 ・ 小児看護学自習室 / 助産実習室)
		演習室	427.74	5 階 (演習室 1～10)
		図書室	762.04	1 階 (開架書架 ・ 集密書架 ・ 図書準備室) 2 階 (開架書架 ・ 学習室 1 ・ 学習室 2)
		食堂	408.13	2 階

8. 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること

学生納付金に関する情報

大学名	学部	入学金		授業料		(その他の費用) 教育充実費	
		金額	納入時期	金額	納入時期	金額	納入時期
奈良学園大学	人間教育学部	¥300,000	入学時 (入学試験毎)	【前期】			
				¥425,000	5月7日	¥160,000	5月7日
				【後期】			
				¥425,000	10月31日	¥160,000	10月31日
	保健医療学部	¥300,000	入学時 (入学試験毎)	【前期】			
				¥425,000	5月7日	¥325,000	5月7日
				【後期】			
				¥425,000	10月31日	¥325,000	10月31日
	大学院 看護学研究科 看護学専攻	¥200,000	入学時 (入学試験毎)	【前期】			
				¥217,500	4月中	¥157,500	4月中
				【後期】			
				¥217,500	10月中	¥157,500	10月中
学部共通	【奨学金給付制度の概要】 ・奈良学園大学の給付型奨学金制度 一般学生奨学金 スポーツ学生奨学金 私費外国人留学生奨学金 学園内進学者奨学金 ファミリー進学者奨励金 家計急変時支援奨学金 課外活動奨励金 留学支援奨励金 放送大学受講学生奨励金						

※人間教育学部・保健医療学部の主な諸会費(年額)：後援会費25,000円、学友会費5,000円 他

※人間教育学部・保健医療学部は、編入学定員を設けていないが、若干名の受け入れを行うことがある。

※人間教育学部は専修もしくは履修によって別途実習費を徴収する。

※保健医療学部において、助産師課程を選択する場合は4年次において、実習費年額300,000円を徴収する(納入期限5月7日)

※大学院看護学研究科において、CNSを履修するコース選択者は、2年次において実習費年額100,000円を徴収する(納入期限4月中)

※大学院看護学研究科において、奈良学園大学卒業生は入学金金額は50,000円となる。

※大学院看護学研究科長期履修学生(3年間)については別に定める。

9. 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<学生支援組織>

項目	組織等	機能
キャリア支援 就職支援	キャリアセンター	リメディアル教育 就職指導進路情報の調査、収集、整備及び保管 求人先の開拓及び連絡 就職の斡旋 進路指導(ガイダンス・各種就職関連セミナーの実施、個人面談・相談)
進学支援	キャリアセンター	進学先情報の調査、収集、整備及び保管
修学支援	教員及び教務課	履修登録をはじめとする、学生の修学関連業務全般
生活支援(住居、アルバイト等)	学生支援センター	住居、アルバイト情報の収集、保管、相談及び紹介
経済支援		日本学生支援機構奨学金の相談、各種手続き 奈良学園大学奨学金の相談、手続き
保健・衛生・メンタルヘルス等の健康支援と学生の福利厚生		学生の「心・身体・学び」を支援 分野を横断した幅広い学生相談、健康診断及び保健衛生相談および快適な学び環境の支援

<奈良学園大学 奨学金>

規程	対象学生	種類	型	入学金		授業料			教育充実費				その他	
				半額	全額	1/4	半額	3/4	全額	1/4	半額	3/4		全額
奈良学園大学一般学生奨学金規程	一般学生で学業成績優秀者 入試成績優秀者	一般学生奨学金	I型	※①					○				○	
			II型	※①				○					○	
			III型	※①		○						○		
			IV型	※①	○					○				
			V型	※①										
奈良学園大学スポーツ学生奨学金規程	スポーツ等課外活動を行う学生	スポーツ学生奨学金	I型	※①					○				○	
			II型	※①				○				○		
			III型	※①		○						○		
			IV型	※①	○					○				
			V型	※①										
奈良学園大学私費外国人留学生奨学金規程	私費外国人留学生	私費外国人留学生奨学金	I型	※③					○				○	
			II型	※③				○				○		
			III型	※③		○						○		
			IV型	※③	○					○				
			V型	※③										
奈良学園大学における奈良学園内進学者に対する奨励金内規	学園内進学者	内部進学者奨励金			○									
奈良学園大学におけるファミリー進学者に対する奨励金内規	本学を卒業した者及び在籍中の者の直系親族又は兄弟（姉妹を含む）	ファミリー進学者奨励金			○									
奈良学園大学家計急変時支援奨励金規程	家計急変のため学業継続に支援を必要とする学生	家計急変時支援奨励金												※④
奈良学園大学課外活動奨励金規程	学長が認める課外活動等を行う学生	課外活動奨励奨励金												※⑤
奈良学園大学留学支援奨励金規程	学長が認める海外留学等を行う学生	留学支援奨励奨励金												※⑥
奈良学園大学における放送大学開講科目受講者に対する奨励金内規	放送大学受講生	放送大学受講生奨励金												※⑦

- ※① 入学金の相当額を給付することがある。
- ※② 学長が定めた額を給付する。
- ※③ 入学金の2分の1以内の額を給付することがある。
- ※④ 在籍中1回限りで年額30万円以内を給付する。給付期間は最大1年間。
- ※⑤ 10万円以内を給付する。
- ※⑥ 10万円以内を給付する。
- ※⑦ 放送大学の開講する授業科目を受講するために必要な授業料1科目（2単位）11,000円の2分の1の額を、各学期に2科目（4単位）分を上限として単位修得の確認後に給付する。

国などからの借入と卒業した奨学生からの返還金により成り立っている貸与型の奨学金制度

● 奨学金の種類

① 第一種奨学金（無利子）

特に優れた学生及び生徒で、経済的理由により著しく修学困難な人に貸与することができます。

② 第二種奨学金（有利子で年3%が上限）

第一種奨学金より緩やかな基準によって選考された人に貸与することができます。

● 申請時期

- ・ 予約採用・・・高校時に申し込み
- ・ 定期採用・・・毎年4月（令和2年度分は受付終了） ※全学年対象
- ・ 随時・・・緊急採用（第一種）、応急採用（第二種）

失職、破産、事故、病気、死亡等により、緊急に奨学金の貸与が必要になった場合は、緊急採用（第一種）・応急採用（第二種）がありますので、学生支援センターへご相談ください。

● 貸与月額（令和2年度採用者の場合）

		第一種（無利子）	第二種（有利子）
学部生	自宅通学	20,000 円、30,000 円 40,000 円、54,000 円	月額 20,000 円～120,000 円 (10,000 円刻み)
	自宅外通学	20,000 円、30,000 円 40,000 円、50,000 円 64,000 円	

10. 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

【人間教育学部人間教育学科】

<教育目標>

「社会の中で一人の人間」として生き抜く力となる豊かな「人間力」を基盤とする、柔軟な「教育力」と高度な「実践力」を備えた「教育者」（広く社会の教育活動にかかわる人材）の養成を目的とする

<ポリシー>

(1) カリキュラムポリシー

- ① 広く豊かな社会的常識をもち、人間的社会的に成熟した人を育てる教育
- ② 教育に対する使命感と情熱をもち、子どもと教育的な関係を築く力をつける教育
- ③ 教育の専門家として各教科の内容及び指導法を実践的に深める教育
- ④ 個々の子どもを理解し一人一人を生かすとともに集団を指導する力を身につける教育
- ⑤ 自己教育力をもち、セルフマネジメント能力と生涯学習能力を身につける教育
- ⑥ 学校内外の人々と連携しチームとして活動できる力を身につける教育
- ⑦ 日本の伝統文化を深く理解し、国際的な感覚を身につける教育

(2) ディプロマポリシー

- ① 広く豊かな社会的常識をもち、人間的社会的に成熟している
- ② 教職に対する使命感をもち、児童生徒に教育的な愛を持って接することができる
- ③ 学校現場の様々な教育課題に適切に対応し、チームとして行動することができる
- ④ 子どもの発達に応じて授業を構想し指導を工夫する教育の専門家である
- ⑤ 自己の学習を振り返り、理論と実践を結びつけた研修を継続的にできる
- ⑥ 保護者や地域の人等、学校外の人等と広く連携する力を身につけている
- ⑦ 日本の伝統文化を深く理解し、国際的な感覚を身につけている

人間教育学部は、人間力・教育力・実践力を備えた義務教育学校教員を養成することを第一の目的にしている。さらに小学校に接続する幼稚園教諭、または中学校・高等学校の基盤となる国語・数学と豊かな感性を育む音楽の教諭を養成することも目的としている。そのために以下のような特徴ある教育課程を編成するとともに、様々な方法で一人ひとりの学生を支援している。

(1) 大学生活への適応と支援

入学時に基礎ゼミナールを中心として、学内・学外オリエンテーションを行い、大学に早期に適応できるように、学習面や生活面で個人指導を重視し、少人数のクラス担任制を取り入れている。特に1年生には副担任を配置し手厚く学生を支援している。1年次5月には全員面談を行い、個々の学生の進路も含め、高校から大学への段差の解消に努めている。個々の学生の動向を、学部全教員が毎月の教授会や連絡会等で共通理解し、さらに学力的に不十分な点は個人補習を実施し、特に数学の基礎力をつけている。

大学の学習のルールと規律の徹底化を図り、すべての授業で、授業開始と終了時に全員が起立して教員とともに挨拶を行っている。さらに、各授業で数名のSAを学生から立候補で決定し、授業の進行等で中心的な役割を担っている。

また、授業中に課題を与え提出を必ず全員に求めるなど、学習や苦手なことから逃げずに忍耐強く取り組むような姿勢を身につけさせている。課題を提出できない学生に対し、授業以外に個別に呼び出して、特別に補習を行いサポートしている。

講義では、1年次で初等と中等の両方の教職入門や教育原理や教育心理を設置し、自分自身の進路を考える機会としている。さらに全国で唯一の人間教育学の授業を実施し、個人としてまた社会人としての、今後の生き方について考えさせる場を設けている。

(2) コミュニケーション力育成

1・2年次と2年間を通し、国語の「話す・聞く・読む・書く」の4分野の言語力を取得するため、60コマの「教職表現力演習」の授業を少人数で展開している。学んだ成果を試すための「スピーチコンテスト」「自分新聞作成」等のイベントを実施し、長期間に及ぶ授業を個々の学生が目標を持って取り組める工夫を行っている。表現場面では、

自己評価や相互評価を取り入れ、目標を意識した評価ができる学生を養成している。各授業でも、座学だけでなく活動したことを振り返りそれを文章化することを重視した教員と学生の相互交流のある授業を盛んに行っている。これらの振り返り活動を通して、授業はPDACというサイクルで行われることを学生は体感している。

これは上位年次に課せられるレポートや論文の書き方を学ぶことを目的としており、教師や指導者として児童・生徒の前に立つ際の基本的なコミュニケーションの基礎の養成と定着を図るものである。また、教育は保護者や地域の人々との連携がなくしては成立しないものなので、そのツールとしての重要な役割も果たすものである。

(3) 教育実習に役立つ実践力の育成

1年次から4年次まで「人間教育実践力開発演習」が教育課程内に位置づけられている。

この科目は、学校に学生が出向き実際の教育活動への指導補助を通して、教員の仕事の意味や子ども理解の方法等を体験的に学ぶことを目的としている。1年次からのこの体験学習を通して、3年次または4年次で4週間の教育実習に全員の学生が安心感をもって出かける。教育実習前の事前準備として学校の様子に慣れ親しみ、児童・生徒の理解を深め、学生は教育実習に当たり精神的な不安感を減少させ意欲的に実習に取り組むことができる。

(4) 各教科指導の模擬授業

2年次から3年次にかけて、各教科指導法の学習の多くが実施される。教科指導法は約40人を1クラスとして全員が模擬授業を経験するようになる。模擬授業では、教材解釈から始まり板書や指導案の書き方も含め、学生が教師役と児童・生徒役等にわかれ、お互いの授業を評価し改善し合う。しかし、実際の授業においては、児童・生徒の発達段階に応じた好ましい学級経営が不可欠である。そのため、教育心理学や発達心理学の授業を通して、発達段階に応じた言葉がけや、児童・生徒一人ひとりへの対応方法を学ぶとともに、授業の方法技術を向上させることを狙いとする。

また、各教科以外の学校教育で必要な課題教育の講義も多く設定しているため、各教科の学習と関連付けながら教員志望者としての人間の幅を広げることが可能である。

(5) 出口を意識したキャリア教育の実施

1年次から4年次までキャリア教育を実施している。キャリア教育の時間は1年次からスーツを着用して授業を受けたり、少人数に分かれて自己分析をしたり、卒業後の進路を強く意識し指導が行われている。3年次からは、卒業後の進路別の授業となる。大きくは教員志望者とその他の企業志望者に分かれ、さらに教員志望は幼稚園・小学校・中学校・高等学校に分かれ、その他の企業は、一般公務員、民間企業等に分かれる。これらの進路に合わせた細かい課外講座を準備している。課外講座は希望制であるが、出欠については、課題講座の担当者や専門ゼミナールの担任を通して指導をする。専門ゼミナールの教員は各自の卒業論文の指導はもちろん、社会人としての常識的なマナーや振る舞いができるように、出口を意識した指導をする。

(6) 保護者個別懇談会の実施

学生と家庭と大学の3者が連携し、学生の人間としての成長を保障するシステムとして、年2回の保護者個別懇談会を実施している。1・2年生は9月に、3年生は就職活動が開始する11月に実施している。前者は学生の学修状況やその成果等について、後者は学生の卒業後の進路やそのための取組等が懇談内容である。懇談会当日に参加できない保護者には、後日電話個別懇談を実施している。この成果として、人間教育学部の学生の就労意識は、高くなっており、卒業後の進路についての意欲も高い。

(7) 学生の授業への満足度向上のとりくみ

開かれた教育課程をめざしている。ハード面では、授業の教室の壁面をガラス張りにして、学生の学修状況が内部や外部の人々から観察できるようにしている。当初は学生の注意力が低下する等の反対意見もあったが、現在では定着し、かえって学生の良い緊張感となって学習効果を上げている。学生は、自分が履修していない科目でも、興味があれば自由に参観することができる。各教員も、いわゆるFD期間だけでなく、授業開講期間には、お互いの授業を自由に参観し交流できる。また、特定の授業科目を全教員で参観し、教授会後に授業研究会を開催し、教員の授業力向上に努めている。これは学生の授業への満足度向上に貢献している。

【保健医療学部看護学科】

<教育目標>

幅広い教養と豊かな人間性、国際性、変化に対応できる汎用的能力をそなえ、「人」を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、倫理性、協調性を身につけた質の高い保健医療職者の育成を目的とする。

<ポリシー>

(1) カリキュラムポリシー

- ①豊かな人間性や国際的感覚、汎用的能力を育むための科目を、1年次から4年次までを通して配する。
- ②看護専門職者として、対象となる個や集団を理解し、倫理的態度を基本に全人的看護ケアを実践する力を育むための科目を段階的に配する。
- ③専門性を発揮しながら、多職種と協働できる力を育むための科目を配する。
- ④看護専門職者として自己研鑽できる力を育むための科目を配する。

(2) ディプロマポリシー

- ①国際的な視点を持ち、幅広い教養と豊かな人間性、変化に対応できる汎用的能力など確かな学士力を有することができる。
- ②看護職として個別的で多様な保健医療ニーズに倫理的配慮をもって応えることができる。
- ③人間愛に基づき「人」を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、協調性を備え、主体的に全人的ケアができる。
- ④学際性を培い、専門性を発揮しながら他職種と連携・協働し、チーム医療を推進することにより社会に貢献できる。

保健医療学部は、今後の社会の要請に応えるべく、高度化、複雑化、グローバル化する多様な保健医療ニーズに個別的に対応するため、幅広い教養と豊かな人間性、国際性、変化に対応できる汎用的能力など、確かな「学士力」を備え、「人」を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、倫理性、協調性を身につけた、チーム医療の一員として、他職種と協働して人類・社会に貢献できる質の高い保健医療職者の育成を目的としている。

(1) リアルシュミレーション演習設備

「ICU実習室」を完備し、実践さながらの演習に取り組むことができる。充実したシュミレーションモデルを整備し、アセスメントから高度な手技、判断まで、最高水準のケア演習に取り組んでいる。

(2) 国家試験対策

1年次には「理解度確認試験」を、2年次には「低学年模試」を実施し、自己の課題を明らかにしている。3年次から国家試験対策を本格的にスタートさせ、4年次には、模擬試験を実施。集中対策講座を実施し、出願基準の変更点や模試の内容確認等の補講も実施する。

(3) 基礎演習（ラーニングスキルズ）を開講

1年次生が大学の学習に慣れ、4年間の大学生活を有意義に送るための基礎を習得することを目的とする「基礎演習」を開講している。大学での学習を進める上で必要となる基礎的な知識や技能、学ぶ姿勢を身につけることを目標とする。具体的には、講義ノートの取り方、文献資料の検索、学術的な文章の読み方、グループワークの進め方などについて、ゼミ形式の演習を通じて学習する。

(4) 臨地実習

臨地実習を通して患者理解と実践能力を高める。1. 2年次には基礎看護学実習、3年次後期からは、領域実習を配置し、学生は、疾病を抱える人はもちろん、高齢者、病児、妊産婦など様々な患者と接していく中で、看護師としての支援を認識し、コミュニケーション能力や判断力など、現場で生きる看護力を養う。

(5) 国際看護研修

グローバルな視点で保健医療活動を行う基礎を養うことを目的としている。実際に赴き、現地の大学などで研修や医療現場を見学する中で、医療の現場を体感する。20時間の海外研修により、他国の看護教育、保健医療

システム、エイズなどの感染症対策について学び、国際的視点から保健医療活動の実際を知る。

(6) 課程選択

「看護師課程」選択においては、看護の知識や技術をしっかり身に付けたいうえで、国際理解に関する科目を履修することができ、国際的な視野に立って社会に貢献できる質の高い看護師を目指している。

「看護師・保健師課程」においては、20人が看護師に加えて保健師資格取得をめざし、さらに養護教諭二種免許状の取得も可能となっている。

「看護師・助産師課程」においては、女性のみ10人という少数精鋭で、確かな技術と知識だけでなく、妊産婦の心に寄り添える人間力を磨き、広い心を育むことを目的としている。

これらの課程の選択については、2年次終了時に学生に希望を聴取し、選考試験を実施する。選考試験には、面接を含み、学生本人の意思が明確であることを確認する。

(7) GPA (Grade Point Average)の活用

本学では成績評価に加えて、GPA (Grade Point Average)を導入し、単位の修得だけでなく、質を重視することにより、学生が自主的・意欲的に学修し、自分の学修成果を正確に把握して、計画的な履修ができるようにしている。また、保健師課程、助産師課程の履修希望者選考基準の1つとしている。卒業時にはGPAの成績優秀者に対して、表彰を行う制度（「奈良学園大学学生表彰制度」）を整備しており、学長から表彰し、賞状と副賞を授与している。

【保健医療学部リハビリテーション学科】

<教育目標>

日々変化する医療・社会情勢を的確にとらえ、科学的根拠に基づいた知識と技術を修得するとともに、多様化する

個人・家族・社会のニーズに柔軟に対応して、地域において問題解決能力と実践力を発揮できる人材の養成を目標とする。

<ポリシー>

(1) アドミッションポリシー

- ①入学後の修学に必要な高校卒業相当の基礎学力を有している。【知識・理解】
- ②他者とのコミュニケーション能力をもち、仲間と協働した行動ができる。【態度】
- ③保健・医療に対して強く関心を持ち、理学療法士や作業療法士への志向を強く持っている。【関心・意欲】
- ④自分の意見をしっかり持ち、それを表現し、相手へ的確に伝えることができる。【技能・表現】
- ⑤問題や課題を論理的な思考に基づき理解できる。【思考・判断】

(2) カリキュラムポリシー

- ①豊かな人間性、論理的な思考力、的確な判断能力を身に付ける教育。
- ②自然や文化を大切にし、倫理性、社会性、国際的感覚を身に付ける教育。
- ③主体的な体験や討論を通して自己の考えを確立し、それを豊かに表現する能力を身に付ける教育。
- ④リハビリテーション医療職に必要な知識・技術、情報活用能力、コミュニケーション能力を身に付ける教育。
- ⑤全人的な健康観に立ち、科学的、客観的な根拠及び人間の主観性と対話に基いた創造的な全人的ケアができる能力を身に付ける教育。
- ⑥リハビリテーション医療職として協働性を培い、社会のニーズや多様な変化に対応し、他職種と連携してチームで活動できる汎用的能力を身に付ける教育。

(3) ディプロマポリシー

- ①人間愛に基づき「人」を中心に捉えた全人的ケアのできる専門的知識・技術・態度の修得。

リハビリテーションとは、単に身体機能の回復をめざすものではなく、人間としての尊厳ある生き方の回復を支援することである。その役割を果たす理学療法士・作業療法士となるためには、人間愛に基づいた自尊心と他者の理解と思いやりを育み、全人的ケアの素養をもった人材を育成する。

- ②個別的で多様な保健医療ニーズを把握できる情報収集・問題解決能力の修得。

今後も超高齢社会の進展による医療・介護制度の変化や医療技術の高度化複雑化する中で、主体的に保健医療ニーズを把握するための情報収集を行い、対象者の個別的な問題解決に取り組む能力をもった人材を育成する。

③多職種間と連携・協働し、主体的にチーム医療や地域包括ケアに参加できる倫理観と責任感の修得。

高度化複雑化する医療や地域包括ケアの現場では、各関連専門職の専門性と独自性のある業務があり、多職種間相互の連携と協働作業が求められるため、それぞれの役割を理解し、倫理観と責任感をもってチーム医療と地域包括ケアの中で貢献できる人材を育成する。

④知識・技術を高め、社会の変化に強い関心を持ち、多様な視点を持てる探求心と研究心の修得。

社会の変化により刻々と変化する保健医療ニーズに対応できる知識と技術を高め続けようと研鑽する意欲を維持し、リハビリテーションに関する問題や新しい知見に対して主体的に探究し、研究に取り組む態度をもった人材を育成する。

保健医療学部リハビリテーション学科では、今後ますます多様化、高度化、複雑化する保健医療ニーズに個別的に対応するために、人間を統合的、調和的に捉え全人的ケアの提供ができる人材の養成を目標とする。また、深い慈悲の心や奉仕の精神、豊かな知性と人間性、医療人としての高い職業的倫理観を備え、地域包括ケアが進行する医療現場で、病院と地域における多職種との協働によるチームの中で活躍できる質の高い理学療法士と作業療法士を養成することを目的としている。

(1) 担任制と個別指導

各学年に専任教員の担任を置き、担任は8名程度の学生を2年次まで受け持ち個別の履修指導を行う。また、学習、学生生活、課外活動、進路等についても支援を行い3年次に就職などを視野に入れ担任を再編成する。担任は定期的に会議を開催し、情報の共有や意見交換等を行い、必要に応じて問題提起や情報交換を行う等学生の主体的な学習環境や生活環境の向上に努める。

(2) 国家試験対策

本学科では、国家試験対策eラーニングシステム「スマコク」を導入し、学内だけでなく学外であっても自分のスマホで過去問題を解くトレーニングが可能となっている。本システムは、学生がどの程度このシステムを使っているか、あるいは正答率なども教員が管理できるため、学生の学習状況や知識の弱点も把握し、学生へフィードバックできることで国家試験対策を充実させる。

(3) 基礎ゼミ（ラーニングスキルズ）を開講

共通教育科目の導入基礎として、1年次に「基礎ゼミⅠ」と「基礎ゼミⅡ」といった科目を必修科目として配置し、大学におけるラーニングスキルズと自己の考えを整理し発現する能力を養うことにより、4年間の主体的な学習の基盤と大学におけるさまざまな体験と討論の場における主体的な参加を促す。また、少人数制で本学科の専任教員との距離が近いゼミナール形式をとることで、理学療法と作業療法という専門教育を受けることの意義や魅力を学生自ら見出す能力を引き出すとともに、学生同士による主体的な議論を通じて保健医療などの問題の所在と解決策を見出し、実践し、成果を発表するプロセスを体験させる。

(4) 学外実習の計画的配置

1年次前期に実施する早期体験実習（理学療法・作業療法）は、初めての臨床現場の見学を通して理学療法士・作業療法士の役割や対象を把握することと、専門職や社会人としてのマナーに基づいた行動の修得を目標としている。2年次に実施する地域理学療法および地域作業療法実習は、介護老人保健施設やデイケアサービスといった「地域リハビリテーション」の現場見学を通じて、介護保健領域におけるリハビリテーション専門職の役割を理解することを目標として実施する。

理学療法専攻における3年次以降の実習は、理学療法評価実習、総合臨床実習Ⅰ（理学療法）、総合臨床実習Ⅱ（理学療法）で構成される。理学療法評価実習では学内の講義・演習で学んだ各種の評価法を対象者に適応させ、結果の記載方法等を実際に体験的に学ぶ。4年次の総合臨床実習Ⅰ（理学療法）、総合臨床実習Ⅱ（理学療法）では評価から治療実践までを行い、学内教育で得た理学療法の知識・技術を統合し、リハビリテーション医療の専門職に求められる適切な行動・態度、責任感を身につける機会とする。

一方、作業療法専攻における3年次以降の実習は、検査・測定実習、作業療法評価実習、総合臨床実習Ⅰ（作業療法）、総合臨床実習Ⅱ（作業療法）の4つで構成される。3年次の検査・測定実習では、対象者への基礎的な検査・測定の手順を体験し、担当する対象者の多様な病態や障害を認識し、作業療法に関わる専門知識と技法の重要性を理解する。同じく3年次の作業療法評価学実習では学内の講義・演習で学んだ各種の評価法を対象者に適応さ

せ、結果の記載方法等を実際に体験的に学ぶ。そして4年次の総合臨床実習Ⅰ（作業療法）、総合臨床実習Ⅱ（作業療法）では、対象者の疾患・病期・病態像に応じた評価、治療計画を立案し、治療・介入の実践を通してリハビリテーションチームの一員としての役割を学ぶ。また総合臨床実習Ⅱ（作業療法）では、総合臨床実習Ⅰ（作業療法）と異なる専門領域での作業療法実践を経験し、作業療法の共通性と相違性への理解を深める。

(5) 教育環境の充実

実習室は1階に運動学習実習室、運動療法実習室、義肢装具実習室を、2階に基礎医学実習室、運動生理実習室、水治療実習室、物理療法実習室、金工・木工・陶工実習室、多機能実習室、ADL実習室、5階にレクリエーション実習室とリハビリコモンルームの合計12室を整備し、各実習室には3次元動作解析装置や筋機能解析装置など最新の検査測定装置や治療器具を設置している。また、44人収容の教室4室、90人収容の教室2室、160人収容の教室1室、演習室10室を整備するなど教育環境を充実させている。

(7) GPA (Grade Point Average)の活用

本学では成績評価に加えて、GPA (Grade Point Average)を導入し、単位の修得だけでなく、質を重視することにより、学生が自主的・意欲的に学修し、自分の学修成果を正確に把握して、計画的な履修ができるようにしている。卒業時にはGPAの成績優秀者に対して、表彰を行う制度（「奈良学園大学学生表彰制度」）を整備しており、学長から表彰し、賞状と副賞を授与している。

【大学院看護学研究科看護学専攻】

看護実践に根ざした看護学研究の推進及び近年急速に変化・深化しつつある看護実践現場の質向上に繋がる質の高い高度な看護実践を支える教育・研究者及び指導者の養成を目指した教育課程を編成する。

教育理念に基づき、在宅看護、育成看護、精神看護分野における専門性を深め、国内外で活躍することができる高度な看護実践者と看護の各分野における実践的教育の担い手及び研究者を育成することを目的とする。

<ポリシー>

(1) カリキュラムポリシー

- ①看護学分野における高度な看護実践能力と教育研究能力を有する人材を育成するための教育課程を編成する。
- ②高度な看護実践能力と教育、研究の基盤となる専門的知識と学際性を備え、また、高い倫理観と国際性を養うため、基盤科目及び専門科目に区分した体系的な教育課程を編成する。
- ③基盤科目では、専門の学習の深化と発展につながる基礎的理論及び研究技法又は国際的視野に立脚した最新の知識と科学的根拠に基づいた理論の教授に重点を置いた講義、演習を行う。
- ④専門科目、研究科目として、講義、演習及び特別研究・課題研究を通し、高度な専門的能力を養成する科目を設置する。なお、CNSを履修するコースには資格認定のための必要な科目を設置する。
- ⑤主指導教員と副指導教員による複数の教員指導体制のもと、高度な看護実践に貢献できる論文又は課題研究の研究指導を行う。

(2) ディプロマポリシー

- ①各専門分野における諸理論に精通し、臨床現場で生じている課題を科学的、論理的に解決する方法を修得し、質の高い看護実践力を有している。
- ②臨床で生じている課題について、研究手法を用いて科学的に探究できる能力を有している。
- ③各専門分野において、臨床での看護実践を教育するための知識を有している。
- ④高い倫理観をもち、臨床で生じる倫理的問題に対して、適切に判断し、調整する方法を見出す力を有している。
- ⑤看護実践及び教育、研究について、国際的視野をもち、保健医療チームにおけるリーダーとして、他のメンバーを尊重し、協働や連携を促進できるマネジメント力を有している。

(1) CNSを履修するコース（精神看護専攻教育課程）

地域のニーズに応え、かつ、設置理念にある高い専門性と総合的な視野をもち、独創性・指導性を発揮できる人材を育成し、種々の社会的要請に応えるため、本大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）に、「精神看護学の修士論文コースとCNSを履修するコース」を設置している。

精神科CNSが、看護師だけでなく、多職種専門家のコンサルテーション、倫理調整、住民も含めた教育、そし

て研究活動を実践することが、奈良県の住民の精神保健に寄与し、安心して暮らせる地域社会の形成を促進する力になると考える。

(2) 教育課程の編成

本研究科は、看護実践に根ざした看護学研究の推進及び近年急速に変化・深化しつつある看護実践現場の質向上に繋がる質の高い高度な看護実践を支える教育・研究者及び指導者の養成を目指した教育課程を編成している。

教育課程は「基盤科目」「専門科目」「研究科目」から構成する。

「基盤科目」においては専門科目の基礎として、専門の学習への進化と発展に繋がる関連諸科学の理論や技法を学ぶ。関連諸科学の理論や技法を学び、専門科目の基盤として、看護学に関する専門的知識・技術を修得し、国際感覚を身に付け、変化する社会に対し高いヒューマンケアの実践能力、専門知識と技術を備えた指導・調整能力を養うことができる科目を配置している。具体的には、高い倫理観を育て社会変化に対応できる深い洞察力をもち、実践現場指導者との協働能力を高めるため、「国際医療特論」「国際看護特論」「看護倫理特論」「コンサルテーション論」「看護教育学特論」を配置する。さらに、看護学に関する成果を進化・発展させ社会の人々のニーズに応えることができる能力を育てるため、「ヘルスプロモーション特論」「看護理論特論」「看護管理学特論」「臨床薬理学」「病態生理学」「フィジカルアセスメント」「看護研究特論」を配置する。また、国内外の国外で活躍する人材養成について、コミュニケーションとしての英語力や海外の専門的知識が必要であることから、特に「国際医療特論」「国際看護特論」を配置し、将来海外で看護師、看護研究者として活躍する人材養成をおこない、加えて、現在奈良県に在住している外国人や外国人観光客の心身の健康を維持し、必要なサービスを提供する人材を育成する。

「専門科目」は「在宅看護学」「育成看護学」「精神看護学」の3分野で編成し、講義科目及び演習科目を系統的に履修し、看護学の視点から保健医療の発展に必要な課題を探索し、その課題に対して主体的に研究計画の立案、調査、実験、分析ができる能力を身に付けるためのコースワークを整備している。

在宅看護学分野は、老年看護学を基盤に在宅看護と訪問看護及び慢性期看護の分野を統合し、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目的とする地域包括ケアにおける看護について探究する分野とする。

育成看護学分野は、母性・女性看護学と小児看護学の分野を統合し、親になる準備段階にある思春期から周産期、子育て期、そして生まれてきた子どもの小児期の看護について探究する分野とする。

精神看護学分野は、入院精神医療と地域精神医療の場で国際的視野と高い倫理観を備えて高度な看護実践を提供し、併せて、看護職者や多職種のコネクション、組織のマネジメント、教育、研究、精神医療の場で生じる倫理的な課題をトラウマインフォームドケアの視点で解決する能力を修得する分野とする。

各分野に関連する基礎的要素を修得し、看護学の視点から保健医療の発展に必要な課題を探索し、その課題に対して主体的に研究計画の立案と調査・実験、そして分析ができる能力を身に付けることができるよう編成する。

基盤科目を基礎として、学生がいずれかの分野で研究と実践に必要な理論と技術、実践力を修得するため、分野ごとに演習及び特論演習を設ける。演習科目では、国内外の文献検索と文献クリティーク、グループワーク等により諸外国を含めた各専門分野の実践における現状の理解と課題の発見、探究を行う。これらを体系的に学習することにより、学生は各専門分野及び関連の深い周辺の学問領域の実践について熟知し、専門分野における課題の発見、研究計画の立案と実施、そして結果の分析能力を修得する。なお、実習科目はそれぞれの課題解決に向けて臨地での実習を行う。

「研究科目」は、将来質の高い高度な看護実践を支える教育・研究者及び指導者を目指す者のために配置し、「特別研究」は、文献レビューやフィールドに出ながら、当該領域・分野における重要な課題を明らかにし、各自で探究すべき課題を選定する。

当該専門分野における重要な課題を探究し、新しい知見を導き出し、研究論文を作成し発表することにより、各専門分野の発展に資する研究を実践する。

「課題研究」は、CNS必修科目及び共通選択科目の学習を元に、CNSを履修するコースで定めた履修科目等で学習した内容から、看護実践の中で生じる課題を抽出し、精神科CNSとして必要な実践能力に焦点を当てて実証的に研究を行う科目として配置した。学習内容の中から、精神科CNSの実践の中で生じる課題を抽出し、研究テーマにふさわしい知見を得て、リサーチペーパーとしてまとめる。

(3) 大学院設置基準第14条による教育方法の特例等の実施

社会人のキャリア教育及び生涯学習ニーズに応え、仕事を持つ社会人の学生（以下、「社会人学生」という。）な

どが勤務を継続しながら、大学院で学修することができる環境を提供するため、本学研究科において大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を実施する。

昼夜開講制を導入して、看護の臨床経験がある有識者等を含めた多様な学生が互いに研鑽し合う環境を設けることにより、本研究科の設置趣旨の実現に努める。

具体的には、社会人に広く門戸を開放するために、履修者の科目選択の自由度を高め、授業時間を月曜日から金曜日の夜間、及び土曜日の昼夜に開講するいわゆる昼夜開講制を採用する。

大学院生が利用する研究室や演習室の利用については、7時30分から21時30分まで利用が可能となるよう対応している。また、社会人入学生が無理なく受講できるように夜間の授業(6時限 18:00～19:30、7時限 19:40～21:10)を開講し、夏期・冬期休暇中にも集中講義を行い、教育・研究指導を受けることなどにも対応する。

また、現有職者が現在の職と修学を時間的に無理なく両立できるよう、修業年限2年の他に、3年の長期履修制度も導入している。